國を擧げ祝ぐけふの聖諭煥發四十周年記念日

いと嚴かに報告祭　大連各神社で執行さる

教育勅語煥發四十周年記念報告祭は此日大連、沙河口、金刀比羅の各神社に於て執行されたが大連神社に於ては當日午前十時より中祭によつて辛島大連民政署長、田中大連市長、滿鐵總裁代理栗野地方部長、氏子總代飯田市會議長、飯田賢四郎氏ほか氏子四十名參列のうへ執行、なほ大廣場小學校外各小學校、中等學校の諸團體一般參拜者も多くいづれも有難き聖諭を下されたこの記念すべき日を祝ぎ奉つた

官民合同記念式　大廣場校で盛大に擧行

教育勅語煥發せられて茲に四十年その日を壽ぐ大連官民合同の記念式は三十日午後一時から大廣場小學校の講堂に於て擧行された、參列者は辛島大連民政署長、田中市長、大森滿鐵理事、尾崎大連、飯島水上、大内小崗子、久下沼沙河口各署長、永沼憲兵分隊長、和多野大連郵便局長、大森刑務支署長、恩田議長、各學校長、市會議員等約四百名定刻一同起立し「君ケ代」を二唱し、辛島民政署長恭しく「教育勅語」を捧讀、續いて田中大連市長式辭を朗讀し、西内大連第一中學校長の教育勅語に關する講話ありて閉式したが、この日各官衙は午後より半休、意義ある日を記念した

各學校でも擧式

市内各中等學校、小學校ではいづれも當日授業を休んで式を擧げこの記念すべき日を祝つたが、各校においてはそれぞれ勅語奉讀について訓話あり思想混亂の現下にありて今更この聖諭の有難きを想起した

旅順の記念式

旅順に於ける教育に關する勅語煥發四十年記念式は卅日午後一時から關東廳旅順市役所合同主催にて昭和園にて擧行、關東廳、軍司令部を初め在旅各官衙陸海軍部隊學校會社職員一般市民三百餘名參列のうへ開式、御影池學務課長の開會の挨拶ありて君が代奏樂次いで長官代理三浦内務局長嚴かに教育勅語を奉讀、續いて長官の式辭代讀の後菱刈軍司令官、永山旅順市長それぞれ祝辭を朗讀かくて列席者一同君ケ代を合唱閉會したが、式後は工大大佛教授の教育勅語に關する一場の講演あり同三時盛會裡に散會した

文部省の記念式　首相以下千餘名參列して

【東京三十日發電通】明治二十三年十月三十日教育勅語煥發されてより今日滿四十年の記念日に當るので三十日午前十一時文部省では

聖訓を體して民心を作興　國運隆昌の基礎を確立せよ　濱口首相謹話

【東京卅日發電通】濱口首相謹話＝茲に教育勅語煥發四十周年を迎へ本日を以て全國一齊に記念式を擧げる事は眞に意義深き事と信ずる、申すまでもなく教育勅語の本邦德教の淵源を明示する萬古不磨の聖訓たると共に、一面國體の精華を宣揚し多年國政の基本を指導する偉典であつて、憲法發布の勅語と相對し綱紀を高調し萬民を保全する二大鐵則である、近時世相やゝもすれば險惡に陷らんとする折柄、國民一般に對し普くこの聖訓の徹底を期し以て民心の作興を圖り國運隆昌の基礎を確立することは極めて必要なりと思料する、教育勅語煥發四十周年に際會して感慨更に無量なるものがあるのである

孝子に褒狀授與　川崎司法次官　平衛少年に時計を贈る

【東京卅日發電通】大講堂に於て大記念式を擧行し濱口首相、一木宮相、田中文相以下教育團體代表者等一千餘名參列、君ケ代奉唱後、田中文相の勅語奉讀あり次で文相、首相の式辭あり再び君ケ代合唱

奉天における教育勅語煥發四十年記念式は今卅日午前十時から天神社において莊嚴に擧行、邦人殆ど出席して盛大を極めた式後關東長官より孝子平衛少年に對する表彰式が行はれたが折柄來奉してこの式につらなつた川崎司法次官は、この孝子平衛

松浦キヨノさんに褒狀授與

けふ表彰された孝女松浦さん

負傷者三百八名　死者八十收容　奪はれた兵器　小銃百五十挺　彈藥一萬四千發に達す　臺灣軍司令官公報

【東京卅日發電通】二十九日午後七時渡邊臺灣軍司令官發、陸軍省着電＝霧社附近にありし兇番は霧社蕃社東方附近に退却したるも約三百名は霧社に向ひ逆襲せり、目下調査し得たる蕃界狀況は霧社にて收容せる死者八十名負傷三百八名にして奪取されし兵器は小銃百五十挺、彈藥一萬四千發なるものゝ如し、軍は更に臺中大隊主力を警官支援のため先づ埔里に派遣し且また守備隊司令官をして出動諸部隊を合せ指揮せしむる如く處置す

三百の兇蕃大擧して霧社附近に襲來　警官隊機關銃で交戰

【臺北二十九日發電通】マヘボ、ホーゴー兩社の兇番約三百名は自社を燒き拂ひ決死的に大擧霧社を襲撃すべく二十九日午後二時頃霧社東北約一千メートルに接近し來り、夕刻に至り俄然攻勢に

最初の犧牲者　巡査二名戰死す

德惠姫の御配偶　宗武志伯と決定　明春、御卒業後御擧式

ホーゴー社へ爆彈を投下

飛行根據地　埔里に急設

討伐本部　埔里に移す

柴田警部隊落伍

警官練習生霧社に急行

生蕃の突き出す槍先　グツと摑み妹を救ふ　妹の氣轉で奇蹟的に助つた姉妹　霧社襲撃當時の慘狀を語る

國體運動　二千六百年會

女の生血を吸ふ夫は色魔です　家財道具まで留守中持出され　保護を願出の身重女

女の色香に迷ひ紙幣僞造を企つ　哈市僞造團取調べ進む

けさ奉天に雪

日本國體の論文募集　修養團聯合會

共產黨、東拓の穀物を燒拂ふ　ゆふべ東遼滿東古城子で　牡丹川では三名銃殺

各討伐隊前進

奉職中

北京同學會學校

訂正

侠艶一代男 (102)

米田華紅作　伊藤幾久藏畫

狐か狸か(十一)

蒔繪を散いたタメ塗欅の違ひ棚の梨塗框の裾に、京風な龍目行燈の灯がぼんやりと映えて、床の掛物も朧氣に讀まれる。

極彩色な秋草の襖から椽に面する黑塗本骨の障子作り、何れも京都式な八疊二間ほどの小坐敷で、金砂子にこぼれ松葉の屏風の外、備後疊へ重ねた羽二重と見える夜具の端が現れて居つた。

夜はもう丑の刻を廻つて、今の二時過ぎ、十六日の月が眞晝のやうに冴え返り、虫のすだき鳴く庭を照してゐる頃である。

「待てツ!」

「は、はい!」と、屏風の端から轉がり出るやうに、眼ざめるやうな長襦袢一つの寢亂れた姿で、左手を後へ、身を斜に裳裾を疊へ引いてホツと息を吐いた、艶かな樣子のおさしみお兼。淺草奥山の寶亭、矢場女とは似ても似つかない文金高島田が枕にほつれ、一層色つぽい仇めかしさであつた。

「千賀!」と、屏風のうちから、夜具の上に起き直つたらしい聲走つた鋭い聲は、隨にこの邸の主人三百石取の旗下立花左近である。

ほんの墾ばかりの祝ひの宴。道玄はか組の濤吉や金次に追はれた儘に戻つてこず、その消息は判らなかつたが、老婆と用人の鷲尾左内が座敷の取持ちで、聊か飲み過ごした主人の左近は、三年振に迎へた若い美しい女の酌に、嬉しさのあまり醉ひつぶれたのは、二三刻前のやうにさへ思はれたが、うつとりとした夢の綺模樣が、まるで自分のことでないかの如く、鱗物のお千賀であるお兼から持かけられ醉心地で言葉にし、眼に見、耳に聽いてゐた。

それが急に、ゾタリとした冷水の中に身を置く惡感を覺え、ハツとして、脱け出して逃て行くお兼の姿をハツキリと見定めたので、夜具の上へ起き直りさまに呼びかけた。

[illegible]

お兼のお千賀は、態と顫へるのか。床の刀架を後に、警戒をする風で、違ひ棚を背にして、根のぬけた島田をがつくりと前へ落し、俯き加減でブルブルと齒の根も合はない樣子である。

まだ宿醉ゐの醒め切らぬと見える、血走つた、濁つた眼を据えた主人立花左近。合點の行かぬ面持で、意氣悄沈して悄れ返つてゐるお兼の慇げな姿へ瞳を落し

「千賀!いかゞ致した?この夜更け何れへ參る?」

「は、はい。申し譯ございませぬ」消えも入りたい風情である。

「何ッ?何が申しわけがない?」

「はい……?」

「さッ、そのわけを申せ!」と、左近が一膝進めた時、膝の先からぐぢやりと冷たい感觸が氣味惡く傳はつた。

「粗忽を致し、相濟みませぬ」

言葉さへ滿足に言ひ得ぬ位に、ぶるぶると全身を縮むやうに顫はしてゐた。

「粗忽?それは何事ぢや?」

解しかねる左近は、いよいよ疑念を深くして、この眞夜中に、しかも輿入れの當夜、突如にこんな事を云ひ出したのに不審を打つた。

「はい、殿さまに粗忽を致し、申しわけございませぬ。どうぞお手討ちなと、何なりと、御存分に遊ばしませ!」

左近は一層に事情が判らなくなつた。お兼がおのれから手打になる程に重大な粗忽を、いつ犯してゐるか?」

「そちがそれ程に詫をする理由が拙者には相判らん。詳しく話してくれ!」

「はい」と、お兼のお千賀はもぢもぢと言ひ澁つて居たが、外した襟頭を袖で蔽ひ、左近の座つてゐる夜具の膝前を指さし、いかにも羞かしさう「そのやうに粗忽を致しました」

「ヤッ!」と、左近は始めて、夜具から膝前がぐつしよりと水澁しのやうに濡れてゐるのに氣づいて、[illegible]

キネマと演藝

大檢温習會　開催日延期　藝題は十五幕

來月開催の大連檢番温習會は開催期日切迫と共に連日女紅場に於て出演藝妓約百五十名が西川照松、西川鶴二、杵屋三喜乃、杵屋六代音、常磐津正惠、豐澤玉豐及び望月久三郎の各師匠指導の下に稽古を勵んで居り常磐津義太夫に亙り十五幕の豫定で大體左の如く內定し近く正式發表の筈である

▲常磐津、式三番▲長唄、松竹梅▲義太夫、四季の山姥▲常磐津、戻り駕▲長唄、吉野天人▲常磐津、夜討曾我▲長唄、菊重▲長唄、吉原俄▲常磐津、三保乃松▲長唄▲大原女▲掛合、妹背山道行▲常磐津、市原野▲長唄、浮世繪▲素囃長唄、紀文▲素囃長唄、時雨西行

尚開催日は最初十一月七日から四日間の豫定のところその後準備その他の都合により延期說が傳へられてゐたが愈々變更し十一月廿日から四日間開催に決定した

消組懇親會　餘興番組　一日湯崗子で

滿鐵消費組合にては來る十一月一日午前十時半より湯崗子溫泉共樂館に於て第十一回組合創立記念式並に從事員懇親會を催すが、當日の餘興プログラムは左の如くである、

▲小唄「愛して頂戴ね」演舞谷葉子、唄竹中次郎、尺八鶴田幸一

▲滿消小唄「滿消こひしや」演舞谷葉子、唄森東津智江、森永再子、根本德子、原光枝、淺木道子、國松珠子、清水智子、高橋麗子、河野光代、藤田眞子、古垣世津子、竹中次郎、伴奏ヴアイオリン元木安彥、田中正廣、ハーモニカ齋藤靜雄、シロホン石黑直男、尺八鶴田幸一、鐘小黑馨

▲幕末秘錄「嵐」(一場)解說小久保松濤、津田新八郎…大平幸堂、川崎金吾…織田正民、妹香代子…上廣靜波

▲新案映畫「不如歸」(青山墓地の場)解說しの・億四郎、映寫技師はせ・直次郎、同ふる・重太郎、音樂あら・準八郎

▲久米正雄氏作「地藏教由來」(一幕)演出元木安彥、人物、彌三郎漂ひ人。後に教祖…辻本昇天、村ゝ陣徒。後に使徒嘉平…長谷川雲天、源次…富岡海天、勘吉…永田晴天、藥賣オヂニ…岩崎空天、少女…白川ゝ天、老婆…中島放天、白痴の女…多賀雪天、其母…坂野雨天、若者…鮫島黑天、村人甲…永島霄天、同乙助…野中黃天、同丙造…松尾白天

その他撫順支部から沿線代表として素晴らしい出し物があり、また全大連の有志四十餘名が揃ひの衣裳で「佐渡おけさ」を踊ると評判されてゐる

この太陽多美枝の巻　斷然好評を博してゐる村田實監督、夏川靜江、小杉勇主演の「この太陽」の第二篇で寫眞は入江の多美枝、小杉の杉山、夏川の曉子【來る三十一日から大日活上映】

第廿三回　滿日勝繼碁戰

三四子四子番【林氏二回勝三回目】　二段 林仁作氏　秋元豐二郎氏

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

—【2】—

〇二一ニの七　●二二ホの六　〇二三ハの五　●二四ハの四
〇二五ハの八　●二六ヘの四　〇二七トの四　●二八ヘの三
〇二九トの六　●三〇ヘの七　〇三一ホの九　●三二ホの十一
〇三三ヘの十一　●三四ヘの十二　〇三五ヘの十　●三六ホの十二
〇三七カの三　●三八ヨの三　〇三九カの四　●四〇タの六

▲清水二段講評　黑廿八は(い)に綿ぬべき形なり黑卅(ろ)に尖み白(は)ならば卅に綿れ又白(に)に出づれば(ほ)に預けて打つも面白からん

美笑會の放送　名曲『隅田川』

清元美笑會では明廿一日夜、延壽太夫の御前演奏とレコード吹込で有名になつた名曲「隅田川」を放送する事になつたが、此曲は謠曲のそれを篠野採菊氏が改作し名人梅吉が作曲したものである、內容は長唄の賤機帶と同じく人買にさらはれた梅若丸の母親が狂女となつて吾子の行方を尋ね京都から江戸に上り隅田川の渡守にその末期の模樣を聞き墓前に念佛を手向けるといふ哀切優雅なものである美笑會連中は延壽のレコードで改訂の分を修正放送するといふがサテどんなものが出來上るか興味はかゝつて其點にある

女萬歲千鳥會　今明晩限り

連日好評の爲め日延べを重ねてゐた歌舞伎座の千鳥會一行の女流萬歲は愈々今明晩限りで打切つて一日から沙河口をふり出しに沿線巡業に出かける

話

大日活の十一月の陣容が大體渡滿中の長館主の交渉できまつた▲「この太陽」第三篇のあとに澤田清と梅村蓉子の「鬼栗毛若衆」▲廿二日からは開館一周年記念興行をうけて大河內の「興亡新撰組」前後篇を續映し二週間券を發行する▲常盤座は次週に「空の王者」の發聲版と早川雪洲のトーキー「大和魂」を上映▲周水子の飛行場で撮つた三原那智子と鈴村京子のブロマイドをプラチナが賣出した▲大連劇場は遞信局の慰安會のあと大檢の溫習會をすまして正月まで一服する▲その代りに正月には大物をあげやうといろいろ計畫をめぐらしてゐる▲消費組合懇親會の餘興に踊る谷葉子といふのは正體がわからず興味をそゝつてゐる▲ゆふべは演藝館浪速館ともに札止めをしてまた映畫興行に新記錄一つ

ページメント

コートを着るのにはまだ早いこの頃、道往く女の姿は羽織に衆目を集めてゐるが、最もよく眼につくのは白山絞の羽織である、昨年頃から宣傳されてゐたが、俄然今秋になつて物凄く全盛を極めて來たこれこそ色彩よりも絵模樣一つの面白味であるから着てゐる女性の好みが窺はれて却々興味がある、それから訪問服が花柳界にまで素晴らしく進出して來たが、スピード時代は洋裝の訪問服で結婚式を擧げる女性が殖えて來た、白山絞と綸羽の羽織、それに訪問服が服裝界に今全盛を誇つてゐるが、もうすぐコート時代ではある

大連　JQAK　十月三十一日午後七時

▲ラヂオ體操
(三、四子供時間)
▲兒童科學講座「空氣」(第五回)大連彌生高等女學校田中志郎
▲ピアノ獨奏「ソナチネ」大連音樂學校選科生田茂子
▲淸元「隅田川」淨瑠璃多波羅、同佐藤、三味線清元延ヶ龍、同多波羅夫人
▲俗謠「敬種」唄、三味線上田ハル
▲[illegible]
▲[illegible]

映畫案內

帝國館　二十七日より　晝十二時より　夜六時半より

文壇の耆宿菊池幽芳の名作映畫化　巨星…井上正夫主演　**己ケ罪　作兵衛**　佐々木恒次郎…監督
環…龍田靜枝　塚口博士…奈良眞養　玉太郎…菅原秀雄　櫻戶…小村新一郎　寺田…小林十九二　作兵衛…井上正夫

アリタレロプ映畫　小石榮一監督　**挑戰**　千早晶子　坪井哲

近日公開……愛は力だ

久々の日本映畫大衆興行
新方式に依るモダン時代劇の演出　ミルトン・シルス氏熱演　**鐵腕の男**　米國々立製鐵所を背景に物凄き愛慾業火の焔はたぎる…
小金井勝・松浦築枝主演　**吉原百人斬**　血・血だ!呪はれる籠劍の祟り花の吉原百人斬の因果譚…
東輝久義・津村博主演　**草に祈る**　思ひ出は懐し日露戰爭物語
十一月二日の日曜日は恒例子供デーですから書間お子樣方は拾錢で開放致しますからお早くおい出下さいませ
今週の料金　大衆席　貳拾錢　開放

常盤座
近代趣味征空映畫　**空の王者**　早川雪洲主演のトーキー…**大和魂**　次週公開　廿七日封切
廿八日　遂に封切の日來る　大帝キネ本年度豪快巨篇　佐々木味津三原作　**直參八人組**　草間實主演
長尾史錄監督　青春交響樂
若き血に燃ゆるもの　中野英治入社第一回主演映畫　監督 木村惠吾　原作 川口松太郎　特別出演 德川良子、杉狂兒
本週興行の優待券御持參の方に限り**各等二十錢引**にて御優待申上げます

館
俄然・絕讚好評・三大名篇公開　三十一日より　晝十二時半　夜六時半
パ社特作怪奇探偵映畫　**カナリヤ殺人事件**　ウイリアム・ポウエル主演
時代特作・千惠藏映畫　**源氏小僧出現**　何時もの樣に朗かな千惠藏の胸のすく傑作篇
第二篇・多美枝の巻・　**この太陽**
斷然好評　曉子は戀を失つて街頭へ・・多美枝は夜のナッシュで知つた杉山の下へ通ふ・曉子と元雄の情痴凡べては第二篇に

大日活　次週公開・七日より　この太陽(最終篇)　大虛(福日連載)

滿洲日報
昭和五年十月三十一日（金曜日）
第八千七百九十八號
（一）
山田耕作
全集・全十五卷
實物出でてその比類なき豪華と空前の廉價とは絶大の賞讃を博し、申込は刻々と殺到しつつある!!
第一回配本（配本濟み）歌謠曲集（2）
締切・十一月廿五日
全十五卷目次
（1）歌謠曲集Ⅰ
（2）歌謠曲集Ⅱ
（3）歌謠曲集Ⅲ
（4）童謠曲集Ⅰ
（5）童謠曲集Ⅱ
（6）童謠曲集Ⅲ
（7）國民歌謠曲集
（8）合唱曲集Ⅰ
（9）合唱曲集Ⅱ
（10）ピアノ曲集Ⅰ
（11）ピアノ曲集Ⅱ
（13）管絃樂曲集Ⅰ
（14）管絃樂曲集Ⅱ
特製縮寫
内容見本呈進
春秋社
實際園藝臨時增刊
初めて菊を作る方にも見事な花が咲く
全國栽培大家の秘法公開
菊花栽培大觀
重なる目次
實際園藝社
誠文堂
趣味園藝のＡＢＣ
石井勇義著
實際園藝全集
どんな初心の方にも判るやう寫眞豐富挿入して叮嚀に講述
1 西洋草花の作り方
2 溫室植物の作り方
3 美しい花壇の作り方
4 球根草花の作り方
5 新しいバラの作り方
6 カーネーションの作り方
7 グラジオラスとダリヤの作り方
8 アザレアの作り方
9 最新朝顏の作り方
10 最新菊の作り方
11 牡丹花菖蒲の作り方
12 最新盆栽の仕立方
東京出版協會新刊重版發行圖書案內
平面解析幾何學
塗料及塗装法
學生英語カード
代數講義
孫子の新研究
農村・農業の工業化
物理學演習
増訂國民日本歷史
國民東洋歷史
光化學
算術講義
修身新指導細案
思想と國家
御家庭向の一番優秀な
高級ジュラッシア蓄音器
連鎖申込所
大連市伊勢町浪速町角
榮商會本店
健胃整腸 日露丸
一家の守護藥
優良國産品
ディフィ脂の時代!
ＴＹＣ
ミシン
ピアノ
ビクター蓄音器
チューリン大連支店
各國商品 依託 直輸入
最新刊
大阪屋號書店
滿洲書籍雜誌部

文藝

踊場の沒落
—小說でない一つの報告—

安藤龍

踊子のお清がいきなり男の腕を引っ張った——。

踊場がハネて非常口からこっそり連れ立って出て來た矢先だ、闇のなかで男は周章て外套の襟を立てた。

「デカ(刑事)よ」

「デカ？」

「ちよいと、一足先に——」蹴った？」

「ふん」

——さても、こいつァ五月蠅くなったもんだ。

營業時間は午後十一時限り、高聲の樂器を使用して近隣に迷惑をかけぬこと、ダンサーを藝妓と同樣許可鑑札制とし傳染病を持つもの、身許素行等が公安又は風俗を害する虞れあるものはこれを許さず。

昭和二年三月になって急に官憲の眼が厳しくなった。

ひさなワヤにしてはゐ、と愚痴を言ってみた處で、慶長末年江戸最初の娼妓令以來だ、遊女だ、歌比丘尼だ、綱つみだ、山猫、けころだ、こうして闇のなかから不埒の職業の春を鬻てゐた所には不断の彈壓が續けられたのだ、まだしも歌若の鐵拳をふりかぶって江戸の闇々に咲き誇った花園「踊場所取潰し」よりは、昭和二年三月の「ダンスホール取締規則」の方が御遠慮といふものだ。

だがお清は不平だった。

「大阪もあかんわ」

踊手のお清は殘穢の欄干に肘をついて道頓堀川の流れに自らの半生を流して其の行末をぼんやりと考へてみた、どこで拾ったのかお清も、もう二十歳だ「拾ひ屋」から「河原踊り」——「モサリ」へ(屑拾ひ)まで落ち蛾だ、やっと人間らしくなった時には、

「大阪もあかんわ」

「何を考へてんのさ、踊るンだヨ」

——ホールを出掛けに伊丹幸の瀧龍さんがデカに捕まっちやって、いんまバンコ(交番)に行ってるンヨ」

此頃では「蝶場のお京」と賞出してダンサー仲間ではお清なんかよりずっと幅を利かしてゐるお京がどこをどう廻って來たのか心斎橋筋から颯爽とやって來て、ぼんやり水面を眺めてゐたお清の肩を突いて早口の報告だ。

「あいつだ」

たしかに非常口から出た矢先にうろうろしてゐた刑事の仕業に違ひない、こりやアいよいよあかん事になった。

お清はもう一遍考へ直さなくちやならなくなったのだ。

そうこうするうちに、どうにも考へがつかず日が過ぎた、風俗を害する廉によって鑑札を取消された、故なくしてダンサーに二枚のテケツを與へて科料だ、罰金だ、未成年者が入場した、警官の尾行だ、そんな事だけが話題になって曉々喧々たる日が續いた。

二萬圓もの巨費を投じて規則にあて嵌めた改築をやったホールは此の厳重な監視のためにすっかり客足をさらわれて秋風落寞だ、ダンサーも泣くに泣かれぬ羽目である——規則に溺ったんぢや、それこそ「キンチャア」(絶食)が落ちだ、どうすればいゝ……

「ヤンなっちやうな」

お清とお京の共同アパートの午前十時だ。

「腹痛くないンか」

「どうする？」

何時も新生面を勇敢に拓いて呉れるのは苦勞してゐるだけにお清だ、お京が——お清の意見を尊重する、それが後輩の禮だと思ってゐる。

「あンたダカレ(恐迫)るタキ(馬鹿)のあてはあらへンか？」

「バクル(恐喝)の？」

お清はお京のパトロンを薄々知ってゐる、この際それだ、どうせ大阪もあかんわ——上海落ち……

二人は決心した。

そうして萬事好都合だ。

お清とお京が神戸を出帆したのは、その年の十月に入ってからだった。

案の條、十二月二十五日になって突然「ダンスホール禁止命令」が下された。ところが奇怪にもダンスホール禁止の翌二十六日K、Tの兩地に新に遊廓指定地許可の指令が發せられたのだ——兩地の地價は一躍八圓から一躍百圓の暴騰だ、皮肉だ、巨費を投じて改築までしたダンスホールをにべもなく踏みつぶして新花街許可は心あるものに暗然を感じさせた。

地價の暴騰で×政黨關係は巨萬の利益を懐中に捻込んだ、知事は面目をほどこした、斯うなくちやならないとおだてられた、事は愉快だった、愉快なうへに萬更でないお賓がノシをつけて轉げ込んだ。

政黨的な利權を伴はないダンスホールは斯くして淫滅してしまったのだ。

お清とお京は大連で此の噂を聞いた。

「どうだい？」

お清は下唇を突出した。

「矢張りね」

「いゝ事したやろ」

お京はお清の顔をますます輕蔑しげに眺めるのだった。

だが——大連の冬は鋭い寒氣

中國文壇の近狀(三)

大内隆雄

革命文學の主張

文學運動の新しい段階をしるし付けた合言葉「革命文學へ」の主張は、どのやうな内容を意味したものであったか？これを成彷吾の論に聞けば斯うである。

◇

辛亥革命に於ける民主主義の失敗と、加へられる帝國主義の壓迫とが、當時の知識階級をして思想啓蒙運動に努力せしめた、この運動が新しき表現の手段を要求した、すなはち當時の「文」と「語」との對立を解消さすかのいはゆる白話文の確立がこれを解決したのであった。

×

當時の新文化運動の第一の任務は舊思想の否定であり、第二の任務は新思想の紹介であった。だが一應の任務を果して後、彼等は何處に行き着いたのであったらう。

これを、文學運動に就いて見れば、文學革命の傳統を引繼ぎ正しく受け繼ぎ來ったものは、僅に創造社同人たちの、創作方面に於ける努力のみであったと言へる。これらの諸作家は、その反抗的精神と、新鮮な作風とを以て、文壇に徹底の位置を占め、一般青年に少からぬ刺戟を與へたのであった。いはゞ彼等はプチ・ブルジョアの革命的なインテリを代表してゐた彼等は一つの新らしい「語體」を發見して用ひ來った。此處には不滿が存したのだが。

×

今や、中國社會發展の現段階に眼を注ぐことが作家達に要求されてゐる。それは文學が、歷史の必然的な發展に應ずるためでもある。舊い揃った資本主義と、封建勢力との、二重の壓迫に對していま進み行かうとする國民革命の中に、作家は立ちあがる階級を主體として、そのイデオロギーを内容として、新しき文學を創造しなければならぬ「文學革命から革命文學へ」の主張が、此處に揚げられねばならぬのである。

×

その大略は右の如きものであった。當時に於て、成彷吾氏の立論は、素朴な叫びでしかなかったが、しかも、その叫びの中に彼等の目指す方向だけは指し示されてゐたと言ふことが出來る。

そして、その後に現れた諸作家の努力が、ますます彼等の進むコースを明瞭にし、文學の成果を擴充させて行ったのである。

最近の文壇を見る前に、一應は當時の情勢をふりかへらなければならない。それは最近の華やかな達成が果立った果てであるからである。歷史の行進に自己を踏み進へまいとして身を以て投げた作家達の昨日の姿であるからである(未完)

秋の太子河(五)
釣水樓の景觀

淺枝次朗

砂嶺子の山峽を過ぎて三里餘り下った要塞子から河は北に半圓を描き、熊州城はその圓の尖端にある。此の邊から山地帶を脱けて地勢は一變する。釣水樓はその山地帶と平地帶との中間の沖積層の上に出來た村で、自然の天惠のためか村は如何にも有福らしく瓦屋根の大きな農家が軒を並べてゐる。村はづれの臺地の上から望めた此の村の景觀は素晴らしい。

釣水樓の景觀　次朗畫

滿洲文藝雜感

宮田正緒

學術的著作の煩雜、難解の缺陷を補って、抽象的より具體的に、煩雜より簡明に、難解より平易に常に其時代思想を反映して行くものは文學的作品である。一般大衆をリードするものは文藝でなければならぬ。文藝の迫眞力と把握力とがその時代の思想を動かし諦めて其時代を美化し憧憬化して行くのである。

然し殘念な事にはまだまだ滿洲の文壇は寂しい。ジリジリと人に迫ってグイグイと之を引張って行く丈の力を持つ物に乏しい。滿洲に興起すべき文藝の萌芽も矢張り跛行的過渡期にある廣漠なる文化進展の惱みと共に肥料不足で依然として發育不完全だ。現在を糊塗しつゝある模倣と與ふべき空想論とが純眞無垢なるべき滿洲文藝の花壇に取返しのつかない罪を張って汚泥穢能なる醜花を開かぬ樣に常に之を純潔に保護し一日も早く瞻まるべきオーソドキシイを育まなければならない。

この意味に於て私は、滿洲出身の而して絶大の愛着と理解とを滿洲に有する天才の出現を望んでやまないのである。私は俗っぽく云ふと天才崇拜論者なのである。

此現在に於ける跛行的文明を進運の常態に還れ戻しては佚立的發展の好調裡に新滿洲文化の黄金時代を現出するが爲には先づ最も傳統と慣例との條件より自由なる文藝界の一角に一大劃期的改革を與へ以て普遍的可及的に誇るべき物質文明と併行すべき精神的文明の完成を期せねばならない。文藝に對する現今の無氣力を啓發し行詰れる内地文壇よりの無意味の移入作品を驅逐し新しき天地を指示すべき之等の仕事は天才の出現を待つの外ないのである。私の云ふ天才とはギユイヨオと同じく實在を離脱して生活し得る程偉大であり同時に可能の範圍外に迷ひ出る事をしない程論理的な理解を有する者を指すのである。彼等の藝術は即興の儘に作られ現實に先んじて之を超越するのである。藝術は一種のサンテエズであり、之に依って彼等は實在の或は實在すると假定された法則で精神的に任意の實在を再建し世界の一部を改造することに初めて劃期的の事業が成就され同時に内面的文化向上全體に對する促進の端緒を得るのである。又滿洲文藝不振の原因は色々あるが藝術の社會性共通性と云ふ事も重大なる原因の一つである。即ち藝術の生み出す社會的共感は人間の間で可能の範圍まで擴張される。偉大なる藝術は斯道の玄人、專門家又は藝術愛好家等の小さな範圍に限られるものではない。それが其作用を社會全體に及し人を感動さすだけの單純さと眞率さとを有して居るなら其は立派な藝術である。つまり立派な藝は全國民或は數ケ國民から讃美され得るものである。故に今内地に幾多の天分作家があり其等が多くの立派な文藝品を發表すれば、それは直に何處に居るかを問はず、日本語を讀みその意を解する者であれば誰でも其れは讃美する所のものになる。敢て在滿邦人は滿洲の貧弱なる作品を無理食ひする要もなく次々に現はれる内地作家の作品に充分に心の眼を滿足せしめ得る事となる。かくては所詮滿洲文藝は内地文壇の羈絆を脱するを得ないのであらうか。然し此處に遙かに内地諸作家を抜く天才を滿洲に得れば、その緊密なる取材と自己と利害多き舞臺の變轉による興味は全滿の人心をして必然的に壓倒的支持の傘下に蝟集せしむるであらう即ちこの革命によって滿洲文壇は嚴然と獨立し又文藝運動に無關心なる徒輩をして奮起せしむるに充分なる時は初めて郷土文藝はその體を完成し、内地模倣に耽る迷夢を打破し新鮮なる生命を諸君の眼前に提供し將に亡失せんとした鄙遠の風樣は再現して大陸に懐しき本然の姿を見せるであらう。外來流入思想の壓迫による現在の振はざる文藝讀書熱は色濃きインテリゲンチヤ層の消化によって充分に普及し傳播されるであらう。私は一日も早く其日の來らん事を祈って居るのである。

唯一人の天才出でよ！唯一人の指導者出でよ！而して汝の土地の盲ひたる生命の目を開き知識の慾の甘美に歡喜せしめよ！

在滿同邦諸君の中に必ずこの大事業を完成する偉材の在る事を私は確心し又心より期待するものである。

愉快な囚人

城小碓

溷濁なる地殼は泥土の如き肯定に埋沒される。私は道路掃除夫である。私は寄せ集めた泥を積れかゝった手車へ積んで海岸の埋立地に運搬んでゆく。其處にはあぶれた私等の仲間が居てその泥を攪あさる。泥は濕り氣が無くなる。やがて乾燥した泥から埃が發散する。お、埃だ。埃だ。埃だ。

そこで私は空腹を抑えて素晴らしい奇蹟を待ってゐるのだ。

國境

飽食した蛇の樣に、城壁が地平線にふくらんでゐる。

『國際都市』の出版
島崎恭爾君の第一詩集

稻葉享二

人間の勞作の誕生は當然認容さるべきである。そしてそれが人間の創意に成るものほど一層認容されていいと思ふ。吾々はそう云ったものに對して深い敬慮さを覺えずにはゐられない。

今度吾々のグルッペの一人として島崎恭爾君が二十年代の一つの記念する爲に第一詩集「國際都市」を出版することになった。

その作品によって彼の全貌を想像せる人々は彼が營む社會生活を耳にして吃驚するかも知れない。現代科學の粋、無意識な人造巨人とも云ふべき機械の前に立つ彼の感性からは當然旋盤の騒音や、ヒストンロッドの喘ぎやホイールの眩惑的な運動が生れて來ることを豫斷するであらう。併し彼は機械と共に喘ぎ、機械と共に廻轉するよりはむしろそれ等の一切のメカニズムの原動力の中へ潜入して行く。そして其處から萬象の機構を見返してゐる。

吾々は既に滿洲に在って可成り多くの詩集の出版を見ることが出來た。それ等は勿論作家自體の個性を通じて夫々の領域に一つの王國を形作ってゐる。だが島崎君の一王國「國際都市」は又それだけとしても存在を許さるべきである。況んや現實なる國際都市大連はこの新たな子を生むに相應はしい環境ではなかったらうか。吾々は彼の構想に成る一つのメチエの凡ゆる細胞を今ゆっくりと眺め渡すことが出來る。正に一千九百三十年の新原動力が動かし且つ築くこの人造都市は觀禰されるに充分の實感を持つものである。

飛行士(九)

ヴ・イテイン作　浦路觀・譯

チャンツエフはダンダン昇ってゐた、彼は戰慄する度に目に見える程翼を張りきってゐた、けれ共寒さが募って來た雲かきは度々地面についてゐるもので太陽に近づいてゆくと自然に拔び取られてしまふやうな氣がした。チャンツエフは一つ一つボタンを締めたり袖口をしめたりした。雲も際限なく重なりあってゐる下方をみるとそれらの雲が綿のやうに白くつみ重なって耳が痛いほどの沈默を保ってゐる、前方の雲に覆はれた山の頂や峰などの景氣がだんだんと狹められていった、そして遂々はじめて雲に覆はれた一つの山の頂上を越えた時に彼方にも此方にも半分雲で包まれた凹凸の地面が見え出した。

チャンツエフは自分が愛讀した話や手記等を想ひ出した、それらの本に書かれてあることは、極めて普通のこと、つまり速力や雲や風やについて名狀し難い恐ろしいやうな、素晴らしい文字を拉列してゐるのをよく見た、彼は今、これらの著者よりも遙かに自分の優越感を感じた、それはこれらの筆者が平凡な飛行をしてゐながら如何に危險を恐れてゐるかゞよく分るからである、例へば或書籍には記者が見送りの人に挨拶するため手をつき出したら危ふく風のためにもぎ取られさうであったなどと書いてあった、けれども飛行機の速力——つまり風の力は實際にそれ程強いものでないことがわかった。

高速度の針は四千を示してゐたが地平線は依然として變化なく擴げられてゐた、雲からはまだ拔け出すことは出來ない、恐らくこの調子では後一時間も雲から離れられまいと思った時、チャンツエフはふと、モーターの音に耳をかたむけた、けれども何ら恐ろしい變調は感じなかった。

それで彼はまたも「解放された力」の愉快な歌を聽きながら飛行をつゞけた。

突然、眼の下で惡感を感ずるやうな粗り強い音を聞いたまた……彼がセリヨウシヤと呼ばれてゐた子供の時分によく、ひき蛙を踏みつぶしたときのその音だ。

——油が！——と機關士が叫んだ。

チャンツエフはぐっと胸を突かれた(一秒間前にみたあの危險地帶だ、こりや事だ)と彼は咄嗟に思った。

チャンツエフがいつも無關心で計器をみると油の最後の一滴を吸ひ込まうとしてゐる時だ。

然しそれでもこのパイロットは恐ろしさも絶望も感じなかった(へ何どうせ一度はこんな事もある者だ)と思った、彼は下方に眼をやった、波のない海のやうに死んだやうな沈默をつゞけてゐる恐ろしい聞だ、そこに着陸するなどは最後の遇然だ……だがもう進めない間もなくモーターが停まることを覺悟せねばならなくなった、チャンツエフは今飛んできた山、雲の上に突出してゐたあの山の頂きに引き返さうとした……それはこの廣い海に殘された唯一の島だ、そこには着陸の出來るやうな氷原があるかもしれぬと思った、彼は漸く時、下向きの舵をとってみたが山の圍りは氷に覆はれた恐ろしい岩角よりほかには見出されない。

彼はいつも彼に嫉妬を抱いてゐた同僚のセムゼーロフの黒い顔がありありと眼に浮んできた、彼は如何にも滿足さうな微笑をたゝえてゐるではないか、チャンツエフはその男と一處に眞實に顔を突き合せてゐるかの如く悉皆り興奮してゐた、事實この雲の上には平地が見出されず、栗のやうな岩角とが待ってゐるかも知れぬと思った……そうかと思ふと又ひよっとしたら廣い原があって草や農作物が茂ってゐる場所があるやうな氣もした、彼はすっかり愉快になってその緑の地上で撞球臺の玉のやうに飛び廻ってゐる、すると綺麗な百姓どもが大勢集って來る、そしてその晩は夜その田舍に泊ることになるかも知れぬ、さうして天候の恢復するのを待ってゐる間にその村の娘と妙なことになるかも知れぬ、さうなれば愉快だ……など考へてゐた。

街のお星樣

島新太

朝の禮拜

花をもってくる
少女——白い看護婦
卵色のカーテン
紛失した病氣

○

秋
落寞
私は冬を思ふ
ふるさとを思ふ
生命を思ふ
しみじみと又狂暴に秋を感ずる

○

やられたな
飛込んだ脅迫觀念
よしてくれ
もなりそうなりは

○

むしばんだ肉體
護國鬼
蒼白い血——細道
極光

○

わけもなく
でっかい字書いて見たくなる
ひゞのはいった病室の天井

○

今晩は水銀が短くて機嫌がいゝ
私は生命を忘れやう
街のお星樣が戀しい

文藝消息

▲大庭武年氏　新青年に大連を背景にした探偵小說「競馬會前夜の出來事」を寄稿

▲中沼若蛙氏　大連を引揚げ長崎市東小島町七九に寓居、川柳句帳舍は機關誌「通」を編纂發行する

▲詩集出版記念會　島崎恭爾氏の第一詩集「國際都市」の出版を祝ひ十一月三日午後一時より大連藝術社兵組樂部で開催

▲民謠作曲　本紙發表の田圓猛氏作の「滿洲對」を中日文化協會で近く作曲する

滿日各地版

長春

市民會存廢問題
市民個人の自覺が先決問題
長取所長 奥平廣敏氏談

法的の存在ではないのだからその存廢問題も四角張つた議論にも及ぶまいぢやないか、市民會の名稱に論があるやうで成程れ、ちよツと誤解され易い名前だ、軍隊始め外來者からよく「市民會ツてのはどんな機關ですか」と訊かれる事がある

從來 の實務が軍隊の送迎、祭祀の祭事その他にあつたのだから、名實相副ふ名稱を選ぶとすれば町內聯合會などがよくはないか、これが先決問題としての存廢如何は讓るとしてはどつちに對しても、現在の處では積極的な意見は有つてゐない、結局、長春市民全體が協同融和して事務の澁滯を生じないやうに、分擔すべきものは分擔して、市民としての義務を遂行するつもりで圓滑に仕事を進めて行けば其處に明るい町が出來るのぢやないか、市民會の存廢を市民全體の輿論の種種增減を

基調 として考へるとしたら、問題の鍵は先づ市民個人の自覺が先決だらう

名稱がいけない
北滿日報社長 箱田琢磨氏談

市民會の存廢問題といふが要點はその名稱如何である、市民會創設は寛城子事件を動機として邦人の生命財産を保護する以上に、兎角警備の薄い北滿の地球に長春に一個師團乃至は一個聯隊を駐屯して邦人の

北進 を扶けようと在留邦人が畫策したものなのだ、大正十三年に町內會の設立と共に市民會も組織を變更して、實質的には町內聯合會の名稱に相應しいやうな事務を扱ふやうになつたのだから、その名稱も市民會とするか町內聯合會とするかについては、その當時相當議論が行はれたもので、結局投票によつて二三票の差で市民會に決定したのだ、兎も角今後に執るつまり町內聯合會みたいなものになるだらうから、名稱もそれに

添ふ ものとしたい、組織の上にも大した手數をかける必要もないわけで、現在の町內總代が輪番に事務を執つてもいゝし、部會で會長を置くならそれも差閊へはなからうが、要するに現在の市民會の名稱は感心しない

渾然と融和せよ
長春第三區々長 島名福十郎氏談

市民會當初の目的は長春市民の輿論を發表し且これが實現を圖る政治的色彩を帶びたものであつた、然し大正十三年の町內會設立と同時にその內容が町內聯合會的の事務を執るものに變革された、一方滿鐵の諮問機關であつた諮問委員會も地方委員會と

改稱 されると共に、委員も公選られる事となつたが、一般市民の感情からいふと、地方委員會は決議權を有たないから、公選ではあるが市民の總意を代表するには聊か縁が遠いとの憾みがある自然市民と地方委員會とがぴつたりしない、肌分れの氣味がある、之に反して市民會の事務としては軍隊の送迎、慰問、祭事の斡旋といつた風に市民と最も交涉が深いから、市民間に相當の親みを以て迎へられる結果が市民會横暴の觀を與へたやうな點もあつたらう

現在 その存廢が問題とされるのもさうした感じなども一つの原因になつてはゐないか、各町內會の事務だつて相當多いのだから連絡統制を圖る意味で聯合會みたいなものがあつたつて必ずしも無用の長物ではなからう、元來、滿洲發展の在留邦人は町に對して內地のそれの如き自治機能をもつて居ないが、だからといつて市民全體の輿論を喚起し或は之を實行に移す事を當面の目的とした市民會も、その意味では、常設機關としての存立を必要とする長春の現狀でもない

區長 あり地方委員會あり町內會あり、それに市民會も何等かの形式で存續するなら、空虛な形式論や煩雜な議論ぬきで相互に渾然融和して町全體の幸福を目標に邁進したらどんなものか、町內聯合會、町內總代會――名稱は何でもいゝ、會長制でなくとも輪番の幹事制でも、總代制でも大局から見れば同一だ

チブスの續發で病院は收容不能
既に九十六名の患者

長春市內のチブス患者は容易に終熄を見ないのみならず連日一兩名づゝの發生があり二十九日現在で罹病者九十六名を算してゐる、一方滿鐵病院內の傳染病棟の收容能力は約七十名であるため結核病室を充てゐるが、現狀を以てしては傳染病室增設の急を告げ、而も新築は經費關係の上から到底實現し難く、普通病室を使用するか或は他に適當な方策を講ずべきかにつき、長春警察衞生當局では苦心してゐる

石炭の液化事業
佛蘭西が第一位
英國では完全に失敗
(上) 沖中忠一博士歸朝談

【撫順發】滿鐵刻下の重要問題たる石炭液化問題、石炭低溫乾餾試驗立會並に同乾餾事情調査、特種炭製造現況等に亘る所謂「石炭化學工業」の研究及び調査の爲滿鐵よりの命を受け獨、佛、英の三國に本年四月以來半ケ年餘に亘り視察中の炭礦部研究所斯界のエキスパート沖中忠一博士は長途の旅を了へ二十八日午後歸所したが語る

◇

目まぐるしいやうな飛脚旅行で大した土産話もないが、亞米利加經由まづ獨逸に渡つた、次で英國を訪ひ再び獨逸に逆戻り轉じて佛國に行き三度び獨逸に行き漸く目的の調査を完成西比利亞經由歸つて來た、將來の液體燃料界の重大案件たる石炭の液化事業の最も發達してゐるのは通上各國視察の範圍では佛蘭西が第一等である、同國では今まで發表こそしなかつたが同研究は二十有餘年前から着手されそこには驚くべき進歩があつた、結論的に言へば石炭化學工業は今やピツチコースによる低溫乾餾時代を脫し水素添加による液化時代に躍進しつゝある狀態で石炭液化工業完成のため佛國では將來日本と提携せんとする希望を有する如く觀取された

◇

當初滿鐵より石炭低溫乾餾試驗を依賴したのは英國ランカシヤ州リー町のザツトクレフスビークマンといふ人であるがこゝでは美事失敗した、同氏經營の工場では煉炭やコークスを製造してゐた關係上撫順炭を送り試驗を依賴してあつたので英國について見たがくさすぐリー町に行つて見たが同工場經營者たるザツトクレフは撫順炭の乾餾試驗に完全に失敗おまけに怪我をして行方不明逃亡した跡であつた、その經緯を調べて見ると石炭を固めるにはまづ溫め是に壓力を加へればよいと言ふ月並の理論に基き彼は實驗したらしい所が運轉くその操作の過程に思ひがけぬ爆發に逢ひ怪我した譯だ

◇

英國の國立燃料研究所でも「粘結性の石炭にコークスを入れ是を溫めると固まる」との理論からやつて見たらしいが是も失敗した

◇

結局同國では撫順炭の低溫乾餾方法は如何にすればいゝかはまだわからぬらしい、要するに述上の失敗は撫順炭の特質を究めず普通の理論で直に實行せんと試みた結果に他ならぬと思ふ、因つて撫順炭でも東部の炭は粘結性に富んでゐるが西部炭は非粘結性である、是等の豫備知識が足らなかつたのではなからうか結局多大の期待をかけて行つた英國に於ける石炭低溫乾餾試驗は完全に失敗に歸した

◇

そこで自分はそこ〳〵に英國を辭し前記の如く再び獨逸に歸へり同事業の最も發達してゐる佛國を訪れたが端しなくも同國氣流學の大家で軍事上幾多の發明をなした彼の有名なる物理學者リヨウテイ氏に就き意外な收穫を得た、それは自動車や飛行機がオールスピードで走る時生ずる物理的現象をこの石炭乾餾法に應用したものである

奉天

武德會軍大勝す
不戰十五人を殘して
對全奉天劍道試合

京都武德會劍道部對全奉天の劍道試合は廿九日午後四時から奉天道場において擧行された會場は觀衆で溢れる盛況を呈し京都藤井、奉天池田兩初段によつて試合の火蓋は切られた奉天の松原君は四本拔いて氣勢を揚げたがその後續かず京都の森田君のため八本も拔かれ奉天の前田二本拔き以後は京都の前崎二段のため奉天側の三、四、五段とも無で切りに斬され物凄い意氣を示し京都軍三段以上五段迄十五人といふ不戰者を殘し大勝し五時四十分頃閉會した尚その成績は左の如し

京都	奉天
初段藤井(一人拔)	初段池田
同木村	同松原(四人拔)
同新山	同佐藤
同小泉	同本間
二段森田(八人拔)	同河合
同前田	二段武宮
同野村(三人拔)	同田崎
同池田	同尾彩
同油井(一人拔)	同横尾
同肥後	同前田(二人拔)
同前崎(九人拔)	同永吉
三段坂本(以下不戰)	同岩崎
同田中	三段久見瀨
同岡村	同大久保
同廣瀨	同澁谷
同山內	同吉谷
同松森	同千葉
四段奥村	四段黒岩
同林田	同小川
同辻丸	同宮城
同吉留	同中西
五段幸田	同增田
同角田	五段牛島
同杉浦	同篠原
同並河	同十川

駐日暹羅公使

暹羅皇兄殿下に隨行の駐日同國公使サマチ氏は殿下に先立ち二十八日北平より來奉ヤマトホテルに投宿し二十九日午前十時より同ホテルにおいて川相關東廳外事課長、三浦副領事、陳交涉署第二課長、李秘書等と共に三十日晩御來奉の殿下の日程作成に就き協議するところあつた、なほ同殿下の朝鮮における御日程については總督府より小田通譯官來奉し打合せすることになつてゐる

奉天驛へ旅客から禮狀

近來滿鐵當局では旅客に對するサービスにつき最善の努力を拂つてゐるが殊に奉天驛では國際都市の驛としてサービスにつき苦心の態であるが今回このサービス振りに少からず感動を與へられた一旅客から左の如き禮狀が奉天驛に寄せて來た

貴管々下職員の社會サービスを何より有り難く感じました、足は一度他の支那在留地から來奉するにつけ身は日本國にあるが如き心地が致しました、滿鐵沿線各地に比し一層の親切を以て事業のため盡されてゐる事を深く感謝して居ります

豐作の蜜柑
例年より八割
輸入增加か

本年は日本內地における蜜柑の洪水で近年にない安價が豫想されてゐるが之につき市內千代田通り小田洋行主小田要一氏は語る

靜岡は平年作であるが滿洲に近く且つ多く入荷される紀州、伊豫、長崎等が大豐作であるため本年は例年より八割も多く入荷があらうと思つてゐる、そのしかも旣に出廻つてゐるが本年は近年ない不況と支那側果物の豐富が影響して値段も例年に比し四割方安く、行く行くは五割方も下るものと思つてゐる、故に從來一箱が一圓三、四十錢もしてゐたものが一圓以下の値段で買はれる譯である、林檎も滿洲に最も多く出廻る朝鮮が水害のため平年作の三割の收穫を唱へてゐるが支那側の果物豐富なため相當入荷あり例年より安價である

行方不明の男
突然歸宅

市內八幡町十番地鶴岡和文方新原秀郎(三)といふ法學士が去る八日以來所在不明となつたゝめ周圍の事情から遺恨を持つ支那人のため殺害されたのではないかと大騷ぎをしたがその本人が廿八日大連に旅行中から突然歸宅したので二度びつくりしたその間には色々事情があるやうである

家出藝者舞戻る

十間房料理店鳥家抱藝妓小仙事藤井きん(二)は廿九日午前一時頃御一同樣、母上樣、中原いつ子樣、おふく姉さんと宛た四通の遺書を殘して家出したので樓主側では自殺の虞ありと驚いて警察に捜査願ひを出したがその本人が同日朝四時頃これ又ひよつこり歸つて來たので二度吃驚 小仙は昨年八月前借千五百圓で同家に抱へられたものであるが病氣が因で現在では輕いモヒ中毒に罹り行末を悲觀した結果らしいと

町のニュース

新任奉天赤十字病院長野田博士は廿九日各方面を歷訪し着任の挨拶を述べた

◇

奉天警察署長立川俊三郎氏は廿九日午後六時在奉新聞通信關係を金龍亭に招待し披露宴を張つた

◇

京城府大門通五丁目千藏旅館料理人平石吉太郎內縁の妻長崎縣生れ下鎰もと(二一)は十九日もとが元女中奉公してゐた平田旅館に行くと稱して外出したまゝ行方不明となつたので或は滿洲方面に雲隱れしたのではないかと二十九日奉天署にも捜査願を出した原因は主人と口論したのを悲觀した結果らしいと

◇

市內江島町九番地菓子商東京堂使用支那人山東省生れ英學勝(二〇)は廿八日午後三時友人の婚禮に行くと稱し外出したまゝ歸らぬので不審を抱き目下所在搜查中であるが集金約二百圓を拐帶逃走してゐるらしいと

人事

▲河相關東廳外事課長 暹羅皇族出迎へのため廿九日朝來奉
▲安岡檢察官長 川崎司法政務次官出迎へのため廿九日來奉
▲宮川代議士 廿八日北寧線にて北平より來奉
▲駐日暹羅公使 同上
▲加納主計中佐 廿九日朝長春へ赴連
▲木村大連車輛事務所長 廿八日
▲足立四洮局事務處長 廿八日奉天往復
▲沖田滿鐵々道部審査係主任 廿九日大石橋へ
▲寺田撫順署長 廿八日撫順へ
▲京都武道會劍道部選手一行卅名 廿八日大連より來奉
▲韓麟生氏 廿八日天津より來奉
▲唐子華氏 同上

おらが町の歩み (四八)
撫順の卷(2)

炭礦の建物や機械全部を露兵燒拂つて逃走
煙臺から撫順に移るまで
撫順炭礦の今日あるまで
福島英雄氏談

二十有七年前日露戰役當時憲兵隊一方の指揮者として出征爾來撫順に在住炭鄕草分けの一元老として將又指導時代より撫順一般公共的事業のリーダーとして寢食を忘れて盡し今日の大をなせる撫順の影に逸に難き功勞ある福島英雄氏は今や晩年をカメラを友にしつゝ閑日月を送りつゝあるが秋のある夜感慨深げに語る

撫順炭礦は今の處撫順が主で煙臺はその部分的一採炭所にすぎないが、煙臺の方がさきに日本の手に歸した明治三十七年七八月の遼陽戰の直後私は部下の憲兵七八名を連れて坑夫取締の任務を受け煙臺に行つた、當時の炭礦長は三等主計生の加藤喜左衞門氏でその部下には曩木(後の三井工業部長工學博士)大內、貝島など云ふ手腕家がゐた、その頃尙撫順は露國の勢力範圍にあり軍隊用の石炭を原始的な方法で採掘してゐたが撫順よりも煙臺の方が採炭設備などもグツト整つてゐた但し敗戰後露兵が滅茶苦茶に破壞して行つたので竪坑などは全く手がつけられぬ狀態であつた、從つてその復舊には隨分骨が折れた、撫順の占領されたのはその翌年三十八年三月十日

一大富源は遂に吾が軍

奉天大會戰でさしもの露軍が一敗地に塗れ埋藏量約十錢億噸と謂はれる撫順炭坑は一の手に歸した、それで煙臺坑は一先づ採炭を中止新富源たる撫順炭礦に全力を注ぐ事となり當時の煙臺坑の幹部は全部撫順に移る事となり私共も同年の三月半頃すやうな酷寒の氷上を徒歩して撫順に來た處が逆も露兵北走の際全部の建物や機械を燒き拂ひ當時採炭されつゝあつたのは老虎臺、楊柏堡、千金寨の舊坑の三つがあつたが老虎臺と楊柏堡の兩竪坑は露兵が故意に注水して逃げた跡で全く手のつけやうがなく僅に千金寨の舊坑を利用して採炭を始めた、當時の苦力頭は今大山坑に千數百人の苦力を使つてゐる劉善才であつた、その頃の採炭法は輙く位拙稚な所謂狸掘りと云ふ奴で掘つた石炭は苦力が一擔ぐづゝ背負つてノコノコ坑外に運び出てゐた、當時の撫順炭礦は大本營に隸屬して煙臺坑の人々が全部赴任し加藤所長のもとに大山木喬栄と云ふ技師長が居たが一月後約三百噸位の出炭を見てゐた、ついで炭礦は野戰鐵道提理部の管理に移り

加藤所長は安東に轉任

大八木さんが所長になつた、その頃は軍人ばかりであつたが日本人の數も少く支那人も千金寨その他に點在する農家があるのみで附近は丈餘の草原かさなくば茫々たる高粱畑で全く淋しいものであつた社宅の設備など勿論なく幹部連も南京虫の巢窟のやうな百姓家の借住ひであつた、私は同年秋軍籍を脫すると同時に撫順に落付く事となつた、一般商民に撫順を開放したのは三十九年一月でその時一どに濼山の支那人が流れ込んできた料理屋だけでも滿鐵樓、東雲、醉月と數へきれぬ位濼山あり、何屋の軒にも八九人乃至十人位ゐた、雜貨屋もどしく出來て素張らしい景氣であつた、但しその附近の百姓家を借りてやつてゐたのでどの家も鮨詰めで同年五月頃には千人位の日本人がゐるやうになり是より前同年三月には居留民會が出來本田と云ふ人が會長であつた、五月頃には改造問題が起り森島君や私が極力奔走して會長には今西公園に碑のある坂本格氏を擔ぎ上げ私も評議員になつた、その時の記念寫眞がまだ殘つてゐる、炭礦が滿鐵に繼承されたのは四十年の四月一日

行政も滿鐵がやる事に

なり掘ひ出多い民會も廢止した、その後間もなく實業協會の前身である倶樂部が出來後實業協會となり坂本翁が初代の會長となつた、三十九年の夏軍隊の凱旋と共に雨後の筍のやうに多かつた料理屋もグツと減り在留民も一時減少したが、滿鐵に移つてから活氣がよくなつた、最初陸軍の人達や民間の有志は市街を採瀋附近か今の東鄕邊から守備隊のある附近に作り千金の方は悉く鐵道や貯炭場にする計畫であつたが當時の松田博士がどうした意見か私等の想像だにしなかつた千金寨に市街を建設した、今撫順の問題になつてゐる不動產問題の原因とも言へる新市街移轉問題も當初陸軍の人達や民間で主張した東鄕附近から以北にでも市街が建てられてゐたら現在のやうな六つかしい問題は起らないと想ふ

何しろ當時千人內外の

邦人が今や一萬六千人を突破せんとし一日僅に二百噸の採炭が八十數倍の二萬五六千噸を掘るやうになり華工のみでも四萬人から使ふやうな大撫順炭礦になつたかと想ふと轉今昔の感に堪へぬ【寫眞は福島氏】(此の項終り)

四平街

月次獻書會
勅語記念事業として
神社の企て

昨三十日は教育に關する勅語御下賜四十周年に相當するので四平街神社に於ては午前十一時中祭式に依り祭典執行され氏子多數の參拜もあつた尙明治天皇が學制を定め給ひて學事を御獎勵あらせられた結果學校教育が今日の隆昌を見るに至りたるは偏に御遺德の賜として國民の等しく景仰し奉る所なるも東洋美術の粹ともいふべき書道の衰と共に進歩しつゝあるは實に痛惜に堪へずとなし神社に於ては今回の記念事業として月次獻書會なるものを組織し學校及市內一般の同好者より出品を乞ふ豫定であるが今回は其議決定後餘日なかりしため唯學校のみに止め小學校五年生以上高等二年以下は井上校長より「國體精華」の四文字を選定し家政女學校生徒には明治天皇御製の和歌を長岡社司手本を謹書して夫々配布し嚴選の上昨日神社に於て其結果を發表した

教專學生募集

滿洲教育專門學校では明年四月に入學せしむべき學生の募集を左の如く開始した

一、試驗檢定 (イ)試驗科目(文科)國語(解釋、作文)英語(英文和譯)歷史(日本史、西洋史)常識(理科)國語解釋、英語(英文和譯)化學、數學(平面幾何三角、代數)博物(動物)常識(ロ)試驗場 奉天、福岡、東京(ハ)試驗期日 奉天は二月廿六、七の兩日福岡は二月廿四、五、六、七の四日間東京は二月廿六、七、八の三日間

二、無試驗出願者の銓衡 昭和六年二月一日までに一應銓衡し銓衡せられたるものは指定の試驗場に出願せしめ口頭試問を行ふ銓衡に外れたるもの、中受驗希望者には受驗證と受驗者心得とを發送しその他のものに對しては不合格の旨を夫々推薦學校長宛に通知す

三、募集人員文科廿名理科廿名合計四十名尙詳細は教專につき問

安東

『八百長競馬だ』と打つ毆るの喧嘩
臨時競馬三日目の騷ぎ

秋季臨時競馬三日目も相變らずの人出を見六、七兩競馬には滿歡に次ぐ好配當あり觀衆の人氣を沸かし各地より參加の騎手も死物狂ひとなつて奮鬪を續けてゐたが、當日第十一競馬が終了し最後の十二競馬が開始せんとせし際馬主關係者の間に於て騎手對馬主關係者の毆る打つの大喧嘩に花を咲かせた、間もなく取締官憲に依つてその原因を糺聞するに第十一レースは各抽籤馬の際出走馬羽衣、駒錦の三頭にして終、羽衣は同一馬主である結果三頭出走すれど二頭の競走となり相當人氣を呼んでゐた處相當のタイムを有する羽衣が一着を豫想されてゐたのが第三着となつた爲め羽衣の持主である大連逢坂町某氏の乾分と言はれてゐる宅見及び古川の兩名が羽衣の騎手田中(大)に對し馬の乘り方がいさか八百長レースであるとか呼び田中を毆打した事から前記の始末に及んだらしいが事實當日羽衣は少し體に異常があつたらしい田中騎手も四五回ハクシヤを入れた跡もあるが好成績を出す事が出來なかつたのであると

結團式
安東健兒團

安東健兒團は各指導員の大努力で益々發展しつゝあるが三十日卽ち教育勅語換發四十周年記念日當日午前七時安東神社々前に於て結團式を擧行した

安中好成績

滿鐵學務課は沿線四中學校本年卒業生の上級學校入學成績を發表したが左の如くで安東中學は第一位を占めて居る

	卒業數	內地學校	滿洲學校	入學率
安中	五二	一八	八	〇・五〇
奉中	八一	二六	九	〇・四三
撫中	五一	一二	五	〇・三三
鞍中	五〇	一二	四	〇・三二

防火消火演習

日本防火協會主催安東警察署滿鐵消防隊並に安東兩新報社後援の國產防火液使用、防火、消火演習は二十七日午後七時から大和橋通中央公園で行はれたが高山署長、大場保安主任、大津地委議長、瀨ノ口副會頭、高橋國粹會安東本部長森田防火液特約店主各新聞關係有志多數の臨席あり參觀者約八百名にのぼり大盛況に終りを告げたが二十八日も同樣の試驗を行つた前後二回共紅蓮の猛火を約一合八勺の藥液で完全に消止め觀衆を感歎させた

人事

▲高尾採木公司理事長 過般東上滯京中であるが來月中旬頃歸安の筈
▲板津直純中佐(連山關大隊長) 滯在中の處二十八日午前十一時四十分發にて歸關
▲戶塚高女校長 臺北にて開かれた全國高女校長協會に列席中の處二十四日歸安

開原

青年團の總會

開原青年團にては來る十一月二十二日の青年記念日をトし開原公會堂に於て同日午後六時より秋季總會を開催し引續き同七時より辯論會を開催する豫定である

バレーボール

開原青年團にては來る十一月二日午後一時より地方事務所コートに於てバレーボール試合を催すと

哈爾濱

いづこも同じ 農村の悲哀
大豆の相場慘落で 浮ばれぬ北滿農民

[illegible]……の百姓が市場に出すまでには約一プード五十仙乃至五十五仙見當、一人の百姓が十天地を耕作すると假定し算盤を立てると四百五十プード(一布度五十錢割)で哈洋の二百廿五元、これが一ケ年の收入である、然しこれは百姓が地主である場合の勘定であつて吉林、黑龍の既墾地は大部分官吏又は官吏の大地主の所有であるから年貢豆半數は上納せねばならぬ、結果現在の相場からすると小作農夫の實收入は百十二元五十錢(金に換算して金五十四圓五十錢見當)である、これでは日常生活必需品である木綿の着物一着を買ふことも甚だ六ケしい譯である 歐洲の大豆の不景氣と世界不況のために一番下積みとなつてゐるのはいづこも同じ農村であるといふ結論に達する、これでは北滿に購買力の減退するのは無理がないだらう

一中の騷擾

[illegible]……學生の鄧校長、張教諭の排斥運動に學生の騷擾は單なるストライキとみることができず上海系の國民黨員との連絡か煽動のあるものとみて支那當局は嚴重取調中である

濱江雜俎

東支衞生局に達した洮昂線のペストに關する報道によると鄭家屯の防疫醫の望診を得て一日に通過したものは約三千名であるそのうち一名の發熱患者ありと診斷の結果ペストにあらずと判明した

◇

東鐵各線のペーチカ構造に新案を工夫したポキノフ技師は改良ペーチカの經濟的であること立證し、四百五十金留の賞與をルドウイ局長から支給された

◇

二十八日の東鐵地方換算率金留對哈洋は二三三元

◇

二十四日一日中に列車で鄭家屯を通過した旅客は二千百名と東支へ報告があつた

旅順第九驅逐隊長岸本鹿子治氏は二十七日來哈北滿ホテルに投宿し市內を見學した

◇

颯然と姿を現はした武林武想庵氏は例の調子でゾラの飜譯の話が吉田孤羅氏との間に纏り廿六日の歐亞直通で巴里へ直行した

◇

重松ハンブルグ領事は廿六日午後三時半の汽車で赴任した

◇

旅客手荷物會議に大連へ出張した東鐵旅客科長ヘーミン氏は廿八日福井參事と歸哈した

コルバニー

「諸君はどうも色氣が多すぎるから困る」と中野領事の一夕話

◇

一つ修養團へでも入會して修養する必要があると記者達を捉えての御託宣

◇

八木荻川先生「僕も一期を了へたのだよ僕の白鉢卷をしてネ」

◇

「ながなかやつてみると國民體操のやうなもので實に氣持がよい」と藤本さんの勸告

◇

記者連領事館が修養院に變つたと呆然

◇

第一中學校の生徒か張教諭を教壇から蹴り下ろして鄧校長に退校處分を宣言した

◇

長春第二師範の生徒が校長を校門外にホウリ出したのと好一對、校長に退校命令はこれが嚆矢である

鮮人共產黨員

東豐縣で潜伏した鮮人共產黨員の一味のうち十一名は支那軍の手で廿七日十四時半ボグラから押送されて來た、一味は頑丈な麻繩で十重二十重に縛られ警官數十名が附添ひ嚴重警戒されてゐたが、いづれも廿四、五歲から若いものは廿一、二歲のものもゐた、頭髮は伸び死人のやうな姿であつた

文協の講演會

滿鐵文化協會支部にては卅日午前六時から午後六時まで修養團婦人講習會、午後五時から發會式を擧行し、卅日午後六時から卅一日午前十時までは男子講習會を催したが勝部耕藏氏の講演があつた

旅順

石油焜爐爆發す
萬富式經濟焜爐で炊事中 二人顔面に火傷

旅順新市街日進町十三番地ノ二關東廳湯田三雄の妻湯田光榮(二二)は二十九日午前六時四十分頃數日前戶別賣に來た萬富式經濟焜爐を使用すべく炊事場にて揮發油約八勺程注入し點火炊爨中突如一大音響と共に爆發し治療約十日間を要する顔面火傷を負ひ二女喜代子(一)は左足に輕微なる火傷を蒙らしめた他窓硝子一枚表窓硝子二枚風呂場窓硝子四枚を破壞しその上焜爐の破片は上窓及び炊事場の天井を突き破つた警察署に於ては直に取調た處該焜爐を購入せる家庭は相當に上り總も爆發せる家も二三軒あつた事が發見されたが最近兎角新案特許なりとして賣步く商品中には多く特許辨理人の受附番號を以て特許番號の如く見せかけた物尠くないので一般の注意が肝要である

御眞影拜賀式

關東軍司令部では十一月三日明治節につき午前九時より廳內高等官集會所に於て御眞影拜賀式を行ふ筈であるが、式終了後は高等官集會所に於て軍司令官の招宴が催さるゝ

金組利率變更

旅順金融組合では十一月一日より左の如く會市組合擬りの金の利率を變更する事となつた

貯金預金	日步	一錢
据置貯金預金	日步	一錢九厘
定期預金	一年	六分
同	半年	五分五厘

聯隊實包射擊

步兵第九聯隊では二十七日より十一月二日迄每日午前八時から午後五時迄白銀山より北斗山の一帶に亘り實包射擊演習を行つてゐるが一般市民は赤旗に注意し立入禁止區域に立寄らぬ樣にされ度いと

二中實包射擊

旅順第二中學校生徒は二十九日午後一時から海軍射擊場に於て教練のため實包小銃射擊を行つたが成績良好

養蠶會の講習

滿洲養蠶會旅順支部では來る十一月十日より同十六日迄七日間眞綿製造及加工並に座繰製糸の講習會を開催するが場所は滿洲製糸株式會社內で原料繭は各自持參のこと

山本氏の招宴

關東廳教育主事に任命された山本壽喜太氏は二十八日午後五時より新市街秦豐樓に於て各關係者其他を招し盛宴を催した

生れた人

▲元寶町二三七ノ一 官吏安田三五郎長女幸子十二日出生

傳染病發生

▲大津町八ノ三 醫員、古村廣乘(三四)二十九日腸チブスと診斷さる

法院便り

二十九日旅順高等法院に於て開廷せる一、上告部 ▲第一審にて懲役一年第二審にて無罪となつた詐欺朴文振に對しては證人として金亭後を喚問したが續行となり次回は檢證の上證人調べをなす事となり▲銃砲火藥取締規則違犯第一審懲役五月第二審罰金二百圓を云渡された松尾陳作に對しては懲役一月を申渡され▲麻醉劑取締規則違犯にて第一審は懲役四月第二審は罰金二百圓の奧村半吾に對しては懲役三ケ月を申渡され▲殺人未遂及び傷害にて第一二審共懲役三年の張永廉に對しては上告棄却となる二、覆審部▲過失致死伊達順之助に對する判決は十一月十二日に延期▲傷害張漢福に對しては前審同樣懲役四月の申渡しあり▲第一審にて懲役二月の麻醉劑取締規則違犯藤市之助に對しては麻醉劑の點は公訴棄却劇藥の點に就ては證據不充分にて無罪となつた▲匪賊王輔臣以下八名に對する第二審は事實審理を遂げ續行次回

鳳凰城

勅語捧讀式

鳳凰城小學分教場では昨三十日教育勅語御下賜四十周年記念日當日午前正九時より同校講堂に於て記念捧讀式を擧行引續き兒童學藝會を開催尚當日は別室に兒童の教育勅語謹書成績をも掲出し一般の觀覽に供した

軍隊の送別會

當地守備隊は從來安東第四中隊の一小隊が派遣されてゐたが今回の獨立守備隊の編成替に伴ひ現在の小隊は安東に引あげ新に第一中隊から分駐することゝなり本月三十一日これが交代を行ふことゝなつたので當地在住民は廿八日大津中隊長、臼井小隊長及下士數名を驛前豐前屋に招待して盛大なる送別會を催した

軍隊の留別宴

獨立守備隊の各地守備隊の移駐に伴ひ當地守備隊は安東の原隊に引揚げることゝなつたので第四中隊長大津大尉、鳳凰城守備隊長臼井中尉の兩氏は二十九日午後三時より當地日支官民四十餘名を城內聚雲樓に招待して盛んなる留別の宴を張つた

鐵嶺

敬神崇祖の標語
豫想外に優秀作多く 廿九日漸く審査完了

鐵嶺教化聯盟の教育勅語御下賜四十周年記念事業たる敬神崇祖の標語募集は頗る好成績で鐵嶺は勿論遠く大連、旅順、大石橋、撫順方面からも投稿があり全部で四十一名百七十四句であつた審査は阿部七氏これに當り二十八日より審査に着手二十九日正午全部を終つたが優秀作多く一二等の區別つけ難い爲め十句を特選に十句を秀逸に十句を佳作に採り特選秀逸には規定により薄謝を呈することゝなつた、入賞標語左の如し

特選

敬へ神を、崇めよ祖先 鞍山 坂田ツヤ子
敬神は人の道にて國の基 鐵嶺 銚川
敬神崇祖は日本の精華 旅順 三宅敢一
已が業いそしむ前に神詣で 鐵嶺 南岳生
國の固めは先づ敬神崇祖より 衞戍病院 萩原
仰げ同胞神祖のたふとさを
敬神の家に不安なし 宮島町 白楽生
先づ神棚、是非位牌 大連 山田マツ子
祖先を崇めて子孫を導け 鐵嶺 櫻月生
常に神佛と共にあれ 鞍山 坂田ツヤ子

秀逸

敬へ神尊べ祖先 大連 山田マツ子
孝は崇祖の第一步 守備隊 安藤
神棚を拜んでけふも朗かに 守備隊 道盛
祖先崇拜我等の魂 櫻町 垣本
明い燈明、明るい家庭 地方事務所 小川
清き精神明るき一燈 守備隊 匡名
祖先の勞苦は子孫の幸福 鐵嶺 櫻月生
神樣御先祖樣有難う 守備隊 正男
雨は天から涙は眼から敬神崇祖は心から 小學校 永田
敬神崇祖明るき人生 鮮銀支店 合觀垣

佳作十句は略す

新舊縣長歡送

當地日本官民有志は更迭したる新舊鐵嶺縣長を主賓とし今三十一日午後六時より滿鐵クラブに於て歡送迎宴を催し支那側主なる官紳を招待すると會費三圓五十錢出席希望者は地方事務所又は民會に通知を乞ふと

李通譯免職

鐵嶺縣衙門の日語通譯として十七ケ年在職し怪腕を揮つてゐた李恩普氏は去る二十六日附を以て突然新縣長から免職された、李通譯は日支離間策を弄し一般から好感を與へられず今回の免職も修縣長の英斷を稱揚し李氏に對しては餘り同情されてゐないやうである

遼陽

軍人分會總會

遼陽在鄕軍人分會は三日午後零時半から左記順序に依り秋季總會並に閉會後恒例に依り銃劍術の團體競技を行ふと
▲開會の辭▲君ケ代合唱▲勅諭捧讀▲會務報告▲會計報告▲記念品の授與▲軍人會館寄附者へ謝狀傳達▲支部長訓示▲來賓祝詞▲會長挨拶▲會歌合唱▲閉會の辭

晩秋に飾られた 安奉沿線 (十)

難波生

目下高海君の飼養する蜂群は、主に英國優良種スレーアンス・ゴウルデンだ、外にカアニウラン種も居て君は最も力をそれ等の純性保存に注いで居る、元來蜜蜂は雜交種を好み、この傾向を放任すると種の純粹を維持させにくい、雜種は數において加速度に殖えるが、それだけ集蜜性が減退する、日本內地でも段々純良種が少くなつたが、それは大正二、三年頃の養蜂流行時に、英、伊、濠の各方面から、手盛り次第に雜種の蜂群が取寄せられ、盛んに雜交した結果である、現在純良種の遺つて居るのは、大和の宇陀郡、及び瀨戶內海中の孤島位であらう、前に述べた支那各地の養蜂熱は、內地營業者に少からぬ刺戟となつて、高海君の手許にも、續々純良種の注文が來るさうだ、この點いさゝか君得意の壇場で「カアニウランと、スレエデンとの二種は、私の外に純良種を有つて居る者がないでせう」と豪語く。

◇—◇

英國種も、伊太利種も、飼養の難易、收蜜量の多寡など差別はないが、伊太利種は寒氣に弱さうだ、之が爲に高海君も、專らスレエデン種の仕立に力を注ぎ、成るべくこの一種で安奉線の普及を圖つて居る、昨年支那方面から百箱の注文を受けたが、移轉早々で間に合はず、漸く本年五月の末、全部の發送を了へたさか、斷つて差當つての急務は分讓能力の充實で、今後の五ケ年間に、現在の百六十箱を千箱位に殖やし、その傍ら養蠶、養豚にも手を染めたいと語つた、販き浪らしたが、君は[illegible]の出で、敬虔熱心の人、最も深く大谷光瑞氏に傾倒して居る、養蜂の外に池の坊茶道生花教授の看板を懸け、暇ある毎に各種の草花を造つて居る、鳳凰城の地味は頗る良好で、カンナ、ダリヤ、コスモス、櫻などは言ふに及ばず、蕫櫻の栽培など、非常に好成績らしい

「當地は自給自足には洵に結構だ、米は附近に澤山出來る、野菜も能く育ち、川には鯉、スッポン、鯉の類が多く漁れる、本年は牛蒡も三畝步許り試作した位、大に仕合を致しました」と、が古の數儀その儘の滿足振りだ

◇—◇

兎に角、鹽草栽培者許りの鳳凰城に、全然風變りの養蜂家高海君が入植したのは、先住の人々にも好參考だと思ふ、君は之まで誰も手を着けなかつた附屬地內の濕地を借受け、土地賃借問題などに頓着せず、數十萬の蜂群を、山に、野に放つて、無記の裡に滿洲の甘い汁を吸ひ取らせやうと考へて居る、蜂の採蜜範圍は約八里四方だといへば、その大群が安奉全線に活動し始めたら、驚くべき巨額の生產力を發揮するであらう、殊に養蜂業の長所は、地積を餘り廣く要しない點にある、平坦な原野であれば、約十尺宛の間隔に箱を配置する、屋上など高く目立つ處は三尺位の距離で澤山だ、養蜂業者の單位はザッと百箱、總常費は收穫の二割が普通とされ、蜜の種類は約三級に分ち、上等品二割、二等品三割、三等品五割の收量を得るそうだ。

◇—◇

舊い土地柄だけに、鳳凰城には永い滿洲通が少くない、そのうち小林三郎君の如きは大先輩の一人だ、少壯詩を藥櫛に驅して、鄕里熊本縣を飛出し、初めて滿洲に渡つたのが明治二十八年、風霜正に三十五年の昔語だ、居ること約五ケ年、その頃の滿洲は、萬事創草の際であつた、君は明治三十年川上賢三君と共同で、築港用の石材を露國官憲に納入したが、積出港は石州濱田、歸港後最初の汽船を出入させたといふ、その後君はハルビン、チチハル等の各地を轉々したが、比較的長く居住したのはチチハルで、重に鐵道大隊幹部に從屬して商賣を營んで居た、鳳凰城來住は明治四十二年、商賣もやれば、農業にも手を着け、何かと日本人村の世話を燒いて居る。(寫眞は高海養蜂園)

詩春秋

獅鹿道人

愛民畏天人

報導蔣中正。改信拜天父。蔣公夫人宋美齡。紅閨才色當八名媛譜。終致夫婿嬌喃說耶蘇。久傳基督將軍名。煥章僞信乏正誠。一旦受洗世界驚。久矣中華民國亂。群雄逐鹿擅驍悍。屍山血河十九年。蔣公不見一人靖國難。改信僞耶眞。願公眞心崇天神。究竟民國誰統一。應屬愛民畏天人。

道人曰く、電報は傳ふ、蔣介石氏は本月二十五日上海佛租界の宋家にだて、突然洗禮を受け耶教に入つた。之れは昨年來夫人宋美齡女史及宋氏一門の力勸に由つて斯く改宗したのであると。基督將軍馮玉祥(字は煥章)は詭譎變節の僞信者のみ。中華民國陸海空軍總司令、政府主席蔣介石氏の耶蘇教入りは、以て國人を驚倒し、世界の興味を唆るに足る。蓋し支那の儒教は上天を至上極尊として之れを拜し之れを畏れ又人民を天の民として之れを愛し、民の聲を天の聲として之れを聽くを以て治國修身の極致となしてゐる。耶教の人を愛し天父を尊崇するの信仰は、究竟儒教と同歸である。支那は民國以來十九年、戰亂相踵ぎ、軍閥等は政權地盤の爭奪のみに沒頭し終に一人の崇高なる愛民畏天的の大人物なし。若し蔣氏が果して眞心耶教の人となるならば、支那の「クロムウエル」として撥亂反正の熱誠偉漢たり得る者は蔣氏に非らずして其れ將た誰れに屬せんや。

不老不死 仙遊記 (三十五)

竹內克己
淺枝次朗畫

とられた女房

如何に惡い人間でもどん底におちゐると、自分自身をかへりみる餘悠のできるものである。朱文煒の異母兄、朱文魁も一夜で全財產と妻をまで無くしたがはじめて自分の過去を自省し、弟文煒には濟まぬことをした。父の槪はどうなつて居るだろう。此の上は弟にあやまつて行末を相談しようと自省の念にかられたのであつた。で殘りの金三百餘兩を馬につけ、四川へとたゞ一人、心細い旅に立つたのである。

途中のつれ〴〵に、旅立つ時から一定の契約でつれて來た馬子にさへ自分の身の上を話すのであつた。

「……そんな樣なわけで、全財產から、弟の妻と自分の女房まで、その爾といふ奴に根こそぎやられたんだ。おれは一生のうちに、その爾といふ奴のありかをつき止め、此の仇をかへさねば、死んでも死れぬよ、ひどいことをしやがつて…」

馬子の周魁といふ奴は實はやはり爾らの親分にあたる師爾詔といふ大盜棒の部下の小賊で、此の話をきくと內心大いによろこんだ。

そこで笑ひながら

「……そうですか、それは旦那もえらい目にあいましたれ。その話をもう二三日早く聞くとよかつたのに、十五六里も來過ぎましたからね……」

「それは又どういふわけなんだ」

「旦那が四川にいつて弟さんとやらを尋ねなさるなら仕方もないことだが、强盜の爾武擧といふ奴に仇を返そうとなさるのなら、すぐにも生捕にすることが出來ようと思ふんですが……」

「お前は爾の奴のありかを知つて居るのかい」

「ええ……わしは旦那、そやつの巢を知つてるんですよ。河南歸德府の富安莊といふ六七百軒もある村に賭場を開いてやがるんですがね、わしの兄も爾の賭場にひつかかつてえれえ目にあつてるんでさあ。何んとかして仇敵をうとうと思つてたんだが、そんな强盜をしたなんて生きた證據が出りや、わけなしですよ。そうそう……先月でしたかね。爾の奴め、四五百兩も出して妾を買つて來やがりましたよ」

「その妾といふのはどんな風の女だつたい……」

「背のすらりとした、瓜實顔の、少しあばたのある、足の小さい、いい女でしたぜ……」

「それだ、それだ……それがおれの女房なんだ」と、

文魁は足ずりしてくやしがる。

「お前早くそこへつれていつてくれ、ウンと御禮はする、さあさあ引き返すんだ」

「旦那まあそうあはてなさんな、世の中には同姓同名の人間もありますあれ。でもかくいつて爾といふ奴が果してそれかたしかめるんですれ、その上でないとお上にも訴へられませんかられ。もしそれが本人たつたらわしに二十兩御禮やつて下さい。人違ひだつたらここからの引き返し賃、三兩も下さりあ、ようござんすよ……」

「御禮なんかもつとやつてもいゝ、しつかりやつてくれよ、おい」

二人は相談の上富安莊に引き返した。

荷物や馬は宿屋にあづけて、金だけは身につけ、馬子周魁の案內で、爾の賭場へと樣子をさぐりにいつた。

ある一軒の門構えの家に行く。門を這入つてからいく曲りかまがつた。

文魁は心中びくびくもので、時々は引き返そうとするのであつたが、

「もうそこが賭場ですから、旦那は入口の戶のすきからでものぞいて見ればわかりますあ、大丈夫ですよ」

さいふのにはげまされて、更に小門をくぐつて大きな庭に出た。そこは出入の人も多く、二人が這入つてゆくと

「こやつはいくら穩もつてるんかい」

「一寸にらんだとこでは三百兩程大丈夫あるだろうよ」

「それはいい鴨だ」

やにわに三四人の人が出て來て文魁をとらへてしまつた。

文魁はこの馬子の言葉をきいてはじめてわなにひつかかつたことを知つて大聲で叫びながら、逃げようとするのであつたが

「ごたばたしたつて駄目だよ。こゝは人殺しも天下御免の場所だぜ、生かさうと殺さうとこつちのものだ」

それから文魁は總管と小賊どもが歡稱して居るものゝ前に引かれてふと顔を見ると、寢た間も忘れない、仇敵の爾であつたが、しばられた身はどうすることも出來ない。するとと爾も文魁を見て

「ヤア、此奴は柏葉村の文魁といふ馬鹿ものだ、よう來たなあ、金はいくら穩あるんだい」

ついて來た小賊の馬子は一部始終を報告する。

「そうか、そいつはうまくやつたアハ……會計をよべ、オイ、會計、三百兩の二割は馬子にやつてあとはしまつておけ、それからおれの三番目の女房をよぶんだ」

そして文魁に

「お前もよくよくの馬鹿だなあ。然しお前の金だつてもともとろくな金ぢやない。惡錢身につかずとあきらめろうよ、アハ……お前の女房は今おれの第三番目の女房になつて可愛がつてやつてるよ。お前よりは少し利口だぜ、アハ……そうそうお前の言つた樣に足も小さくて味もいゝてアハ……思ひ殘しのない樣に今遇はしてやらあ……」

そこへ文魁の妻の殿は這入つて來た。

見ると前よりは服裝も立派できれいになつてゐる。

妻は文魁をそれと見てはつさしたものの、泣くになけず、只眞紅な顔をして、はづかしい思ひで、爾のそばに腰をかけた。

「おいこら、文魁よく見ておけ、よく見たか……」

「ハ……ハイ……」

「もういいか、アハ……奴郎どもこいつをそつちへつれてつて、片付けてしまへ」

これをきいた妻の殿はもうだまつては居れず

「どうか、あなた、命だけは助けてやつて下さい、別に未練があるのどうのと言ふわけぢやないんですが……妾としても寢ざめがよくもないぢやないの……ね……ね……」

爾は笑いながら

「アハ……お前も少しは未練があるのだらう。ぢがか放してやればこちらが一大事ぢやし……うむうむ……よし、よし、料理場の火焚きにでも使つてやろうよ。さもなくお前の前の亭主だからなあ、アハ……女房の命乞いで命だけは助けてやらあ…神妙に働くんだぞ」

文魁はこうなつては生命さへあればいい、どんなことでもしようと思つたのである。

命の前には意氣地なくも、さられた妻に對してさへ、それはもうおよばぬことゝあきらめるのであつた。

ミツワ石鹸

秋！秋！収穫の秋!!

研究努力の稔りよ
此品質

何方の肌膚にも必ず適つて
芳香よく　溶崩れ無く
むだが無くて　**三倍以上も保つ**

不斷の品質向上の爲日夜科學的研究に盡しつゝある主要なる技術家諸氏

理學博士　小平　勵氏
藥學士　河村正鑑氏
農學士　三雲次郎氏
工學士　野中正夫氏
工學士

合理化の結實なり
此廉價

文字通り　茲に大量生産は現じて　**極度の廉價**に　到り得たるを悦びとし　又誇りとす

御愛用の増大に依る大量生産の結果は、此優秀の質で、而も其お値段は二流三流の品と、僅かしか違はない程、お廉くたりました。一層御愛用の程をお願ひ申上げます。

用つて見て　始めて味得する
◎ミツワ石鹸の味　保ち　眞價

本舗　東京◎丸見屋商店

明治大帝

御事蹟の編纂　完成二ヶ年延期

萬遺漏なきを期して

【東京特電卅日發】後世に記錄すべき明治大帝の御事蹟編輯の大事業は大正四年特に勅命により、臨時帝國編輯局を設置され、爾來土方、田中兩總裁を經て今日の金子堅太郎總裁に至るまで歳月を閲すること十有六、この間渡邊、上野、本居の三編輯官、本多御用掛などが專心これに當り、明年六月を以て完成を見る豫定であつたが、曠古未曾有なる大帝の御事蹟は到底この日子では盡すを得ず、あたかも教育勅語渙發四十周年を迎へた本月三十日までには略その六分通りの編輯を終へたのであるから更に尊きその御事蹟の萬遺漏なきを期するため二ヶ年間の延期をなし完全に集錄する豫定である

聖上陛下あす　親しく御拜

明治神宮鎭座十年祭　四日間に亘り盛大に御執行

【東京三十日發電通】明治神宮鎭座十年祭はいよ〳〵卅一日より向ふ四日間盛大に御執行あらせられる、大正九年十一月一日明治大帝、昭憲皇太后二柱の神靈を代々木なる宮居に鎭め奉りてより茲に十年、御稜威を慕ひ奉るわが國民の心は年と共に切なるものがある、聖上陛下には十一月一日の御儀に親しく行幸御祖父母陛下の御靈に御參拜あらせられ、東京府市商工會議所から成る神宮奉祝會ではこの盛典を記念するためスポーツその他各種の催しを行ひ、菊花薫る十一月神苑を中心に全土を擧げて盛んな祭典氣分に浸る事になるであらう

都下三萬二千の女生徒　長蛇の旗行列

聖諭渙發記念日を祝ぐ

【東京三十日發電通】教育勅語渙發四十年記念日の三十日、都下六十五校の教員女生徒三萬二千餘名は午前八時十分、九段、日比谷、芝の集合所より旗行列をなし二重橋前に參集し午前十時最敬禮後君ヶ代を合唱し、牛塚東京府知事の勅語捧讀、大妻タカ子女史の奉答文捧讀、奉答歌の合唱あり、最後に天皇、皇后兩陛下の萬歳を三唱し十時二十分式を終つた、なほ式場で女生徒二百餘名は腦貧血のため倒れ救護班の手當を受け大騷ぎを演じたが重症者はなかつた

明治節と關東廳

關東廳では十一月三日明治節につき同日午前九時より在旅課屬各官衙職員の御眞影拜賀式を擧行の筈であるが、式後は千歳倶樂部に於て祝宴を設け參列者一同祝盃を擧げて長官代理三浦内務局長の發聲にて天皇陛下の萬歳を三唱するさ

鮮鐵蹴球團

今夜着連する

來る十一月二、三兩日大連運動場に於て行はれる滿鐵さ大連倶樂部を好敵さして遠征し來る朝鮮鐵道局ラグビーチーム一行は三十一日二十時半着列車で着連することになつた、同チームは半島に於ける一流チームで過般カナダに遠征した

遠く米國から　受信通知や番組問合

漸く知られ出したJQAK　當局はニコ〳〵の態

軍縮記念放送の成功でラヂオはいよ〳〵國際化し日米掛合放送計畫さへも傳へられるに至つたが、當地遞信局でも放送開始當時のラヂオ受信通知は殆ど内地、北海道、朝鮮、臺灣等に限られ稀にシベリヤ邊から通知が來る位であつた、しかるに最近外國殊に米國からの受信通知やプログラムの問合せが著るしく増加し、その數毎月

二十通

内外に達し昨今一層増加の傾向にある、而して愛好者中には婦人多く在留邦人に日本音樂を聞かせて喜ばして居る等と國際親善振りを見せるもの、或は朝早くラウドスピーカーを働かしたので隣人が三人も驚いて目を醒ました等と米國式の氣輕さを示すもの等當局者を北叟笑ましてゐる

警備充實に　兇蕃近づけず

殆んど沈默の状態

【臺北三十日發電通】二十九日夜より三十日拂曉に至る霧社方面の情況は獰悍なる兇蕃の決死的逆襲に一時憂慮された霧社も陸軍飛行機の活躍、臺中駐屯大隊二個中隊の救援したる外カンタクマン方面より進撃中の臺南部隊の到着により警戒手配完全し、加ふるに彈藥も充分補給され警備力いよ〳〵充實したるさ警備隊の勇敢なる戰鬪に流石の兇蕃も近づき得ず僅に霧社を起點さしてハボンに通ずる道路、ロードフンヤに通ずる地點、ホーゴー社に通ずる道路その他に出沒して間歇的に射擊を行ふに過ぎずして殆ど沈默の状態のまゝ拂曉に至つた、現在霧社における警備力は軍隊、警察隊四百十四名、機關銃四挺である、また臺南より應援の桑原小隊は二十九日午後六時頃カンタクマン方面より霧社に急行中兇蕃十餘名より射擊を受けたるを以て直に應戰猛射を加へた爲め兇蕃は四散せり我が隊に死傷なし

集團を解けば　討伐困難

【臺北廿九日發電通】兇蕃は廿八日第一の要害眉溪附近に防禦工事を施して橋梁破壞等をなしたるも飛行隊の爆彈投下に脅へ眉溪霧社を捨て七十名乃至百名位集團して能高方面に退卻しつゝあり、背後

日本チームのメンバーとして活躍した明大出の知葉選手及びHBさして昨冬シーズン東都學生界に名をなした明大出の磯田選手、立教大學出身の早田、上野、同志社大學出の名古屋選手等のほか陸上競技選手として活躍して居る絹干、久富等の駿足をそなへて居ることゝて兩日の戰ひは非常なる接戰さなるであらうと期待されて居るなほメンバー左の如し

（主將）名古屋（FW）秋子、絹干井上、守田、久留、太田、知葉齋藤、山本（HB）奈良田、生駒磯田、（TR）熊代、上野、早田藤繩、坂口（FB）名古屋、金居

黑河船舶終航

【ハルピン特電卅日發】黑河附近は廿七日から流氷あり船舶は終航した

なかく贅澤な　大連の結婚式

神前の擧式年々増加して　大連神社丈でも今月卅六組

不景氣風を餘所に大連神社に於いて擧げられる結婚式の數は年々増加して本年は四月以降既に百二十餘組あつて昨年より二割方多い、三月と十二月が一番多い月だが氣候のよい十月もなか〳〵多く本月はモウ三十六組もあつたといふ、しかし二等と三等さが半々位で、五十圓奮發する一等は一年に一組か二組しかない、不景氣だから衣裳や結婚支度は質素になつたかさ思へばなか〳〵、かへつて反對の現象を示し、昨年邊より衣裳なかいづれも贅澤なものになつてゐる、なるほど諸物價下落の今日、特に吳服類はいづれも四、五割も安くなり、六十圓の半襟簞笥が今三十圓で買へるのだからこの頃千圓の結婚費用を出せば昨年の千五百圓位の豪勢さを極められるさいふもの、結婚するなら只今………

全滿有段者團體

柔道戰參加十五チーム

滿鐵運動會柔道部では既報の如く三日午前九時より大連道場に於て第八回全滿有段者團體優勝旗爭奪戰を擧行するが、參加團體は左記十五チームで武德會大連支所一組、大連實業團が優勝候補に擧げられて居る、なほ第一回戰の抽籤は當日擧行ふ筈

沙河口滿鐵支部、武德會大連支所一組、同上二組、武德會旅順支所、大連滿鐵團、奉天滿鐵支部、旅順滿鐵支部、撫順滿鐵支部、鐵嶺四公聯合軍、南滿醫大、大石橋滿鐵支部、旅順工大、大連實業團、遼鞍聯合軍、大連學友團、金普瓦聯合軍、長春滿鐵支部

四署聯合劍道稽古

國勢調査その他事故のため休止中だつた大連四署聯合の劍道有段者稽古を來る十一月一日午後一時より水上署道場において行ふ豫定

公學堂聯合蹴球戰

大連奬學會では來る十一月八日大連運動場において市内公學堂聯合蹴球試合大會を開催するさ

本社見學

吉林省小學教育參觀團一行八名は三十日午前本社を訪ひ各部を見學した

十年後には日本チーム　世界野球戰に打つて出ん

シカゴ大學監督、わが球界を激賞

【東京特電卅日發】シカゴ廿八日發電報によれば、嚢に渡日して數回の野球試合を試みて歸朝したシカゴ大學野球チーム監督グレン氏は日本の野球界の發達を激賞して左の如く語つた

日本における野球の急速な進歩は驚くべきものがある、この結果は必らずや日本にもプロフエッシヨナルのチームが組織され來るべき十年間には實力を以て堂々とアメリカのワールドシリーズの勝者と世界選手權を爭ふやうになるであらう、日本のピツチヤーはスピードこそ乏しいが立派なコントロールを持つてをり、スピードもだん〳〵出るやうになつてきてゐるフイールデイングも優秀なものであつた

全滿警察へ　贈物の謝狀

中谷警察協會長から本社へ

本社は嚢に創刊廿五周年並に社屋新築落成記念として常に州内外において住民保護の第一線に活動する關東廳管下卅警察署に對し全愛讀者諸氏に代つてその勞を犒ひ、併せて激務の暇々に修養、娛樂の友とされたいさいふ趣旨から巡回文庫卅組を寄贈したが關東廳でも本社の意のある處を諒とし廿八日附を以て南滿洲警察協會長中谷政一氏の名で左記の如き感謝狀を寄せられた

感謝狀

一、巡回文庫　參拾箱　書籍參百七拾六册

右貴社創刊二十五周年並に社屋新築落成記念として警察官慰勞の爲め御寄贈相受け難有く受仕候

本文庫は書籍の御選擇宜に叶ひ當を得て智育に修養に趣味の涵養に何れも適切なる好資料たらざるはなく警察官として好個の讀物を獲たることを茲に深く感謝仕候

新流行の　ショール編み方

女學生向、令孃向、奧樣向等々の氣のきいたショールの編み方を婦人倶樂部十一月號に發表大好評…

大連一の優良兒　テストを公平に

來月四、五兩日大連運動場で　明春は全滿から選出

兒童デーに大連の各學校から選拔した優良兒六十九名中いよ〳〵大連一の最優良兒男生一名、女生一名を選び出すことゝなつたが、學校側から試驗に用ゆる器具その他に相違があつては公平な

調査が

出來ないさて苦情が出たので三十日協和會館に審査委員等が集り協議した結果、同じ時と場所と器具とで公平なテストをすることゝなり、來る四、五兩日に大連運動場において一日は走力、跳力、擲力につき、一日は内科、眼科、耳鼻科、齒科及び一般について調査し、それ〴〵採點し合計點數の最も多いものを以て大連一と決めることになつた、因に今度調査した尋常六年生は大正七、八年の最好景氣時代の出生である關係か

一般に

不健康兒童が多いと見做されてゐた丈けに興味を惹いてゐる、本年度は大連だけの調査であるが明年春の兒童デーには全滿にわたつて同樣の調査をなし滿洲一の優良兒を決定することにほゞ意見の一致を見てゐる

不義した蕃女は……

口笛の調子が必ず狂ふ

禁斷の實を漁つたが暴動原因？

蕃狀通一致の觀測

◆…【臺北三十日發電通】霧社蕃族暴動の原因についてはなほ確然たるものを知る事が出來ないしかし蕃狀を知つてゐる者は誰しも先づ蕃女さの關係がその原因をなしてゐるのではないかさ觀測する、それ程蕃女は蕃社さの間に生ずるいざこざの媒介をしてゐる、有夫の蕃女は勿論未婚の女と雖も許されざる不義をなした事が發覺すれば假令それが同族であつても公衆の戒めとして戮戒される

◆…そして酒や牛豚等を供與して謝罪する事に依つて命だけは許されるが追放は免れぬ、首狩の惡習慣は現在では根絶し耕作若しくは日傭稼等で暮してゐる所謂熟蕃の部落には勿論、漸次歸化しつゝある生熟蕃の部落附近にも大抵内地人か或は臺灣本島人の住民がをり、これ等は其生活樣式に依り蕃人の歸化を促進するに力がある事は否まれないものゝ彼等の存在は往々蕃人との間に事件發生の原因を作る素因をなし、その事件中一番多いのは婦人關係である

◆…卽ち内地人さいはず本島人さいはずやゝもすれば好奇心の動くまゝに蕃社の間に禁斷の此の實を漁る、しかるにこれ等の蕃女は現代の文明人程秘密を守る事が巧でない、しかして蕃人の風習として殆どの蕃女は竹で作つた口笛を調子よく吹きながら踊りつゝ樂しむのであるが不義をした蕃女は必ず口笛の調子が狂つてゐると信ぜられてゐる、そのため秘密にすべき事が遂に發見するに至る、殊に彼等は幼少の頃から嘘を吐く事を教へられてゐない

◆…彼女等は聞かれた時には事實をすつかりいつてしまふと云ふ風で今回の暴動もこの禁斷の實を漁つたのが間接的なり直接的なり原因の一さなつてゐるのではあるまいか

大連少年團の　旗竿奉仕

きのふ甲斐々々しく

教育勅語渙發四十年を記念する大連少年團の旗竿奉仕は三十日から各分隊一齊に開始された、可愛い制服をつけた團員がそれ〴〵家庭を訪問して旗竿をかり集め汚れを落したり、黑いエナメルを塗つたり大馬力をかけてゐる、大廣場分隊で集つた分だけでも三百本以上に達し各隊の分を併せると悠々三千を超えるであらうといはれてゐる。

【寫眞は大廣場分隊にて】

哈市増田醫院　滿鐵で直營

ハルビンにおける唯一の内容完備した醫院として内外人から廣く利用されてゐた増田醫院は、滿鐵がさきに共立病院を買收し傍系事業の一として増田博士が經營の任に當り經費の一部を滿鐵が補助して來たが經營困難の上に増田院長が今回辭任することゝなつたので滿鐵は仙石總裁の一部傍系會社整理方針に基き同醫院を滿鐵直營となすに決定し新院長と共に一兩日中正式に發表の筈である、尙現在同醫院に勤務する醫員はそのまゝ滿鐵に入社することゝなららう、因に事務引繼のため本社衞生課員一名出發した

體育堂運動具店▲出場資格左記十一名の選手を除きたる各會社銀行、商店内にて編成したるチーム（正選手五名、補缺二名）但し滿鐵は各課所を以て編成し同一人にて二チーム以上に出場するを許さず

齋藤吉丸、峰、河田、下重、小川、高野、宮内、谷岡、川上、相島

アマチユア　卓球大會

來月九日開催

恒例の體育堂運動具店主催、本社後援の大連アマチユアピンポン大會は左記規定により擧行されることゝなつた

▲期日十一月九日▲場所基督敎靑年會館▲用球PAボール▲使用ルール神宮ルール▲申込期日十一月七日迄▲申込場所連鎖街

徹底せぬ定期船からの手荷物直配達

大連内地間の定期船では一般旅客の便宜を圖るため、滿鐵埠頭、國際運輸等關係方面と研究の結果、今春四月より船客の携帶する手荷物を船内に於て引換證を發行し、それによつて直に各自宅乃至はその届け先へ送り届ける方法を設けた、卽ち從來のやうに手荷物扱所へ廻すやうにすれば最長二時間半を要し、殊に風雪や寒氣の酷いときには多大の不便と面倒があるので、船内より各自宅へ直配達の方法を設けたのであるが、一般旅客の間では未だこの便利な方法が徹底しないためか依然として手荷物扱ひ所に廻されてゐるさ

而して組織改正の上は社團法人として一般市民より寄附金等も受け各年中行事も一層有意義にし且つ敬老の主旨の充實徹底等につき努力するであらうさ

天津横濱間の　航路變更

大阪商船横濱天津航路は大連往航天津行毎日曜日發復航横濱行毎金曜日出帆となつてゐたが十一月より往航は毎火曜日入港、水曜日出帆さし復航は日曜日入港月曜日出帆、卽ち毎週天津行は水曜日、横濱行は月曜日大連出帆となつた

育成記念演說會

滿鐵育成學校では三十日夜同校講堂において教育勅語渙發四十周年記念演說會を開いたが學生約士八名熱辯を揮ひ盛會裡に散會した

三越支店長披露宴

三越大連支店長より本店に榮轉する大仲氏及新任大連支店長長谷川晨氏の更迭披露宴は既報の通り三十日午後六時半から大連ヤマトホテルにおいて開催、來賓三百名、麻生三越常務の挨拶あり辛島民政署長來賓を代表して謝辭を述べ主客歡を盡し盛會裡に午後九時散會した

大連敬老會の　財團法人認可

近日中に下る

大連敬老會は目下立川雲平氏その他在連有志者にて事業を繼續してゐるが、同會の社會性から今後は社團法人として永久存續さすべく目下關東廳に右認可方を申請中で多分近日中許可さるゝ筈である、

豐田佐吉翁死去

【名古屋三十日發電通】豐田織機の發明者として知られた豐田佐吉翁は中風症にて永らく療養中の處三十日午前十時四十分逝去した、氏の發明は世界的のものとして有名である

逆瀨川元代議士

【東京三十日發電通】元民政黨代議士逆瀨川仁次郞氏は二十九日郷里鹿兒島に於て逝去した

歡喜天大祭

十一月一日午前十時より大連攝津町大聖寺聖天堂に於ては浴油祈禱並に大般若經奉讀、開運利益の法要を修し、一般參拜者慰安のために午後一時より、長唄、落語、淨瑠璃、常磐津等の餘興があるさ

海の唄 (一九九) 仲木貞一作 林唯一畫

(夕刊)(日)　滿洲日報　十月三十一日　昭和五年十月三十一日　滿洲日報　(金曜日)　第八千七百九十八　(一)

支那外債整理のため列國混合委員會開催
來月中旬上海において
日本は今月中に代表を選任

【東京特電卅日發】南京國民政府は今回支那の外債整理のため關係列國に對し混合委員會の開催を提議し十一月中旬に會議を開きたい旨を申出た由である、右

外債整理 委員會は昨年一月矢田上海總領事と宋財政部長との間に調印せられた支那差等稅率實施に關する日支關稅協定中に規定されてゐるのであるが、支那側は政情不安のため約束不履行のまゝ今日迄延引してゐたところ最近漸く南北戰局の安定と、もにいよいよ新財政計畫の樹立の必要に迫られてゐる、一方において關稅自主權の獲得によっていよいよ明春を期して新稅率(國定稅率)を施行することになるので前記矢田總領事と宋子文氏との協定に基づき外債整理を行はむとするものである、右

日支協定 によれば支那政府は產業稅率の實施の條件として其の財政延年度において五百萬元次年度より漸次增額して外債整理資金たらしめやうといふにあり、これが總目協定のため支那及び關係列國間の混合委員會を開かんとするにあつた、而して支那の列國に對する債務(無擔保及び不確實債務)については日本は例の西原借款を筆頭としてその他支那政府に對する賣掛代金にして債務になつてゐるものを併せて約二億圓(へ廿二口)以上に達し列國中最も多額の債權國であるから同委員會の成果如何は特に日本にとつては重要性を存してゐる譯であるが、日本側は多分今月中には代表者を人選決定のうへ上海に派遣する模樣である

煙草專賣益金から餘裕財源一千萬圓
軍部の要求に充當か

【東京三十日發電通】井上藏相は明年度豫算案に對しては一文の餘裕財源もないから節約緩和にも新規要求にも一切復活要求を認むることは出來ぬと二十四日の閣議において言明したが陸海軍を始めとして提議せらるべき猛烈なる復活要求には結局何等かの色をつければならぬ事を慮り約一千萬圓の財源を內密に專賣局の煙草益金中より保留せる模樣である卽ち
一、通常の專賣益金は一億七千二百萬圓の見込みである
一、元賣捌直營による煙草賣掛延納金四千五百萬圓中賣捌人手特品賣上千二百萬圓元賣捌人及び從業員に對する保證金三百五十萬圓直營のため一時的經費百萬圓合計一千六百五十萬圓を差引いて二千八百五十萬圓の自由財源が殘る
一、この二者を合計すれば明年度の專賣益金は二億圓位となる
然るに二十四日の閣議に提示された大藏省原案によれば專賣益金は一億九千四十萬圓となつてをり約一千萬圓の餘裕がある、しかしこの一千萬圓は結局大藏省の最後の唯一の切札であつてこれによつての引ならぬ復活要求殊に陸海軍の强硬なる要求を幾分なりとも緩和する玉手箱であるといはれてゐる

妥協點發見努力
首相藏相の方針一致

【東京三十日發電通】井上藏相は二十九日午後首相官邸に濱口首相を訪問し六年度豫算につき種々協議を凝らしたが首相及び藏相の一致した方針として、各省の新規要求及び既定經費復活要求は絕對にこれを認めざる事、海軍補充計畫については最早政治的解決を要する時期になつてゐるから安保海相との間に最高政策的交涉を急ぎ漸く減稅に一億五、六千萬圓を振り向け得る程度において妥協點を發見するに努力する事となつた模樣である

民政黨は前途を樂觀

【東京廿九日發電通】海軍補充計畫問題に關し民政黨は大體左の如く觀してゐる
海軍側は口を開けば兵力の缺陷とか國防の不安とかいふも兵力の充實も要するに基礎になるは民力の涵養にある從つてこのため出來るだけ國民負擔の輕減を

日銀條例改正案
來議會に提出せん

【東京三十日發電通】擧て問題となつてゐた日銀の制度改正については此の際日銀條例の根本的改正を加ふるは容易でないのでその部分的改正を行ふことになり大藏省では銀行局をして目下具體案を作成せしめてゐるがこれを來議會に提出するに決した模樣である、改正の要點は主として日銀の發券制度に大改正を加ふるもので現在の屈伸制限法に加ふるに比例準備制を併用し保證準備を擴張しこれに伴ひ日銀より國庫に一定の納付金を收めしめんとするものでその結果は銀行送問題も起る模樣である

南京政府の六部長
張學良氏から任命要求

張學良氏は南京政府に對して、臧式毅氏を內政部長、劉尙淸氏を工礦部長、楚屏氏を軍政部長、高紀毅氏を交通部長、邢士廉氏を衞生部長、督衡(?)氏を交通部長に任命方を要求し、併せて臧式毅氏の後任には目下モスクワにある莫德惠氏を推薦した(奉天電話)

カナダ商業團來朝

走馬燈
知坊生

二通の書信(上)

最近私は興味ある二通の書信を受取つた、一は郷里の親戚から一はブラジルの親友からだ、共に珍らしくない不景氣話であるが、その對照が注意を惹いた、前者はいふ、本年度の小作米百五十石、そのうち俵裝の仕換へに七八石を要し、十二三石は自家用に差引かれねばならぬ、殘り百三十石を賣却するとして、目下の米價は十五圓だ、また低下する處がある、然るに地租と地方稅とで、役場に納入すべき賦課金は約千八百圓だ、一石十五圓に賣れたとして、計千九百五十圓から引去ると、殘る所僅かに百五十圓、これが一家十口に對する一年の經費だと、悲慘な話である ◇ また後者はいふ、コーヒーの値下りで非常な打擊だが、更に甚だしいのは米の暴落だ、六十キロ一袋が六七ミルレース、邦貨に換算すると一石四圓以下だと

これも驚くべき…な狀態である、若し一腰…て全…を推論し得るとせば、…作で困つてゐるのは日本のみでない ◇ 植民地研究として、ブラジルは最も價値ある資料を有つ、就中日本に取つて閑却する事の出來ない發展地だが、農業方面の現狀は右の如く相酷似してゐる、しかし詳らかに兩者の內容を觀察すると、工業國と、農本國との大なる徹底がある、日本で百五十石の小作米を得る者は、少くとも十町歩の地主である、價格に見積れば、如何に山間でも五萬圓以上の資產家だ、それが一年に百五十圓の純益しか得ない、食料米を除いて、總ての經費をこれから支出せねばならぬのだ、衣服調度は節約しても、交際を節減し、兒女の教育費を節減し、副食物その他各般の費目を節減しても足らぬ、土地を手放すか、借金しなければならぬ、處が土地は容易に賣れない、土地擔保の貸出は各銀行とも手控へてゐる、其處に文明國民の大なる悲哀がある、これに比べると植民地は未だ氣樂だ、殊に前述ブラジルの如きは急場を切拔け易い。◇ 何となれば文明生活の煩累がないからで、食料が經費の主目で他に居室、照明、交通、社交といつた、生活上の諸支出を必要としない、その食料が暴落したのは、生產者としての苦痛だが消費者としては却て餘慶である、ツマリ金錢生活の拘束が少く、自然生活の自由が多分にある譯だ、しかし何れにしても、かうした大變が人類に與へた教訓は同じだ、それは原始生活とそれに馴らされた者の安易、並に自ら働き得る力の價値である。◇ 私は總ての文明國人が、原始生活に復歸せよとはいはぬ、それは不自然である、未開から文明に進化した處に、人類史の自然な傾向がある、それを急激に變更しやうとするのは不可能だ、文明には文明の…がある、それを愁眾するのは人間の…だ、が、今の世界は稱して文明の餘澤としてゐるもの、中には非常な浪費がある、不衛生、不愉快な術態が少くない、それを縹緲を消耗し、體力を減殺してまで憧憬してゐる、醜い流行だ歐洲戰爭の如きは、この流行が積り積つた噴火だつたといつて好い、而して恐るべき悲劇を後日に貽した、しかしそれが同時に文明の弊所を明示し、文明生活の虛飾よりも其の亂跡に各人の注意を促がすに至つた、これが最近の通信に依る日本とブラジルとの對照が興へた所感だ。

減稅出來ざれば總辭職の外無し
井上藏相決意を語る

【東京三十日發電通】海軍補充計畫に關する大藏省査定案に對し海軍側は頗る頑强な態度を持し奉答文を楯に是非共海軍側の主張を押通さうとしてゐるやうであるが五億八百萬圓の留保財源に對し五億五百萬圓の補充計畫を行ふとすれば減稅實施は不可能となり軍縮會議參加の重大なる理由であつた國民負擔の輕減は全く滅却され樞府條約可決の條件、國民への公約を破棄してまでも海軍側の要求を容れる譯に行かぬので海軍側が折れて出て來ない限り政府の立場は窮地に陷るものと見られてゐる、井上藏相はこの成行を憂慮し二十九日午後濱口首相と會見協議した模樣であるが會見後井上藏相は語る
大藏省の査定案は大藏省としてはあれ以外の方法はなかつた、海軍側の態度が强硬だと傳へられてゐるが、國民に公約した減稅が不可能となれば現內閣はその時限り投げ出す外はないのだから減稅の實現は政府としては絕對的のものとなつてゐる、安保海相との會見期日は未定である

圖らればならぬ、今回のロンドン條約の目的の一半もこゝにある、この事は安保海相も就任に際し充分諒解せる處であり且つ政府當局者として財政難の實狀を熟知してゐるから軍令部の强硬論あるともこれを押へ圓滿な解決點を見出すべく努力するものと信ぜられ結局最小限度の減稅額一億六千五百萬圓を下らざる範圍內にて圓滿解決點に到達するものと思はれる問題の前途を樂觀して居る

國庫歲入出現計
五月末現在歲入五千六百萬圓

【東京三十日發電通】大藏省調査昭和五年度五月末現在の國庫歲入出現計左の如し(單位千圓)

歲入

經常部	五四、三七三	
前年同期に比し	二、七五四減	
臨時部	一、七七一	
前年同期に比し	二二八增	
合計	五六、一四五	
前年同期に比し	二、五二五減	

歲出

經常部	八三、一〇四	
臨時部	一、二四九增	
	一七、六二三	
	九二四五減	
合計	一〇〇、七二八	
	七、九九五減	

而して歲入中租稅收入は二千百六萬圓となり前年同期に比し二百四萬五千圓の減少であり就中關稅減收百九萬二千圓が最も目立ち所得稅、營業收益稅、資本利子稅、相續稅、淸涼飲料稅、砂糖消費稅、織物消費稅等何れも減收となつてゐる、又印紙收入は六百五十三萬一千圓で前年に比し九十三萬四千圓の減收、官業官有財產收入は二百六十一萬五千圓で僅かに十三萬七千圓の增加となつてゐる

外米輸入制限期間延長

【東京三十日發電通】三十日附官報を以て米穀法第二條を樺太に施行するの件(公布の日より施行)米及び籾の輸入稅を昭和六年末迄米百斤二圓とする件(十一月二日より施行)外米輸入制限令を昭和六年末迄延長の件を公布した

何鍵氏の懲罰を請願

【北平特電卅日發】湖南省主席何鍵氏は共產黨軍に二度も長沙を占領されたので省民の信望失墜し、何氏懲戒の聲絕えなかつたが十月二十二日南京居留の湖南同鄉會は何鍵氏が共產軍と通謀せる罪跡を擧げ彼の懲罰を南京政府に請願した、中央政府が何鍵氏を拘束し南京に護送したのは事實らしい

今後の對支交外は正しい理解が必要
新興支那の緊張ぶりに感心した
けふ來連の永井外務次官談

外務政務次官永井柳太郎氏は上海南京、靑島、濟南の視察を了へ三十日入港長春丸で外務省より隨行の國際課一氏外二名と共に來連した、關東長官、滿鐵總裁、大連民政署長等の代理並に各新聞通信記者達は沖まで出迎へたが一等食堂で欣然として
今度來たのは單純なもので役人として來たのでなく、一私人として久方ぶりに新興支那の姿を見に來たのである
大連には七年前大正十二年に天津から來た事がある、今でも判然と覺えてゐるが當時傳染病患者が船中で發生して沖に停泊を命ぜられ新聞記者諸君と船と船とで問答をした懷しい思出がある、本月五日に東京を出發して

上海南京 と中支を觀察して更に膠濟鐵路によつて濟南まで行つたんだが中部支那も上海が十年ぶり南京が十三年ぶりといふ久方ぶりの訪問である、上海は外形のみでも違つたれ、野原だつた所が市街になり沼地だつたところが住宅地になり殷賑を極めるには一驚した、南京もかつては歷史的情趣たつぷりな一舊都に過ぎなかつたが今度行つて見ると新國家の新首府として、あらゆる設備が立派に整ひ政府の諸官衙も完成したもの、しないものも皆眞面目を發揮してゐた一樣に路傍の人に限らず

皆が緊張 してゐるれ、新しい國家の建設に努力してゐる人達の眞摯な氣持ち窺ひてうれしかつた、新しい精神で活氣を呈してゐた、恐らく七年ぶりで見る滿洲も同じ事だらうと思ふ、今度來たのは前述のやうなわけで來たんだが色んな人に會つたよ、そして政府、黨部、言論界それ等の要人といふ人達の頭腦も一變してゐたれ、現實の支那を支那としてゐるこれ等の人達の眞面目な建設的精神はどの人々に會つても肝深く感じたれ、何、舌禍問題だつて、舌禍か口禍かそんな事は自分は知らない、が多くの人々に會つて無遠慮に意見を交換したんだがあれが舌禍といふのかれ、自分は露骨に

然りは然 り、否は否といつてやつたのみさ、顧つて喜ばざるものもあらうしまた喜こぶものも居るだらう、しかし喜ばざるものでもやがて自分のいつた眞實が解れば喜んで呉れると思ふ、單なる威嚇とか單なる迎合ではもう駄目な時代だ、正しい理解に基いたものでなくては永久的なものでないと思ふ、蔣介石氏との會見は實に愉快に行はれた、蔣氏は實に感じの好い人でゆつくり意見の交換が出來たそして直ちに宋美齡夫人の茶菓の饗應なぞがあり全く愉快そのものやうな和氣に滿ちた會合だつた、又親友である戴天仇氏には出迎へまで受け

唐山溫泉 にもゆつくり浸りに行つたりした程だつたよ、滿洲の方も色々問題があるだらうれ、此處に種々な問題が複雜な土地柄だから充分な研究が必要だと思ふ、從つて間島の朝鮮人問題なぞもどうなつたかれ、旅にあつたのでよく樣子が解らないが隨分騷いでゐるやうだれ、又治外法權撤廢をするとすれば矢張り滿洲を除いて本部のみにするか又は滿洲も本部と一括するかつてこれは六ケしい問題だ治外法權それ自體に對しても專門員をして研究せしめてゐる最中で判然とお答へは出來ない又眞實だらう、自分の知つてゐる範圍では、あの方は何事でも深く研究して組織的に、系統的に徹底してやられる方で、科學的な研究を深くなさる方だ、從つて今度の製鋼所にしても充分考

昭和製鋼 所問題も滿洲の現在では問題の一つだらうが、これは仙石總裁にお任せするのが

濟南に行 つて事件後の邦人についてよく觀察して來たが、皆元氣で緊張してやつてゐたよ、何、僕が行つたから元氣を見せたんだらうだつて、まさか空手空拳の僕が行つたつて大した事もなからうから、あれは本當の元氣なんだよアハハ
最後に永井次官は大きく笑つて座を立つたが船の十番バース驛留まで…共に滿鐵交涉部長木村理事、販賣部長十河理事等に迎へられて上陸星ヶ浦ヤマトホテルに向つた【寫眞は永井次官】

南方政界 に如何なる空氣を與へたかつて?南を廻つて來たが何等變つた氣分もなかつたよ今日やつて明日效果が現はれるものではあるまいしあんな局部的問題で大勢には大した變りはないと思ふ、一晩御馳走したから效果が現はれるものでないうだ、支那時局の一段落で排外的風潮は一般に薄らいだやうだ風潮が又現はれたといふやうな電報を見たがそんな事はあるまい、昨年の十、十一月を限り排日傾向は漸次好轉し自分の見たところにはそんな氣風はなかつた

へて居られることゝ思ふ、何も事實に現はれてゐないとしても水に浮んだ水鳥は悠々と浮いてゐるやうだが常に足は動かしてゐるんだがられ、とにかく總裁は頭腦の新しい點で青年といふ感じの人だよ、威海衞還附によつて

液體燃料委員會
けふ總體的意見をまとめる

滿鐵液體燃料委員會小委員會は廿九日午前九時より計畫部會議室で飯田委員以下參集、水谷技術顧問提案の大和式低溫乾餾法について種々技術的審議を遂げ午後四時散會した、而してその結果に基き卅日午前九時より同會議室にて再び委員會を開いたが、席上同乾餾法における委員の總體的意見を纏めることゝなつた

東鐵の赤系勢力著しく增大
白系露人は悉く淘汰

【ハルビン三十日發電通】露支紛爭解決後本年一月一日現在の東支鐵道從業員は二萬五千四百七十三名であつたが九月一日現在の從業員は二萬二千八百三十七名となり八ケ月間に二千六百三十六名の減少を見たが馘首された者の多くは白系露人である、卽ち去る一月一日八千四百二十五名であつた赤系露人は九月一日に至り一萬二百六十五名と激增し一月一日一萬七千五十一名であつた支那人は九月一日までに一萬一千六百三十四名に減少一月一日三千三百九十五名であつた白系露人は九月一日には僅かに九百三十八名となつてゐる、右の如く赤系露人は急速に增加してゐるがこれはソウエート側が奉露協定に基き露支兩國民以外の從業員をドシドシ馘首して露支人從業員の折半實現に努力しつゝあるためで斯くて東支鐵道における赤露の勢力は漸進的に增大するものと見られてゐる

東鐵汽車課の豫算

【ハルビン特電卅日發】東鐵の一九三一年度の豫算中尤も重要性を有する汽車課の豫算査定は管理局委員會にて九百六十一萬四千金留と決定し廿九日理事會で可決した

獨外交委員會軍備縮小決議

【ベルリン二十九日發電通】ドイツ國會外交委員會は政府は直ちに全般的軍備縮小を助成進捗せしむる如き手段を執られたしと決議した

永井次官日程

三十日靑島より入港した長春丸で來連した永井次官の大連に於ける日程左の如し
▲三十日　午後大連神社、忠靈塔(民政署、市役所)滿鐵觀察(時間の都合にて面會時間)ヤマトホテル泊
▲三十一日　午前九時ホテル發、旅順往復(途中龍王塘觀察)大連ヤマトホテル泊
▲十一月一日　午前九時旅館發、滿蒙資源館、面會時間、露天市場(暖爐狀況)救療所、正午官民合同歡迎宴出席、ヤマトホテル(午後一時半)發午後四時迄の豫定)埠頭、苦力收容所、油房、(甘井子)夜滿洲館、ホテル泊
▲十一月二日　午前中は前日迄に面會時間なきときは之に充つ午後二時埠頭出帆天潮丸にて天津へ

兩次官招待
軍司令官々邸で

關東軍司令官は三十一日正午官邸において永井、川崎兩政務官を主賓に在旅勅任官を陪賓とし午餐會を催す

川崎司法次官
けふ奉天發南行

川崎司法次官は卅日朝六時廿分安奉線經由で來奉し、城內を見物十三時四十分發急行で南下した【奉天電話】

間島問題の重大性
川崎司法次官談

【新義州特電廿九日發】滿鮮視察の川崎司法政務次官は北鮮地方の視察を了へ廿九日新義州を視察し同夜安東發奉天へ向つたが、間島問題については北鮮視察の際川島師團長から種々情報を聞いたが非常に重要な問題で對支根本策としても朝鮮統治上からも一局部の問題として輕視する事は出來ない、自分としても歸京の上首相、外務大臣に進言するつもりである

遼寧省留學生

遼寧省政府の本年度の各國留學生及び國內特殊學校在學生に對する補助金は次の如く決定された
▲日本留學生　六萬三千三百十二元(一人月額日本金六十圓六十名分、及監督、調査費を含む)
▲歐洲留學生　二萬一千元
▲米國留學生　五萬七千八百四十元
▲滿洲醫大生獎勵金　七千五百六十元(甲種十五名、一人月額銀三十元、乙種十名、一人月額銀十八元)
▲旅順工大生獎勵金　七千二百七十二元(月額甲種三十元十名、乙種十八元十七名)(奉天電話)

宮尾東拓總裁
あす午後來連

宮尾東拓總裁は三十日午後八時半列車にて來連の豫定の處途中一泊三十一日午後五時着列車に來連することに變更した

商工校長任命

大連市立商工學校長は目下市助役永井準一郞氏事務取扱ひになつてゐるが、二十九日附旅順第一中學校教諭鹿島敏之助氏に正式任命あつた

關東廳辭令(廿九日附)

領事兼朝鮮總督府事務官　米川菊二
兼任關東廳事務官
敍高等官四等
關東廳中學校教諭　從七位　鹿島敏之助
任關東州公立實業學校長
敍高等官六等
八級俸下賜
補大連市立商工學校長
大連市助役　永井準一郞
大連市立商工學校長事務取扱を免ず

はいかる丸

卅一日午前八時卅分大連港外着の豫定

人事

▲永井柳太郎氏(外務政務次官)三十日入港長春丸で來連
▲須島果平氏(大石社員)天津丸滿州丸接觸事件調査のため出帆大連丸で靑島へ
▲吉林教育視察團八名　同上
▲濱田幸太郎氏(大連醫院庶務係員)三十日出帆香港丸で內地へ
▲久留米音樂學校五十七名　同上

大觀小觀

菊花の眞盛り、教育勅語四十年記念式、盛大に擧行さる。ひとり學校講堂のみ盛儀のみのに留めず家庭にも、街頭にも。◇ 支那の外債、多種多樣、これが整理のため列國の混合委員會が來月、上海に開かれるといふ。借りたものだから、返すのが當然。◇ 南から永井次官、北から川崎次官、大連も送迎に多忙。とにかく大連、否、滿洲といふものゝ眞相を當路の人々に、よく呑み込ませて善處されるやうせねばならぬ。

天氣豫報

卅一日(北西の風)晴一時曇

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	一九、九	一五、二
旅順	一一、〇	一五、二
營口	三、七	一〇、〇
奉天	三、三	九、三
長春	零下〇、五	五、七
滿潮	(午前五時三十分)(午後六時四十五分)	
干潮	(午前…)(午後零時二十…)	

國を擧げ祝ぐけふの聖諭煥發四十周年記念日

いと嚴かに報告祭
大連各神社で執行さる

教育勅語煥發四十周年記念報告祭は此日大連、沙河口、金刀比羅の各神社に於て執行されたが大連神社に於ては當日午前十時より中祭によつて辛島大連民政署長、田中大連市長、滿鐵總裁代理栗野地方課長、氏子總代恩田市會議長、田鐵四郎氏ほか氏子四十名參列のうへ執行、なほ大廣場小學校外各小學校、中等學校の諸團體一般參拜者も多くいづれも有難き聖諭を下されたこの記念すべき日を祝ぎ奉つた

官民合同記念式
大廣場校で盛大に擧行

教育勅語煥發せられて茲に四十年その日を壽ぐ大連官民合同の記念式は三十日午後一時から大廣場小學校の講堂に於て擧行された、參列者は辛島大連民政署長、田中市長、大森滿鐵理事、尾崎大連、飯島水上、大内小崗子、久下沼沙河口各署長、永沼憲兵分隊長、和多野大連郵便局長、大森刑務支署長、恩田議長、各學校長、市會議員等約四〇名

定刻一同起立し「君ケ代」を二唱し、辛島民政署長恭しく「教育勅語」を捧讀、續いて田中大連市長式辭を朗讀し、西内大連第一中學校長の教育勅語に關する講話ありて閉式したが、この日各官衙は午後より半休、意義ある日を記念した

各學校でも擧式

市内各中等學校、小學校ではいづれも當日授業を休んで式を擧げこの記念すべき日を祝つたが、各校においてはそれ〴〵勅語奉讀について訓話あり思想混亂の現下にありて今更この聖諭の有難さを想起した

旅順の記念式

旅順における教育に關する勅語煥發四十年記念式は卅日午後一時から關東廳旅順市役所合同主催にて昭和園にて擧行、關東廳、軍司令部を初め在旅各官衙陸海軍部隊學校會社職員一般市民三百餘名參列のうへ開式、御影池學務課長の開會の挨拶ありて君が代奏樂次いで長官代理三浦内務局長殿かに教育勅語を奉讀、續いて長官の式辭代讀の後菱刈軍司令官、永山旅順市長それ〴〵祝辭を朗讀かくて列席者一同君ケ代を合唱閉會したが、式後は工大大佛教授の教育勅語に關する一場の講演あり同三時盛會裡に散會した

文部省の記念式
首相以下千餘名參列して

【東京三十日發電通】明治二十三年十月三十日教育勅語煥發されてより今日滿四十年の記念日に當るので三十日午前十一時文部省では東京帝大講堂に盛大な記念式を擧行し濱口首相、一木宮相、田中文相以下教育團體代表者等一千餘名參列、君ケ代奉唱後、田中文相の勅語奉讀あり次で文相、首相、宮相の式辭あり再び君ケ代合唱に式を終つた、なほ午後二時から日比谷公會堂に記念講演會を催し文相の講話は全國に中繼放送された、この外全國道府縣では孝子表彰、教育功勞者表彰が行はれ意義ある今日を祝した

聖訓を體して民心を作興
國運隆昌の基礎を確立せよ
濱口首相謹話

【東京卅日發電通】濱口首相謹話＝茲に教育勅語煥發四十周年を迎へ本日を以て全國一齊に記念式を擧げる事は眞に意義深き事と信ずる、申すまでもなく教育勅語の本邦徳教の淵源を明示する萬古不易の聖訓たると共に、一面國體の精華を宣揚し多年國政の基本を指導する偉典であつて、憲法發布の勅語と相對し綱紀を高調し萬民を保全する二大鐵則である、近頃世相やゝもすれば險惡に陷らんとする折柄、國民一般に對し普くこの聖訓の徹底を期し以て民心の作興を圖り國運隆昌の基礎を確立することは極めて必要なりと思料する、教育勅語煥發四十周年に際會して感慨更に無量なるものがあるのである

大連の聖諭煥發記念式

孝子に褒狀授與
川崎司法次官
平櫛少年に時計を贈る

奉天における教育勅語煥發四十周年記念式は今卅日午前十時から奉天神社において莊嚴に擧行、在奉邦人殆ど出席して盛大を極めた、式後關東長官より孝子平櫛義政君に對する表彰式が行はれたが、折柄來奉してこの式につらなつてゐた川崎司法次官はこの孝子平櫛義政君の美談に感激し、秘藏のプラチナ懷中時計を同君に贈呈し、並居る人々に感動を與へ、劇的シーンを現出した（奉天電話）

松浦キヨノさんに褒狀授與

孝子として選ばれた營口家政女學校生徒松浦キヨノさんに對する關東長官の褒狀並に金一封は聖諭煥發記念式後授與された（營口電話）

けふ表彰された孝女松浦さん

日本國體の論文募集
修養團聯合會

修養團滿洲聯合會では教育勅語煥發四十周年記念事業として左記の如く國體に關する文章を廣く一般から募集することになつた

一、題　日本國體の尊さ有難さを誰にでも判る樣に實生活に即して簡單に說明し得る文章

一、應募上の注意

（イ）締切　本年十二月三十日限

（ロ）文章　現代日本語

（ハ）字數　一千五百字以內（二十字詰原稿紙に楷書で記載のこと）

（ニ）住所氏名　原稿に記載せず別紙に認め原稿と同封のこと

（ホ）宛名　大連市山城町五番地修養團滿洲聯合會とし、應募原稿と朱書のこと

三、入選發表　昭和六年二月十一日發行の大連、滿日及び同會發行の會報二月號に發表す

四、賞金　一等壹百圓、二等參拾圓（二人）、佳作五圓（五名）

負傷者三百八名死者八十收容
奪はれた兵器　小銃百五十挺
彈藥一萬四千發に達す
臺灣軍司令官公報

【東京卅日發電通】二十九日午後七時渡邊臺灣軍司令官發、陸軍省着電＝霧社附近にありし兇蕃は社番社東方附近に逃避したるも約三百名は霧社に向ひ逆襲せり、目下調査し得たる蕃界狀況は霧社にて收容せる死者八十名負傷三百八名にして奪取されし兵器は小銃百五十挺、彈藥一萬四千發なるもの如し、軍は更に臺中大隊主力を警官支援のため先づ埔里に派遣し且また守備隊司令官をして出動諸部隊を合せ指揮せしむる如く處置す

三百の兇蕃大擧して霧社附近に襲來
警官隊機關銃で交戰

【臺北二十九日發電通】マヘボ、ホーゴー兩社の兇蕃約三百名は自社を燒き拂ひ決死的に大擧霧社を襲擊すべく二十九日午後二時頃霧社東北約一千メートルに接近し來り、夕刻に至り俄然攻勢に出でたので警官隊は機關銃をもつて霧社分室演武場附近に於て目下「午後六時」交戰中である

最初の犧牲者
巡査二名戰死す

【臺北二十九日發電通】二十九日夕刻霧社を夜襲した兇蕃は分室裏演武場及び公醫宿舍の三方面に手分けして戰線を張り危險漸次切迫したので、霧社事務所は消燈し警官隊はこれと應戰銃火を交へたが午後七時頃に至り兇蕃は一時退却せるもの丶如く銃聲もやんだ、然しこの激戰に於て臺南州巡査部長國彥（大分縣人）は腹部貫通、同酒井市郎（佐賀縣人）は胸部貫通銃創を受けて戰死した、これ今回の討伐隊最初の犧牲者である、なほ臺中大隊の二個小隊は二十九日午後七時過ぎ霧社に到着し更に後續部隊として步兵二ケ小隊及び

山砲隊の先發隊は午後五時半眉溪駐在所に到着した

ホノゴー社へ爆彈を投下

【東京三十日發電通】拓務省着電＝霧社を追はれたる蕃人は七十名乃至百名列を亂して能高を越えてホノゴー社方面に逃避しつゝあり屏東の飛行機一千百七十二號機は同社に爆彈三個を投下し內一は蕃屋に命中し蕃人多數屋外に出で非常に狼狽す他の二個は竹藪に投下せり

柴田警部墜落慘死

【花蓮港廿九日發電通】花蓮港廳下の警官五十名を引率し二十八日の銅文より坂返に着いた柴田警部（千葉縣人）は午後六時斷崖より墜落慘死した

討伐本部
埔里に移す

【臺北廿九日發電通】水越臺中州知事は靈擾地に遠く不便のため廿九日午後三時十分臺中發埔里に急行した、卅日朝着同地で討伐を指揮するさ

警官練習生
霧社に急行

【臺北二十九日發電通】臺北警官練習所の井上教官は練習生百五十名を引率し二十九日夜行にて南下三十日夕霧社着の豫定

飛行根據地
埔里に急設

【臺北三十日發電通】屏東飛行隊は鹿港より埔里の舊練兵場に着陸場を急設移動し三十日より埔里から飛行して活動を開始した

各討伐隊前進

【東京卅日發電通】臺灣總督府警務局發拓務省着公電＝臺中臺南警察隊約三百五十名霧社にて警備中軍隊二個中隊は午後七時半霧社に到着、花蓮港隊二百名は午後六時半能高着、出來るだけ前進の豫定である

德惠姬の御配偶
宗武志伯と決定
明春、御卒業後御擧式

【東京三十日發電通至急報】目下女子學習院三年御在學中の李王垠殿下御妹德惠姬（第十九歲）は今回東京帝大英文科三年在學の舊對馬嚴原藩主宗重望伯嗣子伯爵宗武志（二三）氏と御婚約あらせらるゝに決定近く正式に發表さるゝ事となつた、武志伯と德惠姬とは來年三月御卒業を待ち結婚の式を擧げらるゝ事となつた…

生蕃の突き出す槍先
グツと摑み妹を救ふ
妹の氣轉で奇蹟的に助つた姉妹
霧社襲擊當時の慘狀を語る

【臺北特電廿九日發】霧社郵便局出張所員小林榮治方は一家全滅を傳へられたが奇蹟的に次女ハル子（一七）三女ヤス子（一〇）は助つて埔里に到着したハル子は當時の慘狀に戰慄しながら語る

私は この騷ぎが起るとすぐ妹を連れ校長の家の炊事場に逃げ込みました、そのとき既に五六名の避難者あり、押入や床下にかくれました、間もなく生蕃が來て私達を見附け出し槍で妹を突き刺さうとしましたので、私は夢中で槍先を握つたので拇指を斬り落され血のだらだら下で妹が死んだ振りをしたら生蕃はそのまゝ何かほかに見つけたらしく外に飛び出しました、夜八時ころあたりが暗くなつて漸く家に歸つて來ましたところ、父も母も見つかりませんでしたが便所の中から

呻き 聲が聞えますので覗いて見ると姉が「モウ駄目だ」と虫の息で答へるばかりでした、私は妹と命からがら本道を辿つて二十丁ばかり山を降つたところで山下巡査に遭つて漸く助けられました

國體運動
官民實踐
二千五百九十年十月三十日聖諭煥發四十周年記念日
●口ばかりの國體こじき救世空念佛にあいた人々は來れ
●趣意書規則書入用者十錢送れ
●入會金十錢●會費月十錢
大連葭蒲町電話三一九四九
●振替口座大連二六〇〇番
二千六百年會

女の生血を吸ふ夫は色魔です
家財道具まで留守中持出され
保護を願出の身重女

卅日午前十一時ごろ大連署保安係で嫉娠しうら若い女が泣きじやくりながら係官に訴へてゐた、この女は市內桃源臺百卅番地上野某（三〇）の內緣の妻西村ハナ子（二三）といひ「若き女の生き血を吸ふ色魔とは知らず男を信じたのが身の誤りです」と彼女が語るところはコウである――ハナ子は昨年十一月ごろ奉天千代田食堂で女中奉公中、現在の夫上野某の

甘言に 乘せられ內緣關係を結んだ、今春來連してからも男は職なく毎日遊んでゐるので、ハナ子は信濃町ブラジルカフエーの女給となり夫を養つてゐたが、本年六月ころ男はハナ子の現金五十圓と衣類百餘圓を入質費消した揚句「一度歸國せよ就職次第に呼び寄せるから」と巧にハナ子を騙し里熊本へ追ひ歸し、豫て馴染の白由亭の女給瑠璃子こと荒井サダオ（二〇）と桃源臺百三十番地に同棲してゐた、ところが歸國したハナ子は其後一度も夫から便りがなく殊に姙娠五ケ月の身重であるため

行末を 案じ本月十六日來連して見ると夫は他の女と同棲してをり、その不實を責めると「今夜俺と駈落して呉れその旅費を工面して來るから」と家を出たまゝ今日に至るも歸宅せずそれでも男の言葉を信じて待つてゐた、しかるに廿九日ハナ子が外出先から歸つて見ると家財道具は全部上野が持ち出し空家同然となつてゐるのに驚き身の振り方に困つた結果大連署へ保護を願ひ出たものである、なほ上野は女たらしの名人で

女の色香に迷ひ紙幣僞造を企つ
哈市僞造團取調べ進む

【ハルビン特電卅日發】廿七日領事館警察署の手で逮捕された邦人紙幣僞造團の一味、金田義一郎（四三）荒木由五郎（五三）同人內緣の妻根本たけ（二七）島村九一の四名は引續き領事館警察の手により嚴重な取調べを受けてゐるが、一味の首領株島村は大阪において紙幣僞造の罪で十年の刑に處せられ、出獄後間もなく根本たけの妖艷な色じかけにまどはされて再びこの僞造團に加はつたことを自白した、荒木は本件には全く關係なしと抗辯し最初は紙幣變造を造る目的であつたところ根本たけの色香に迷はされ、つひその使嗾に動かされて僞造紙幣を造るに至つたもので、一味は最近まで大連に居住してゐたが不景氣でボロイ儲けもない處からハルビンへ落ちのび、紙幣僞造にとりかゝつたものださ

けさ奉天に雪

二十九日夜來、奉天における氣溫低下し三十日午前六時半から一時間にわたり降雪があつた、これは當地の初雪で最低氣溫一度二、昨年より二日、例年より三日遲れてゐる

奉職中も女のことから

朝鮮總督府の巡査六ケ月に處せられてゐる前科一犯懲戒免職となり其後詐欺罪で懲役の强か者なので大連署で竊盜犯人として手配搜査中

蓄音器から爭論

市內沙河口元町四九大連機關區修繕方江月嘉美待（二〇）は廿九日午後七時半ごろ、同元町九五時計職王啓明（二〇）と江月が約二ケ月前より修理を依賴して居つた蓄音器のことより爭論、江月は履いて居つた下駄をもつて王の眉部を毆打し全治十日間を要する裂傷を負はせ沙河口署へ突き出された

共產黨、東拓の穀物を燒拂ふ
ゆふべ東道溝東古城子で
牧丹川では三名銃殺

【間島特電卅日發】百草溝保衞團員三名が牡丹川に出張中、二十七日夜九時ころ、共產黨員に襲込まれ銃殺された、また廿九日夜東道溝東古城子に野積してあつた東洋拓殖會社間島出張所の穀物が共產黨のため燒き拂はれ損害莫大にのぼる模樣である、なほ東拓は目下間島各地において農作物を收穫中としていよ〳〵恐慌を來してゐる

北京同學會學校

北京同學會語學校は創立以來約廿五年の歷史を有しその間數多の有爲の卒業生を案出してゐるが最近財政的に窮乏をつげこれが維持すら困難に陷つたので、在平の原武（滿鐵）矢野春隆（三菱）原田公使館通譯官、荒水濤三の諸氏が改革委員として內容の充實と資金の調達に努力した結果、科目は從來より九種類を增し時間も正科各班とも毎週三時間、夜學は同二時間を增加、なほ教員大部分の更迭を行ひ新に林莊、高曾培、曹嫦川、耿文軒、賀嗣寬、張貫、周作人、錢稻孫の諸氏を招聘し面目を一新したさ

訂正 三十日朝刊二面教育論文當選者の記事中岡田米太郎氏が大連一中とあるは二中の誤り照井隆吉氏が教諭とあるは教諭心得につき訂正

俠艶一代男 (102)

米田華紅作　伊藤幾久造畫

狐か狸か(十二)

襖屏が敷いたタメ塗欄の違ひ棚の惡塗框の裾に、京風な龍目行燈の灯がぼんやりと映えて、床の掛物も朧氣に讀まれる。

極彩色な秋草の襖から椽に面する黒塗本骨の障子作り、何れも京都式な八疊二間ほどの小坐敷で、金砂子にこぼれ松葉の屏風の外、備後疊へ重ねた羽二重と見える夜具の端が現れて居つた。

夜はもう丑の刻を廻つて、今の二時過ぎ、十六日の月が眞晝のやうに冴え返り、虫のすだき鳴く庭を照してゐる頃である。

「待てッ！」

「は、はい！」と、屏風の端から轉がり出るやうに、眼ざめるやうな長襦袢一つの寢亂れた姿で、左手を後へ、身を斜に裳裾を疊へ引いてホッと息を吐いた、艶かな樣子のおさしみお兼。淺草奥山の寶亭、矢場女とは似ても似つかない文金高島田が枕にほつれ、一層色つぽい艶めかしさであつた。

「千賀！」と、屏風のうちから、夜具の上に起き直つたらしい疳走つた鋭い聲は、誰にこの邸の主人、三百石取の旗下立花左近である。道理ほんの盃ばかりの祝ひの宴。はか縫の濡吉や金次に迫はれた儘に戻つてこず、その消息は判らなかつたが、老婆と用人の鷲尾左内が座敷の取持ちで、聊か飲み過ごした主人の左近は、三年振に迎へた若い美しい女の酔に、嬉しさの餘り醉ひつぶれたのは、二三刻前のやうにさへ思はれたが、うつとりとした夢の繪模樣が、まるで自分のことでないかの如く、饑物のお千賀であるお兼から持かけられ醉心地で言葉にも、眼に見、耳に聽いてゐた。

それが急に、ゾクリとした冷水の中に身を置く惡感を覺え、ハッとして、脱け出して逝て行くお兼の姿をハッキリと見定めたので、夜具の上へ起き直りざまに呼びかけた。

什麽した撫子か？枕元にある燭臺の燭の鼻紙臺が引繰返つて、甍紙が散いたやうに散つてゐる。

お兼のお千賀は、聽き顫えるのか。床の刀架を後に、警戒をする風で、違ひ棚を背にして、根のぬけた島田をがつくりと前へ落し、俯き加減でブルブルと齒の根も合はない樣子である。

まだ宿醉の醒め切らぬと見える、血走つた、濁つた眼を据えた主人立花左近。合點の行かぬ面持で、意氣悄沈して悄れ返つてゐるお兼の悲げな姿へ瞳を落し

「千賀！いかゞ致した？この夜更け何れへ參る？」

「は、はい。申し譯ございませぬ」消えも入りたい風情である。

「何ッ？何が申しわけがない？」

「はい……？」

「さッ、そのわけを申せ！」と、左近が一膝進めた時、膝の先からぐちやりと冷たい感觸が氣味惡く傳はつた。

「粗忽を致し、相濟みませぬ」

言葉さへ滿足に言ひ得ぬ位に、ぶるぶると全身を竦むやうに顫はしてゐた。

「粗忽？それは何事ぢや？」

解しかねる左近は、いよいよ疑念を深くして、この眞夜中に、しかも輿入れの當夜、突如にこんな事を云ひ出したのに不審を打つた。

「はい、殿さまに粗忽を致し、申しわけございませぬ。どうぞお手討ちなと、何なりと、御存分に遊ばしませ！」

左近は一層に事情が判らなくなつた。お兼がおのれから手打になる程に重大な粗忽を、いつ犯してゐるか？」

「そちがそれ程に詫をする理由が拙者には相判らん。詳しく話してくれ！」

「はい」と、お兼のお千賀はもじもじと言ひ澁つて居たが、外した襟繼の袖で蔽ひ、左近の座つてゐる夜具の膝前を指さし、いかにも羞かしさう「そのやうに粗忽を致しました」

「ヤッ！」と、左近は始めて、夜具から膝前がぐつしよりと水浸しのやうに濡れてゐるのに氣づいて跳ね上つた。

キネマと演藝

大檢温習會 開催日延期 藝題は十五幕

來月開催の大連檢番温習會は開催期日切迫と共に連日女紅場に於て出演藝妓約百五十名が西川照松、西川鶴二、杵屋三喜乃、杵屋六代音、常磐津正悳、豐澤玉豐及び望月久三郎の各師匠指導の下に稽古を勵んで長唄常磐津義太夫に亘り十五幕の豫定で大體左の如く内定し近く正式發表の筈であると

▲常磐津、式三番▲長唄、松竹梅▲義太夫、四季の山姥▲常磐津、戻り駕▲長唄、吉野天人▲常磐津、夜討曾我▲長唄、菊重▲長唄、吉原俄▲常磐津、三保乃松▲長唄、大原女▲掛合、妹背山道行▲常磐津、市原野▲長唄、浮世繪▲素囃長唄、紀文▲素囃長唄、時雨西行

尚開催日は最初十一月七日から四日間の豫定のところその後準備その他の都合により延期説が傳へられてゐたが愈々變更し十一月廿日から四日間開催に決定したと

消組懇親會 餘興番組 一日湯崗子で

滿鐵消費組合にては來る十一月一日午前十時半より湯崗子溫泉共樂館に於て第十一回組合創立記念式並に從事員懇親會を催すが、當日の餘興プログラムは左の如くである。

▲小唄「愛して頂戴ね」演舞谷葉子、唄竹中次郎、尺八鶴田幸一▲滿消小唄「滿消こひしや」演舞谷葉子、唄森東津智江、森永再子、根本德子、原光枝、淺木道子、國松珠子、清水智子、高橋豔子、河野光代、齋田貞子、古垣世津子、竹中次郎、伴奏ヴァキオリン元木安彦、田中正廣、ハーモニカ齋藤靜雄、シロホン石黒直男、尺八鶴田幸一、鐘小黑馨▲幕末秘錄「嵐」(一場)解説小久保松濤、津田新八郎…太平幸堂

川崎金吾…織田正民、妹香代子…上廣靜波

▲新案映畫「不如歸」(青山墓地の場)解說しの・億四郎、映寫技師はぜ・直次郎、同ふろ・重太郎、音樂あら・準八郎

▲久米正雄氏作「地藏敎由來」(一幕)演出元木安彦、人物、彌三郎漂ひ人。村ゝ同徒。後に敎祖…辻本昇天、長谷川雲天、源次…富岡海天、勘吉…永田晴天、藥賣オヂニ…岩崎空天、少女…白川ゝ天、老婆…中島放天、白痴の女…多賀雪天、其母…坂野雨天、若者…鮫島黒天、村人甲平…永島青天、同乙助…野中黃天、同丙造…松尾白天

その他撫順支部から沿線代表として素晴らしい出し物があり、また全大連の有志四十餘名が揃ひの衣裳で「佐渡おけさ」を踊ると評判されてゐる

美笑會の放送 名曲『隅田川』

清元美笑會では明卅一日夜、延壽太夫の御前演奏とレコード吹込で有名になつた名曲「隅田川」を放送する事になつたが、此曲は謠曲のそれを篠野採菊氏が改作し名人梅吉が作曲したものである、内容は長唄の賤機帶と同じく人買にさらはれた梅若丸の母親が狂女となつて吾子の行方を尋ね京都から江戸に上り隅田川の渡守にその末期の模樣を聞き墓前に念佛を手向けるといふ哀切優雅なものである美笑會連中は延壽のレコードで改訂の分を修正放送するといふがサテどんなものが出來上るか興味はかゝつて其點にある

女萬歳千鳥會 今明晩限り

連日好評の爲め日延べを重ねてゐた歌舞伎座の千鳥會一行の女流萬歳は愈々今明晩限りで打切つて一日から沙河口をふり出しに沿線巡業に出かける

館話

大日活の十一月の陣容が大體潔落中の長館主の交渉できまつた▲「この太陽」第三篇のあとに澤田淸と梅村の「鬼栗毛若衆」▲廿二日からは開館一周年記念興行を二週つゞけて大河内の「興亡新撰組」前後篇を續映し二週間妙な發行する▲常盤座は次週に「空の王者」の發聲版と早川雪洲のトーキー「大和魂」を上映▲周水子の飛行場で撮つた三原那智子と鈴村京子のブロマイドをプラチナが賣出した▲大連劇場は遞信局の慰安會のあと大檢の溫習會をすまして正月まで一服する▲その代りに正月には大物をあげやうといろいろ計畫をめぐらしてゐる▲消費組合懇親會の餘興に踊る谷葉子といふのは正體がわからず興味をそゝつてゐる▲ゆふべは演藝館浪速館ともに札止めをしてまた映畫興行に新記錄一つ

第二局 滿日勝繼碁戰

第廿三回　滿日勝繼碁戰　三四子四子番　二段 林仁作氏 ／ 秋元豐二郎氏　【林氏二回勝三回目】

—【2】—

○二一ニの七　●二二ホの六　○二三八の五　●二四八の四
○二五八の八　●二六への四　○二七トの九　●二八への三
○二九トの六　●三〇への七　○三一ホの四　●三二ホの十一
○三三への十一　●三四への十二　○三五への十　●三六ホの十二
○三七カの三　●三八ヨの三　○三九カの四　●四〇タの六

▲清水二段講評　黒廿八は(い)に綽ぬべき形なり黒卅(ろ)に尖み白(は)ならば卅に綽れ又白(に)に出づれば(ほ)に頒けて打つも面白からん

この太陽多美枝の巻　斷然好評を博してゐる村田實監督、夏川靜江、小杉勇主演の「この太陽」の第二篇で寫眞は入江の多美枝、小杉の杉山、夏川の曉子【來る三十一日から大日活上映】

モードメント

コートを着るのにはまだ早いこの頃、道往く女の姿は羽織に衆目を集めてゐるが、最もよく眼につくのは白山紋の羽織である、昨年頃から宣傳されゐ、俄然一秋になつて物凄く全盛を極めて來たこれこそ色彩よりも紋模樣一つの面白味であるゝら着てゐる女性の好みが窺はれて却々興味がある、それから訪問服が花柳界にまで素晴らしく進出して來たが、スピード時代は洋髮の訪問服で結婚式を擧げる女性が殖えて來た、白山紋と繪羽の羽織、それに訪問服が服裝界に今全盛を誇つてゐるが、もうすぐコート時代ではある

大連　JQAK

十月三十一日午後七時

▲ラヂオ體操

(三、四子供時間)

▲兒童科學講座「空氣」(第五回)大連彌生高等女學校田中志郎

▲ピアノ獨奏「ソナチネ」大連音樂學校選科生田茂子

▲清元「隅田川」淸瑠璃多波羅、同佐藤、三味線淸元延た願、同多波羅夫人

▲俗謠「数種」唄、三味線土田ハル

▲支那劇「南陽關」連東倶樂部部員

▲職業紹介事項

映畫案内

二十七日より 晝十二時より 夜六時半より

文壇の宿老菊池寛の作名芳の映畫化　巨星…井上正夫主演　**己ケ罪作兵衛**　佐々木恒次郎…監督

環…龍田靜枝　塚口博士…奈良眞養　玉太郎…菅原秀雄　櫻戸…小村新一郎　寺田…小林十九二　作兵衛…井上正夫

ブロレタリア映畫　小石榮一監督　**挑戰**　千坪早井　晶子　哲

近日公開……愛は力だ……

帝國館

久々の日本映畫大衆興行

新方式に依るモダン時代劇の演出ミルトン・シルス氏熱演…… **鐵腕の男**

米國々立製鐵所を背景に物凄き愛慾業火の焔はたぎる……小金井勝・松浦築枝主演……

吉原百人斬　血・血だ！呪はれる寶劍の崇り花の吉原百人斬の因果譚……東總久義・津村博主演……

草に祈る　恩ひ出は懷し日露戰爭物語……十一月二日の日曜日は恒例子供デーですから書間お子樣方は拾錢で開放致しますからお早くおい出下さいませ……

今週の料金　大衆席　貳拾錢　開放

近代趣味征空映畫 早川雪洲主演のトーキー!…… **空の王者　大和魂**　次週公開　廿七日封切

常盤座

廿八日　遂に封切の日來る

大帝キネ本年度豪快巨篇　佐々木味津三原作　**直參八人組**　草間實主演

長尾史錄監督　青春交響樂　**若き血に燃ゆるもの**　中野英治入社第一回主演映畫　監督 木村惠吾　原作 川口松太郎　特別出演 德川良子、杉狂兒

本週發行の優待券御持參の方に限り各等二十錢引にて御優待申上げます

寶館

俄然・絶讃好評・三大名篇公開　三十一日より　晝十二時半　夜六時半

パ社特作怪奇探偵映畫　**カナリヤ殺人事件**　ウイリアム・ボウエル主演

時代特作・千惠藏映畫　**源氏小僧出現**　何時もの樣に朗かな千惠藏の胸のすく傑作篇

第二篇・多美枝の巻・ **この太陽**

斷然好評　曉子は戀を失つて街頭へ●多美枝は夜のナッシェで知つた杉山の下へ通ふ●曉子と元彌の清廊凡べては第二篇に

次週公開・七日より **この太陽**(最終篇)　大虚(編日連載)

大日活

文藝

踊場の沒落
—小說でない一つの報告—

安藤龍

踊子のお清がいきなり髮の毛を引つ摑つた——。踊場がハネて非常口からこつそり連れ立つて出て來た矢先だ。闇のなかで髮は崩掌て外套の襟を立てた。

「アカ（刑事）よ」

「アカ？」

「ちよいと、一足先に——」

「ぶん」

——さても、こいつア五月蠅くなつたもんだ。

營業時間は午後十一時限り、高聲の蓄音器を使用して近隣に迷惑をかけぬこと、ダンサーを藝妓同樣に鑑札制とし健康證を持つもの、身許素行等が公安又は風俗を害する虞れあるものはこれを許さず。

昭和二年三月になつて急に公儀の眼が嚴しくなつた。ひさなワヤにしてはる、と踊場を言つてみた處で、慶長末年江戸最初の踊場令以來だ、撫女だ、歌比丘尼だ、總つみだ、山猫、けころだ、こうして踊のなかゝら不斷の春を漁てゐた所には不斷の禁壓が續けられたのだ。またしも踊老水野越前守が天保十三年三月華政の鐵鞭をふりかぶつて江戸の踊々に吹き誇つた花園「踊場所取潰し」よりは、昭和二年三月の「ダンスホール取締規則」の方が徹底さいふものだ。

だがお清は不平だつた。

「大阪もあかんわ」

踊手のお清は殘縷の欄干に肘をついて道頓堀川の濁れに自らの半生を漉して其の行末をぼんやり考へてみた、もう［illegible］で拾つたのかお清も、もう［illegible］歳だ「拾ひ屋」から「河原遊」——「モサリ」（［illegible］ひ）まで落魄た、やつと人間らしくなつた時には、

「大阪もあかんわ」

「何を考へてんのさ、踊るンだヨ——ホールを出掛けに伊丹幸の瀧龍さんがアカに摑まつちやつて、いまバシコ（交番）に行つてるンヨ」

此頃では「踊場のお京」と賣出してダンサー仲間ではお清なんかよりずつと幅を利かしてゐるお京がどこをどう廻つて來たのか心斎橋から颯爽とやつて來て、ぽんと肩を叩いて非常口の報告だ。

「あいつだ」

たしかに非常口から出た矢先にうろうろしてゐた刑事の仕業に違ひない、こりやアいよいよあかん事になつた。

お清はもう一遍考へ直さなくちやならなくなつたのだ。

そうにうするうちに、どうにも考へがつかず日が過ぎた。風俗を害する虞によつて鑑札を取消され、拾なくしてダンサーに二枚のテケツを與へて稼料だ、應援だ、未成年者が入場した、警官の尾行だ、そんな事だけが話題になつて戰々兢々たる日が續いた。

二萬圓もの巨費を投じて規則にあて嵌めた改築をやつたホールは此の嚴重な監視のためにすつかり客足をさらわれて秋風落寞だ、ダンサーも泣くに泣かれぬ羽目である——規則通りに踊つたんぢや、それこそ「キンチャブ」（絕食）が落ちだ、どうすればいゝ……

「ヤンなつちやふな」

お清とお京の共同アパートの午前十時だ。

「頭痛くないンか」

「どうする？」

何時も新生面を勇敢に拓いて來れるのは苦勞してゐるだけにお清だ、お京が——お清の意見を尊重する、それが後輩の禮だと思つてゐる。

「あんたダカレ（恐迫）るタキ（へ馬鹿）のあてはあらへンか？」

「パクル（恐喝）の？」

お清はお京のパトロンを薄々知つてゐる、この際それだ、どうせ大阪もあかんわ——上海落ち……二人は決心した。

そうして萬事好都合だ。

お清とお京が神戸を出帆したのは、その年の十月に入つてからだつた。

案の條、十二月二十五日になつて例の「ダンスホール禁止命令」が下された。ところが奇體にもダンスホール禁止の翌二十六日K、Tの兩地に新に藝妓指定地許可の指令が發せられたのだ——兩地の地價は一坪八圓から一躍百圓の暴騰だ、皮肉だ、巨費を投じて改築までしたダンスホールをにべもなく踏みつぶして新花街許可は心あるものに暗然を感じさせた。

地價の暴騰で×政黨關係筋は巨萬の利益を懷中に捻込んだ、事は面目をほどこした、恥うなくちやならないとおだてられた、知事は愉快だつた、愉快なうへに萬更でないお賽がソシをつけて轉げ込んだ。

政黨的な利權を伴はないダンスホールは斯くして浸滯してしまつたのだ。

お清とお京は大連で此の噂を聞いた。

「どうだい？」

お清は下唇を突出した。

「矢張りれ」

「いゝ事したやろ」

お京はお清の鼬をますます頼もしげに眺めるのだつた。

だが——大連の冬は嚴しい寒氣だ、

秋の太子河（五）
釣水樓の景觀

淺枝次朗

砂譚子の山峽を過ぎて三里餘り下つた要樓子から河は北に半圓を描き、撫洲城はその圓の尖端にある。此の邊から山地帯を脫けて地勢は一變する。釣水樓はその山地帯と平地帯との中間の沖積層の上に出來た村で、自然の天惠のためか村は如何にも有裕らしく瓦屋根の大きな農家が軒を並べてゐる。村はづれの臺地の上から望めた此の村の景觀は素晴らしい。

釣水樓の景觀　次朗畫

飛行士（九）
ヴ・イテイン作　浦路觀 譯

チャンツエフはグングン昇つてゐた。彼は戰收する毎に目に見える程臨を張りきつてゐた、けれ共益々高さがつのつて來た暖かさは氷度地面についてゐるもので太陽に近づいてゆくと自然に拭ひ取られてしまふやうな氣がした。チャンツエフは一つ一つボタンを締めたり袖口をしめたりした。雲も際限なく重なりあつてゐる下方をみるとそれらの雲が綿のやうに白くつみ重なつて耳が痛いほどの沈默を保つてゐる、前方の雲に擁はれた山の傾斜面や蜿蜒な姿などの起伏がだんだんと狹められていつた、そして遂々はじめて雲に蔽はれた一つの山の頂上を越えた時に彼方にも此方にも半分雲で包まれた凹凸の地面が見え出した。

チャンツエフは自分が愛讀した話や手記等を想ひ出した、それらの本に書かれてあることは、極めて普通のこと、つまり速力や雲や風やについて名狀し難い恐ろしいやうな、素晴らしい文字を拉列してゐるのをよく見た。彼は今、これらの著者よりも遙かに自分の優越感を感じた。それはこれらの筆者が平凡な飛行をしてゐながら如何に危險を恐れてゐるかゞよく分るからである。例へば或書籍には筆者が見送りの人に挨拶するため手をつき出したら危ふく風のためにもぎ取られさうであつたなどと書いてあつた、けれども飛行機の速力——つまり風の力は實際にそれ程強いものでないことがわかつた。

高速度の針は四千を示してゐたが地平線は依然として變化なく續けられてゐた、雲からはまだ拔け出すことは出來ない、恐らくこの調子では後一時間も雲から離れられまいと思つた時、チャンツエフはふと、モーターの音に耳をかたむけた、けれども何ら恐ろしい變調は感じなかつた。

それで彼はまたも「解放された力」の愉快な歌を歌きながら飛行をつゞけた。

突然、脚の下で恐怖を感ずるやうな粘り強い音を聞いたまた……彼がセリヨウシヤと呼ばれてゐた子供の時分によく、ひき蛙を踏みつぶしたときのその音だ。

——油が！——と機關士が叫んだ。

チャンツエフはぐつと胸を突かれた（一秒間前にみたあの危險地帶だ、こりや事だ）と彼は突嗟に思つた。

チャンツエフがいつも無關心で計量器をみると油の最後の一滴を吸ひ込まうとしてゐる時だ。

然しそれでもこのパイロットは怖ろしさも絕望も感じなかつた（何どうせ一度はこんな事もある筈だ）と思つた、彼は下方に眼をやつた、波のない海のやうに死んだやうな沈默をつづけてゐる恐ろしい罠だ、そこに着陸するなどは最後の遇然だ……だがもう進めない間もなくモーターが停まることを覺悟せねばならなくなつた、チャンツエフは今飛んできた山、雲の上に突出してゐたあの山の頂きに引き返さうとした……それはこの廣い海に殘された唯一の島だ、そこには着陸の出來るやうな氷原があるかもしれぬと思つた、彼は下向きの舵をとつてみたが山の周りは氷に蔽はれた恐ろしい岩角よりほかには見出されない。

彼はいつも彼に嫉妬を抱いてゐた同僚のゼムゼーロフの黑い顔がありありと眼に浮んできた、彼は如何にも滿足さうな微笑をたゝえてゐるではないか、チャンツエフはその男と一處に眞實に鼬を突き合せてゐるかの如く悉皆り興奮してゐた、事實この雲の上には平地が見出されず、槳のやうな岩角と死とが待つてゐるかも知れぬと思つた……そうかと思ふと又ひよつとしたら廣い原があつて草や農作物が茂つてゐる場所があるやうな氣もした、彼はすつかり愉快になつてその綠の地上で撞球臺の玉のやうに飛び廻つてゐる、すると綺麗な百姓どもが大勢集つて來る、そしてそのは夜その田舍に泊ることになるかも知れぬ、さうして天候の恢復するのを待つてゐる間にその村の娘と妙なことになるかも知れぬ、さうなれば愉快だ……などと考へてゐた。

中國文壇の近狀（三）

大內隆雄

革命文學の主張

文學運動の新しい段階をしるし付けた合言葉「革命文學へ」の主張は、どのやうな內容を意味したものであつたか？これを成仿吾の論に聞けば斯うである。

◇

辛亥革命に於ける民主主義の失敗さ、加へられる帝國主義の壓迫とが、當時の知識階級をして思想啓蒙運動に努力せしめた。この運動が新しき表現の手段を要求した。すなはち當時の「文」と「語」との對立を解消さすかのいはゆる白話文の確立がこれを解決したのであつた。

×

當時の新文化運動の第一の任務は舊思想の否定であり、第二の任務は新思想の紹介であつた。だが一應の任務を果して後、彼等は何處に行き着いたのであつたらう。

これを、文學運動に就いて見れば、文學革命の傳統を引繼き正しく受け繼ぎ來つたものは、僅に創造社同人たちの、創作方面に於ける努力のみであつたと言へる。これらの諸作家は、その反抗的精神と、新鮮な作風とを以て、文壇に獲得の位置を占め、一般靑年に少からぬ刺戟を與へたのであつた。いはゞ彼等はプチ・ブルジョアの革命的なインテリを代表してゐた。彼等は一つの新らしい「語體」を媒質として用ひ來つた。此處には不滿が存したのだが。

×

今や、中國社會發展の現段階に眼を注ぐことが作家達に要求されてゐる。それは文學が、歷史の必然的な發展に應ずるためでもある。舊び揃つた資本主義と、帝來の封建勢力との、二重の壓迫に對して、いま進み行かうとする國民革命の中に、作家は立あがる階級を主體として、そのイデオロギーを內容として、新しき文學を創造しなければならぬ「文學革命から革命文學へ」の主張が、此處に掲げられねばならぬのである。

×

その大略は右の如きものであつた。當時に於て、成仿吾氏の立論は、素朴な叫びでしかなかつたが、しかも、その叫びの中に彼等の目指す方向だけは指し示されてゐたと言ふことが出來る。そして、その後に現れた諸作家の努力が、ますます彼等の進むコースを明瞭にし、文學の成果を擴充させて行つたのである。最近の文壇を見る前に、一應は當時の情勢をふりかへらなければならない。それは最近の華やかな達成が畢立つた果であるからである。歷史の行進に自己を踏み進へまいとして身を以て挑げた作家達の昨日の姿であるからである（未完）

滿洲文藝雜感

宮田正緒

學術的著作の煩雜、難解の缺陷を補つて、抽象的より具體的に、難解より平易に、煩雜より簡明に、常に其時代思想を反映して行くものは文學的作品である。一般大衆をリードするものは文藝でなければならぬ。文藝の追眞力と把握力とがその時代の思想を動かし初めて其時代を美化し情緒化して行くのである。

總じ殘念な事にはまだまだ滿洲の文壇は寂しい。ジリジリと人に迫つてグイグイと之を引張つて行く丈の力を持つ物に乏しい。滿洲に興起すべき文藝の萌芽も矢張り跛行的過渡期にある廣漠なる文化進展の惱みと共に肥料不足で依然として發育不完全だ。現在を糊塗しつゝある模倣と笑ふべき空想論とが純眞無垢なるべき滿洲文藝の花壇に取返しのつかない禍根を張つて汚泥穢濁なる醜花を開かぬ樣に常に之を純淸に保護し一日も早く暗まるべきオーソドキシイを育まなければならない。

この意味に於て私は、滿洲出身の而して絕大の愛着と理解とを滿洲に有する天才の出現を望んでやまないのである。私は俗つぽく云ふと天才待望論者なのである。此現在に於ける跛行的文明を進運の常態に還れ經ては佛立的發展の好調和に新滿洲文化の黃金時代を現出するが爲には先づ最も傳統と慣例との條件より自由なる文藝界の一角に一大劃期的改革を與へ以て漸進的可及的に誇るべき物質文明と併行すべき精神的文明の完成を期せねばならない。文藝に對する現今の無氣力を警醒し行詰れる內地文壇よりの無意味の移入作品を驅逐し新しき天地を指示すべき之等の仕事は天才の出現を待つの外ないのである。私の云ふ天才とはギユイヨオと同じく實在を超越して生活し得る程偉大であり同時に可能の範圍外に迷ひ出る事をしない程論理的な頭腦を有する者を指すのである。彼等の藝術は卽興的に作られ現實に先んじて之を超越するのである。藝術は一種のサンテエズであり、之に依つて彼等は實在の或は實在すると假定された法則で精神的に任意の實在を再建し世界の一部を改造することに初めて劃期的の事業が成就され同時に內面的文化向上全體に對する促進の端緒を得るのである。又滿洲文藝不振の原因は色々あるが藝術の社會性共通性と云ふ事も重大なる原因の一つである。卽ち藝術の生み出す社會的共感は人間の間で可能の範圍まで擴張される。偉大なる藝術は斯道の玄人、專門家又は藝術愛好家等の小さな賞翫範圍に限られるものでない。それが其作用を社會全體に及し人を感動さすだけの單純さと眞率さとを有して居るなら其は立派な藝術である。つまり立派な藝は全國民或は數ケ國民から讚美され得るものである。故に今內地に幾多の天分作家があり其等が多くの立派な文藝品を發表すれば、それは直にその何處に居るかを問はず、日本語を讀みその意を解する者であれば誰でも共れは讚美する所のものになる。敢て在滿邦人は滿洲の貧弱なる作品を無理食ひする要もなく次々に現はれる內地作家の作品に充分に心の餓を滿足せしめ得る。かくては所謂滿洲文藝は內地文壇の羈絆を脫するを得ないのであらうか。然し此處に遙かに內地諸作家を拔く天才を滿洲に得れば、その緊密なる取材と自己と神秘多き舞臺の變轉による興味は全滿の人心をして必然的に驅使的支持の傘下に蝟集せしむるであらう卽ちこの革命によつて滿洲文壇は嚴然と獨立し又文藝運動に無關心なる徒輩をして奮起せしむるに充分であらう。而る時は初めて鄕土文藝はその體を完成し、內地模倣に耽る迷夢を打破し新鮮なる生命を諸君の眼前に提供し將に亡失せんとした諸邃の風樣は再現して大陸に懷しき本然の姿を見せるであらう。外來流入思想の壓迫による現在の振はざる文藝讀者熱は色濃きインテリゲンチャ層の消化によつて充分に普及し傳播されるであらう。私は一日も早く其日の來らん事を祈つて居るのである。

唯一人の天才出でよ！唯一人の指導者出でよ！而して次の土地の盲ひたる生命の目を開き知識の甘美に歓喜せしめよ！

在滿同邦諸君の中に必ずこの大事業を完成する偉材の在る事を私は確心し又心より期待するものである。

愉快な囚人

城小碓

潔淨なる地殼は泥土の如き骨灰に埋沒される。私は道路掃除夫である。私は寄せ集めた泥を壞れかゝつた手車へ積んで海岸の埋立地に運搬んでゆく。其處にはおぶれた私等の仲間が居てその泥を攪あさる。泥は濕り氣が無くなる。やがて乾燥した泥から埃が發散する。おゝ埃だ。埃だ。埃だ。

そこで私は空腹を抱えて素晴らしい奇蹟を待つてゐるのだ。

國境

飽食した蛇の樣に、城壁が地平線にふくらんでゐる。

『國際都市』の出版
島崎恭爾君の第一詩集

稻葉亨二

人間の勞作の誕生は當然祝福さるべきである。そしてそれが人間の創意に成るものほど一層祝福されていいと思ふ。吾々はそう云つたものに對して深い嚴肅さを覺えずにはゐられない。

今度吾々のグルッペの一人としての島村恭爾君が二十年代の暦を記念する爲に第一詩集「國際都市」を出版することになつた。

その作品によつて彼の全貌を想像せる人々は彼が營む社會生活を耳にして吃驚するかも知れない。現代科學の粹、無意識な人造巨人とも云ふべき機械の前に立つ彼の感性からは當然旋盤の廻音や、ピストンロッドの喘ぎやホイールの眩惑的な運動が生れて來ることを豫斷するであらう。併し彼は機械と共に喘ぎ、旋盤と共に廻轉するよりはむしろそれ等の一切のメカニズムの原動力の中へ潜入して行く。そして其處から萬象の機構を見返してゐる。

吾々は既に滿洲に在つて可成り多くの詩集の出版を見ることが出來た。それ等は夫々作家自體の個性を通じて夫々の領域に一つの王國を形作つてゐる。だが島崎君の一王國「國際都市」は又それだけとして存在を許さるべきである。況んや現實なる國際都市大連はこの新たな子を生むに相應はしい環境ではなかつたらうか。

吾々は彼の構想に成る一つのメカニズムの凡ゆる細胞を今ゆつくりと眺め渡すことが出來る。正に一千九百三十年の新原動力が觸かし且つ築くこの人造都市は纖續されるに充分の質感を持つものである。

街のお星樣

島新太

朝の禮拜

花をもつてくる
少女——白い看護婦
卵色のカーテン
紛失した病氣

○

秋　落莫
私は冬を思ふ
ふるさとを思ふ
生命を思ふ
しみじみと又狂熱に秋を感ずる

○

やられたな
飛込んだ脅迫觀念
よしてくれ
もなりそなりは

○

むしばんだ肉體
護國鬼
蒼白い血——綿道
極光

○

わけもなく
でつかい字書いて見たくなる
ひゞのはいつた病室の天井

○

今晩は氷鐵が短くて機嫌がいゝ
私は生命を忘れやう
街のお星樣が戀しい

文藝消息

▲大庭武年氏　新靑年に大連を背景にした探偵小說「競馬會前夜の出來事」を寄稿

▲中沼若桂氏　大連を引揚げ長崎市東小島町七九に寓居、川柳旬帳舍は機關誌「道」を繼續發行する

▲詩集出版記念會　島崎恭爾氏の第一詩集「國際都市」の出版を祝ひ十一月三日午後一時より大連滿蒙社員倶樂部で開催

▲民謠作曲　本紙發表の田噸猛氏作の「滿洲野」を中日文化協會で近く作曲する

滿日各地版

長春

市民會存廢問題
市民個人の自覺が先決問題
長取所長　奥平廣敏氏談

…法人の存在ではないのだからその存廢問題も四角張つた議論にも及ぶまいぢやないか、市民會の名稱に論があるツ?て成程れ、ちよツと誤解され易い名稱だれ、軍隊初め外來者からよく「市民會ツてのはどんな機關ですか」と訊かれる事がある

從來　の實務が軍隊の送迎、神社の祭事その他にあつたのだから、名實相副ふ名稱を選ぶとすれば町内聯合會などがよくはないか、これが先決問題としての存廢如何は偖さしてはどつちに對しても、現在の處では積極的な意見は有つてゐない、結局、長春市民全體が融同融和して事務の遂行を生じないやうに、分擔すべきものは分擔して、市民としての義務を遂行するつもりで圓滑に仕事を進めて行けば其處に明るい町が出來るのぢやないか、市民會の存廢を市民全體の總和增進を

基調　として考へるとしたら、問題の焦點は先づ市民個人の自覺が先決だらう

名稱がいけない
北滿日報社長　箱田琢磨氏談

市民會の存廢問題といふが要點はその名稱如何である、市民會創設は寬城子事件を動機として邦人の生命財産を保證する以上に、兎角警備の薄い北滿の地殊に長春に一個師團乃至は一個聯隊を常駐して邦人の

北進　を扶けようと在留邦人が醵金したものなのだ、大正十三年に町内會の設立と共に市民會も組織を變更して、實質的には町内聯合會の名稱に相應しいやうな事務を扱ふやうになつたのだからその名稱も市民會とするか町内聯合會とするかについては、その當時相當議論が行はれたもので、結局投票によつて二三票の差で市民會に決定したのだ、兎も角今後に存續するとすれば、現在の町内會の補助的統制機關としての事務を執るつまり町内聯合會みたいなものになるだらうから、名稱もそれに

添ふ　ものとしたい、組織の上にも大した手數をかける必要もないわけで、現在の町内總代が輪番に事務を執つてもいゝし、都合で會長を置くならそれも差閊へはなからうが、要するに現在の市民會の名稱は感心しない

渾然と融和せよ
長春第三區々長　島名福十郎氏談

市民會當初の目的は長春市民の輿論を發表し且これが實現を圖る政治的色彩を帶びたものであつた、然し大正十三年の町内會設立と同時にその内容が町内聯合會的の事務を執るものに變革された、一方滿鐵の諮問機關であつた諮問委員會も地方委員會と

改稱　されると共に、委員も公選される事となつたが、一般市民の感情からいふと、地方委員會は決議權を有たないから、公選ではあるが市民の總意を代表するには聊か縁が遠いその憾みがある自然市民と地方委員會とがぴつた…

チブスの續發で病院は收容不能
既に九十六名の患者

長春市内のチブス患者は容易に終熄を見ないのみならず連日一兩名づゝの發生があり二十九日現在で罹病者九十六名を算してゐる、一方滿鐵病院内の傳染病棟の收容能力は約七十名であるため結核病室を充てゝゐるが、現狀を以てしては…

石炭の液化事業
佛蘭西が第一位
英國では完全に失敗
（上）　沖中忠一博士歸朝談

奉天

武德會軍大勝す
不戰十五人を殘して
對全奉天劍道試合

京都武德會劍道部對全奉天の劍道試合は廿九日午後四時から奉天道場において擧行された會場は觀衆で溢れる盛況を呈し京都藤井、奉天池田兩初段によつて試合の火蓋は切られた奉天の松原君は四本拔いて氣勢を揚げたがその後續かず京都の森田君のため八本も拔かれ奉天の前田二本拔き以後は京都の前崎二段のにめ奉天側の三、四、五段とも撫で切りに斃され物凄い意氣を示し京都軍三段以上五段迄十五人といふ不戰者を殘し大勝し五時四十分頃閉會した尚その成績は左の如し

駐日暹羅公使

奉天驛へ旅客から禮狀

豐作の蜜柑
例年より八割輸入增加か

突然歸宅
行方不明の男

四平街

月次獻書會
勅語記念事業として
神社の企て

安東

『八百長競馬だ』と打つ毆るの喧嘩
臨時競馬三日目の騷ぎ

防火消火演習

安東健兒團結團式

開原

青年團の總會

撫順の卷
露兵燒拂つて逃走
煙臺から撫順に移るまで
撫順炭礦の今日あるまで
炭礦の建物や機械全部を
福島英雄氏談
（四八）

一大富源は遂に吾が軍へ

加藤所長は安東に轉任

行政も滿鐵がやる事に

何しろ當時千人內外の…

哈爾濱

いづこも同じ農村の悲哀
大豆の相場慘落で浮ばれぬ北滿農民

鷄卵一個と米一升の豐作に日本の農村が喜びと悲しみを一緒にしてゐるのと好一對、北滿の大豆が昨年に比して約二割乃至二割五分の増收で結實もよいといはれてゐるのに廿八日のハルビン市場の相場は一プードが哈大洋票の一元（金四十五、六錢）といふ暴落のレコードである

一天地（六段又は八段）から四十五、六プードの收穫として原地の百姓が市場に出すまでは約一プード五十仙乃至五十五仙見當一人の百姓が十天地を耕作すると假定し算盤を立てると四百五十プード（一布度五十錢割）で哈洋の二百廿五元、これが一ケ年の收穫である、然しこれは百姓が地主である場合の勘定であつて吉林、黒龍の既墾地は大部分官商又は官吏の大地主の所有であるから年貢豆半數は上納せねばならぬ、結果現在の相場からすると小作農夫の實收入は百十二元五十錢（金に換算して金五十四圓五十錢見當）である、これでは日常生活必需品である木綿の着物一着を買ふことも甚だ六ケしい譯である

歐洲向大豆の不振と世界不況のために一番下積みとなつてゐるのはいづこも同じ農村であるといふ結論に達する、これでは北滿に購買力の減退するのは無理がないだらう

一中の騷擾

第一中學生の對校長、張教諭の排斥運動に學生の騷擾は單なるストライキとみることができず上海系の共產黨員との連絡か煽動のあるものとみて支那當局は嚴重取調中である

濱江雜俎

廿三日東支衛生局に達した洮昂線よりのペストに關する報道によると鄭家屯の防疫醫の望診を得て一日に通過したものは約三千名であり、そのうち一名の發熱患者あり診斷の結果ペストにあらずと判明した

◇

東鐵各線のペーチカ構造に新案を工夫したポキノフ技師は改良ペーチカの經濟的であることを立證し、四百五十金留の賞與をルドウイ局長から支給された

◇

二十八日の東鐵地方換算率金留對哈洋は二三二元

◇

二十四日一日中に列車で鄭家屯を通過した旅客は二千百名と東安へ報告があつた

◇

旅順第九聯隊聯隊長岸本鹿子治氏

「ながなかやつてみると國民體操のやうなもので實に氣持がよい」と藤本さんの勸告

◇

八木萩川先生「僕も一期を了へたのだよ僕の白鉢卷をしてネ」

◇

一つ修養團へでも入會して修養する必要があると記者連を捉えての御託宣

◇

「諸君はどうも色氣が多すぎるから困る」と中野領事の一夕話

コルバン

◇

重松ハンブルグ領事は廿六日午後三時半の汽車で赴任した

◇

旅客手荷物會議に大連へ出張した東鐵旅客科長ヘーミン氏は廿八日福井參事と歸哈した

◇

……は二十七日……北滿ホテルに投宿し市内を見物した

◇

顯然と姿を現はした武林武想庵氏は例の調子でソラの御師の話が吉田孤羅氏との同に歸り廿六日の歐亞直通で巴里へ直行した

鮮人共產黨員

東寧縣で活躍した鮮人共產黨員の一味のうち十一名は支那軍の手で廿七日十四時半でポグラから押送されて來た、一味は頑丈な麻繩で十重二十重に縛られ巡警數十名が嚴重警戒されてゐたが、いづれも廿四、五歲から若いものは廿一、二歲のものもゐた、頭髮は伸び死人のやうな姿であつた

文協の講演會

滿蒙文化協會支部にては卅日午前六時から午後六時まで修養團婦人講習會、午後五時から發會式を舉行し、卅日午後六時から卅一日午前十時までは男子講習會を催した勝部耕藏氏の講演があつた

旅順

石油焜爐爆發す
萬富式經濟焜爐で炊事中
一人顏面に火傷

旅順新市街日進町十三番地ノ二關東廳屬湯田三雄の妻湯田光榮（三二）は二十九日午前六時四十分頃數日前戸別賣に來た萬富式經濟焜爐を使用すべく炊事場にて揮發油約八勺程注入し點火炊爨中突如一大音響と共に爆發し治療約十日間を要する顏面火傷を負ひ二女喜代子（一）は左足に輕微なる火傷を蒙らしめた他窓硝子一枚表窓硝子二枚風呂場窓硝子四枚を破壞しその上焜爐の破片は上窓及び炊事場の天井を突き破つた警察署に於ては直に取調べた處該焜爐を購入せる家庭は相當に上り然も爆發せる家も二三軒あつた事が發見されたが最近鬼角新案特許なりとして賣歩く商品中には多く特許辨理人の受附番號を以て特許番號の如く見せかけた物騷くないので一般の注意が肝要である

御眞影拜賀式

關東軍司令部では十一月三日明治節につき午前九時より廳内高等官集會所に於て御眞影拜賀式を行ふ筈であるが、式終了後は高等官集會所に於て軍司令官の招宴が催さるゝ

◇

第一中學校の生徒が張教諭を教壇から蹴り下ろして謝校長に退校處分を宣言した

◇

長春第二師範の生徒が校長を校門外にホウリ出したのと好一對、校長に退校命令はこれが嚆矢である

◇

記者連領事館が修養院に變つたと呆然

金組利率變更

旅順金融組合では十一月一日より左の如く會市組合預りの金の利率を變更する事となつた

貯金預金　日歩一錢
据置貯金預金　日歩一錢九厘
定期預金　一年六分　半年五分五厘
同

聯隊實包射擊

步兵第九聯隊では二十七日より十一月二日迄毎日午前八時から午後五時迄白銀山より北斗山の一帶に亘り實包射擊演習を行つてゐるが一般市民は赤旗に注意し立入禁止區域に立寄らぬ樣にされ度いと

二中實包射擊

旅順第二中學校生徒は二十九日午後一時から海軍射擊場に於て數練のため實包小銃射擊を行つたが成績良好

養蠶會の講習

滿洲養蠶會旅順支部では來る十一月十日より同十六日迄七日間眞綿製造及加工並に座繰製系の講習會を開催するが場所は滿洲蠶系株式會社内で原料繭は各自持參のこと

山本氏の招宴

關東廳教育主事に任命された山本喜太氏は二十八日午後五時より新市街家豐樓に於て各關係者其他を招じ盛宴を催した

生れた人

▲元寶町二三七ノ一　官吏安田三五郎長女幸子十二日出生

傳染病發生

▲大津町八ノ三　醫員、古村慶兼（三四）二十九日腸チブスと診斷さる

法院便り

二十九日旅順高等法院に於て開廷せる一、上告部▲第一審にて懲役一年第二審にて無罪となつた詐欺朴文振に對しては證人として金亭後を喚問したが續行となり次回は檢證の上證人調べをなす事となり▲銃砲火藥取締規則違反第一審懲役五月第二審罰金二百圓を云渡された松尾陳作に對しては懲役一月を申渡され▲麻醉劑取締規則違犯にて第一審は懲役四月第二審は罰金二百圓の奧村半吉に對しては懲役三ケ月を申渡され▲殺人未遂及び傷害にて第一二審共懲役三年の張永隊に對しては上告棄却となる二、覆審部▲過失致死伊達順之助に對する判決は十一月十二日に延期▲傷害張漢福に對しては前審同樣懲役四月の申渡しあり▲第一審にて懲役二月の麻醉劑取締規則違犯藤市之助に對しては麻醉劑の點は公訴棄却劇藥の點に就ては證據不充分にて無罪となつた▲匪賊王輔臣以下八名に對する第二審は事實審理を遂げ續行次回

鳳凰城

勅語捧讀式

鳳凰城小學分教場では昨三十日教育勅語御下賜四十周年記念日當日午前正九時より同校講堂に於て記念捧讀式を舉行引續き兒童學藝會を開催尚當日は別室に兒童の教育勅語謹書成績をも掲出し一般の觀覽に供した

軍隊の送別會

當地守備隊は從來安東第四中隊の一小隊が派遣されてゐたが今回の編立守備隊の編成替に伴ひ現在の小隊は安東に引あげ新に第一中隊から分駐することゝなり本月三十一日これが交代を行ふことゝなつたので當地在住民は廿八日大津中隊長、臼井小隊長及下士數名を鮮前豐前屋に招待して盛大なる送別會を開催した

軍隊の留別宴

遼般の各地守備隊の移駐に伴ひ當地守備隊は安東の原隊に引揚げることゝなつたので第四中隊長大津大尉、鳳凰城守備隊長臼井中尉の兩氏は二十九日午後三時より當地日支官民四十餘名を城内鄭寶樓に招待して盛んなる留別の宴を張つた

……中から左記順序に依り秋季總會を開催終了後恒例に依り銃劍術の團體競技を行ふ

▲開會の辭▲君ケ代合唱▲勅諭捧讀▲會務報告▲會計報告▲記念品の授與▲軍人會館寄附者へ謝狀傳達▲支部長訓示▲來賓祝詞▲會長挨拶▲會歌合唱▲閉會の辭

鐵嶺

敬神崇祖の標語
豫想外に優秀作多く
廿九日漸く審査完了

鐵嶺教化聯盟の教育勅語御下賜四十周年記念事業たる敬神崇祖の標語募集は頗る好成績で鐵嶺は勿論大連、旅順、大石橋、撫順方面からも投稿があり全部で四十一名百七十四句であつた審査は阿部、太田、永元、大畑、藤寄、久永の七氏これに當り二十八日より審査に着手二十九日正午全部を終つたが優秀作多く一二等の區別つけ難い爲め十句を特選に十句を秀逸に決定により薄謝を呈することゝなつた、入賞標語左の如し

特選

敬へ神を、崇めよ祖先　鞍山　坂田ツヤ子
敬神は人の道にて國の基　鐵嶺　銚川
敬神崇祖は日本の精華　旅順　三宅政一
己が業いそしむ前に神詣で　鐵嶺　南岳生
國の固めは先づ敬神崇祖より　衞戍病院　萩原
仰げ同胞神祖のたふとさ　宮島町　白桒生
敬神の家に不安なし　大連　山田マツ子
先づ神棚、是非位牌　鐵嶺　轡月生
祖先を崇めて子孫を導け　鞍山　坂田ツヤ子
常に神佛と共にあれ

秀逸

孝は崇祖の第一歩　守備隊　安藤
敬へ神尊べ祖先　大連　山田マツ子
神棚を拜んでけふも睦かに　守備隊　道盛
祖先崇拜我等の魂　櫻町　垣本
明い燈明、明るい家庭　地方事務所　小川
清き精神明るき一燈　守備隊　匿名
祖先の勞苦は子孫の幸福　鐵嶺　轡月生
神樣御先祖樣有難う　守備隊　正男
雨は天から涙は眼から敬神崇祖は心から　小學校　永田
敬神崇祖明るき人生　鮮銀支店　合觀垣
佳作十句は略す

新舊縣長歡送

當地日本側官民有志は更迭したる新舊鐵嶺縣長を主賓とし今三十一日午後六時より滿鐵クラブに於て歡送迎宴を催し支那側主なる官紳を招待すると會費三圓五十錢出席希望者は地方事務所又は民會に通知を乞ふと

李通譯免職

鐵嶺縣衙門の日語通譯として十七ケ年在職し怪腕を揮つてゐた李恩普氏は去る二十六日附を以て突然新縣長から免職された、李通譯は日支離間策を弄し一般から好感を與へられず今回の免職も修縣長の英斷を稱揚し李氏に對しては餘り同情されてゐないやうであると

遼陽

軍人分會總會

遼陽在郷軍人分會は三日午後零時

晩秋に飾られた安奉沿線（十）

難波生

目下高海君の飼養する蜂群は、主に英國優良種スレーデンス・ゴウルデンだ、外にカアニウラン種も居て君は最も力をそれ等の純性保存に注いで居る、元來蜜蜂は雜交を好み、この傾向を放任すると種の純粹を維持させにくい、雜種は數において加速度に殖えるがそれだけ集蜜性が減退する、日本内地でも既々純良種が少くなつた今や殆ど雜種のみだといつて好いが、それは大正二、三年頃の養蜂流行時に、英、伊、濠の各方面から、手當り次第に諸種の蜂群が取よせられ、盛んに雜交した結果である、現在純良種の遺つて居るのは、大和の宇陀郡、及び瀬戸内海中の孤島位であらう、前に述べた支部各地の養蜂熱は、内地當業者に少からぬ刺戟となつて、高海君の手許にも、續々純良種の注文が來るさうだ、この點いさゝか君得意の壇場で「カアニウランと、スレエデンとの二種は、私の外に純良種を有つて居る者がないでせう」と空嘯く

◇

英國種も、伊太利種も、飼養の難易、收蜜量の多寡など差別はないが、伊太利種は寒氣に弱さうだ之が爲に高海君も、專らスレエデン種の仕立に力を注ぎ、成るべくこの一種で安奉線の普及を圖つて居る、昨年支那方面から百箱の注文を受たが、移轉早々で間に合はず、漸く本年五月の末、全部の發送を了へたとか、隨つて差當つての急務は分讓能力の充實で、今後の五ケ年間に、現在の百六十箱を千箱位に殖やし、その後ら養鶏、養豚、養兎にも手を染めたいと語つた、既き洩らしたが、君は編流の出で、敬虔熱心の人、最も深く大谷光瑞氏に傾倒して居る、養蜂の外に池の坊茶道生花教授の看板を懸け、暇ある毎に各種の草花を造つて居る、鳳凰城の地味は頗る良好で、カンナ、ダリヤ、コスモス、櫻などは言ふに及ばず、蓮根の栽培など、非常に好成績らしい

「當地は自給自足には海に結構だ來は附近に澤山出來る、野菜も能く育ち、川には鯉、スッポン、鱧の類が多く漁れる、本年は牛蒡も三畝歩許り試作した位、大に仕合を致しました」と、が古の敎信その儘の滿足振りだ

◇

兎に角、煙草栽培者計りの鳳凰城に、全然鳳凰寄りの養蜂家高海君が入植したのは、先住の人々にも好參考だと思ふ、君は之まで誰も手を着けなかつた附屬地内の濕地を借受け、土地貸借問題などに頓着せず、數十萬の蜂群を、山に、野に放つて、無盡の裡に滿洲の甘い汁を吸ひ取らせやうと考へて居る、蠍き蜂の採蜜範圍は約八里四方だといへば、その大群が安奉全線に活動し始めたら、驚くべき巨額の生產力を發揮するであらう、殊に養蜂業の長所は、地轍を餘り廣く要しない點にある、平坦な原野であれば、約十尺宛の間隔に箱を配置する、屋上など高く目立つ處は三尺位の距離で澤山だ、養蜂業者の單位はザッと百箱、總常賣は收穫の二割が普通とされ、蜜の種類は約三級に分ち、上等品二割二等品三割、三等品五割の收量を得るそうだ。

◇

舊い土地柄だけに、鳳凰城には永い滿洲通が少くない、そのうち小林三郎君の如きは大先輩の一人だ、少壯詩を樊櫛に題して、郷里熊本縣を飛出し、初めて滿鮮に渡つたのが明治二十八年、鳳霜正に三十五年の昔譚だ、居ること約五ケ年、その頃の滿鮮は、萬事偷草創の際であつた、君は明治三十年川上賢三君と共同で、築港用の石材を露國官憲に納入したが、積出港は石州濱田、開港後最初の汽船を出入させたといふ、その後君はハルビン、チチハル等の各地を轉々したが、比較的長く居住したのはチチハルで、重に鐵道大隊幹部に從屬して商賣を營んで居た、鳳凰城來住は明治四十二年、商賣もやれば、農業にも手を着け、何かと日本人村の世話を燒いて居る。

（寫眞は高海養蜂園）

仙遊記　不老不死（三十五）

竹内克己
淺枝次朗畫

とられた女房

如何に惡い人間でもどん底におちゐると、自分自身をかへりみる餘裕のできるものである。朱文煒の異母兄、朱文魁も、一夜で全財產と妻をまで無くしてはじめて自分の過去を自省し文煒には濟まぬことをしたと、槪はどうなつて居るだろう、上は弟にあやまつて行末ようと自省の念にかられつた。で殘りの金三百餘兩をつけ、四川へとたゞ一人旅に立つたのである。

途中のつれ〴〵に、旅から一定の契約でつれて來た男とへ自分の身の上を話すた。

「……そんな樣なわけでから、弟の妻と自分の女房をとられた」といふ奴に根こそぎれたんだ。

おれは一生のうちに、此のいふ奴のありかをつき止め、仇をかへされば、死んでも死れぬよ、ひどいことをしやがつて…」

馬子の周魁といふ奴は實はやはり霸らの親分にあたる師尚詔といふ大盜棒の部下の小賊で、此の話をきくと内心大いによろこんだ。

そこで笑ひながら

「……そうですか、それは旦那もえらい目にあいましたれ。その話をもう二三日早く聞くとよかつたのに、十五六里も來過ぎましたからね……」

「それは又どういふわけなんだ」

「旦那が四川にいつて弟さんとやらを尋ねなさるなら仕方もないことだが、强盜の霸武擧といふ奴に仇を返そうとなさるのなら、すぐにも生捕にすることが出來ようと思ふんですが……」

「お前は霸の奴のありかを知つて居るのかい」

「ええ……わしは旦那、その巢を知つてるんですよ。河南歸德府の富安莊といふ六七百軒もある村に賭場を開いてやがるんですがね、わしの兄も霸の賭場にひつかかつてえれえ目にあつてるんですれが本人だつたらわしに二十兩御……

たなんて生きた證據が出りや、わけなしですよ。そうそう……先月でしたかね。霸の奴め、四五百兩も出して妾を買つて來やがりましたよ」

「その妾といふのはどんな風の女だつたい……」

「背のすらりとした、瓜實顏の、少しあばたのある、足の小さい、二十四五にもなりませうか、いい女でしたぜ……」

「それだ、それだ……それがおれの女房なんだ」と、

文魁は足ずりしてくやしがる。

「お前早くそこへつれていつてくれ、ウンと御禮はする、さあさあ引き返すんだ」

「旦那まあそうあはてなさんな、世の中には同姓同名の人間もありますあれ。でもかくいつて霸といふ奴が果してそれかたしかめるんですれ、その上でないとお上にも訴へられませんかられ。もしそれが本人だつたらわしに二十兩御……

「ごたばたしたつて駄目だよ。こゝは人殺しも天下御免の場所だぜ生かさうと殺さうとこつちのものだ」

それから文魁は總管と小賊どもが敬稱して居るものゝ前に引かれてふと顏を見ると、寢た間も忘れない、仇敵の霸であつたが、しばられた身はどうすることも出來ない。すると霸も文魁を見て

「ヤア、此奴は柏葉村の文魁といふ馬鹿ものだ、よう來たなあ、金はいくら程あるんだい」

ついて來た小賊の馬子は一部始終を報告する。

「そうか、そいつはうまくやつたアハ……會計をよべ、オイ、會計、三百兩の二割は馬子にやつてあとはしまつておけ、それからおれの三番目の女房をよぶんだ」

そして文魁に

「お前もよくよくの馬鹿だなあ。然しお前の金だつてもともとろくな金ぢやない。賊錢身につかず……

……いやつて下さい。人違ひだつたらここからの引き返し賃、三兩も下だされば、ようござんすよ……」

「御禮なんかもつとやつてもいゝ、しつかりやつてくれよ、おい」

二人は相談の上富安莊に引き返した。

荷物や馬は宿屋にあづけて、金だけは身につけ、馬子周魁の案内で、霸の賭場へと樣子をさぐりにいつた。

ある一軒の門構えの家に行く。門を這入つてからいく曲りかまがつた。

文魁は心中びくびくもので、時々は引き返そうとするのであつたが、

「もうそこが賭場ですから、旦那は入口の戸のすきからでものぞいて見ればわかりますさあ、大丈夫ですよ」

さいふのにはげまされて、更に小門をくぐつて大きな庭に出た。そこは出入の人も多く、二人が這入つてゆくと

「こやつはいくら程もつてるんかい」

「一寸にらんだとこでは三百兩程大丈夫あるだろうよ」

「それはいい鴨だ」

やにわに三四人の人が出て來て文魁をとらへてしまつた。文魁はこの馬子の言葉をきいてはじめてわなにひつかかつたことを知つて大聲で叫びながら、逃げようとするのであつたが

あ。何んとかして仇敵をうとうと思つてたんだが、そんな强盜をし……

詩春秋

獅鹿道人

愛民畏天人
報導蔣中正。改信拜天父。蔣公夫人宋美齡。才色當八名媛譜。紅閨嬌喃說耶蘇。終教夫婿識眞主。久傳基督將軍名。煥章僞信乏正誠。一旦受洗世界驚。久矣中華民國亂。群雄逐鹿擅驕悍。屍山血河十九年。不見一人靖國難。蔣公改信僞耶眞。願公眞心崇天神。究竟民國誰統一。應屬愛民畏天人。

道人曰く、電報は傳ふ、蔣介石氏は本月二十五日上海佛租界の宋家にて、突然洗禮を受け耶教に入つた。之れは昨年來夫人宋美齡女史及宋氏一門の力勸に由つて斯く改宗したのであると基督將軍馮玉祥（字は煥章）は詭譎變節の僞信者のみ。中華民國陸海空軍總司令、政府主席蔣介石氏の耶蘇教入りは、以て國人を驚倒し、世界の興味を峻るに足る。

蓋し支那の儒教は上天を至上極尊として之れを拜し之れを畏れ又人民を天の民として之れを愛し、民の聲を天の聲として之れを聽くを以て治國修身の極致となしてゐる。耶教の人を愛し天父を尊崇するの信仰は、究竟儒教と同歸である。支那は民國以來十九年、戰亂相踵ぎ、軍閥等は政權地盤の爭奪のみに沒頭し終に一人の崇高なる愛民畏天的の大人物なし。若し蔣氏が果して眞心耶教の人となるならば、支那の「クロムウエル」として擾亂反正の熱誠偉漢たり得る者は蔣氏に非らずして其れ將た誰れに屬ぜんや。

滿日案內

◎三行一回　金九拾錢
◎被雇度　金六拾錢
◎五行一回　金壹圓五拾錢
◎十行一回　金參圓
◎十五行一回　金四圓五拾錢
◎二十行一回　金六圓
◎姓名在社は一回　金二拾錢增

廣告部電話は三六九五　四四九一番です

人事

女兒　貰らわれ度し生後一ケ年女子、血統正しき　電二一六三〇番方　三原
店員　入用雜貨に經驗者人保證人を要す　林田商店　若狹町九　電話七六四〇番
女給　入用本人來談　信濃町ギンネコカフェー　電話七七六五番
女給　入用山縣通三八番地新開場　樂天電話八九三二
家政婦　及附添婦募集及派遣通勤も可　聖德街三丁目　聖德家政婦附添婦會　電九七六六
女給　四五名至急入用　山縣通り第二市場前　滿洲土木建築協會食堂
社員　招聘年齡廿五歲以上　若狹町四〇番地　濱田　固定給支給
教授　和服裁縫生花茶湯内弟子二名募集　龍田町一一三　島
女中　至急入用トキワ橋　天滿屋ホテル電七一一五五
邦文　タイピスト短期養成　大連市大山通　小林又七支店
英文　及邦文タイピスト短期養成優秀者は就職紹介　監部通電四三〇八　英・學・會
英語　速成的個人及クラス教授　高等受驗會話文案作成　監部通九六北側裏　英學會

貸家

貸間　室美八疊本床付襖間敷限　薩摩町一〇七　獨身二人可應相談　マツイ
貸家　但馬町六番地六疊四疊半二疊水便付貸二八圓　電六四七七

電話と金融

新電　話二二三十圓あれば架設できる月賦實多數有り西通三五　電六六六二　大連案內社
貸電　話あり他店に出來ぬ相談多し入用の方は來店あれ　正直洋行　電五五五七番
金融　大口小口信用貸、商人に日掛け、恩給、惠比須町一九一仁芳商行電話七六九一番
信用　小口秘密に御用立致します若狹町九（郵便局隣）大洋社　電二二三六一番
不用　品高價買入御報次第參上電話三九一四番　美濃町七九番　大谷商店
マホ　ーピンと水商　山形洋行　電三〇一五・八六八八　浪速町
金庫　問宮式手提金庫日、支、英、米專賣特許　山形洋行電三〇一五・八六八八
唐木　細工製造販賣並に修繕　浪速町二丁目八五　電話六〇四五　阪本
貸衣　裳　婚禮用儀式用　日進町　さかひや電五四三七番
塵紙　懷中に家庭向德用の生漉改良の三山島紙　發賣元　拓茂洋行紙店
白帆　高級お化粧紙は此印に限る
天帆　高級純生漉お便紙は此印に限る
算盤　の御用命は　拓茂洋行　電話五四三九番
古本　高價買受御報參上　市内但馬町二〇　文光堂
古本　閱讀下の節は何卒御用命願度勉强して頂きます　西通常盤橋際千山閣電四三六二

同郎文タイプライター販賣／同文交換修繕／同印書實期應用／最ナ新式記內部／手切品販賣其他各種文房具
小林又七支店　大連大山通

印刷と寫眞

雜件

明治大帝　御事蹟の編纂　完成二ヶ年延期　萬遺漏なきを期して

【東京特電卅日發】後世に記録すべき明治大帝の御事蹟編輯の大事業は大正四年特に勅命により、臨時帝國編輯局を設置され、爾來土方、田中兩總裁を經て今日の金子堅太郎總裁に至るまで歳月を閲すること十有六、この間渡邊、上野、本居の三編輯官、本多御用係など熱心これに當り、明年六月を以て完成を見る豫定であつたが、曠古未曾有なる大帝の御事蹟は到底この日子では盡すを得ず、あだかも教育勅語渙發四十周年を迎へた本月三十日までには略その六分通りの編輯を終へたのであるから更に慎重を期するため二ヶ年間の延期をなし完全に集録する豫定である

兩孝子への褒狀は　卅日記念式に授與　太田關東長官から

既報の如く教育勅語渙發記念日に當り太田關東長官より孝子として表彰される原籍廣島縣沼隈郡今津村牟天淀町八番地彦坂イチ養子牟天俱樂部給仕平櫛義政君（一五）並に北海道石狩國空知郡歌志内村字口新市街彌生町百五十番戸ノ六鶯口郵便局通信員松浦濱一郎長女家政女學校在學松浦キヨノさん（一七）兩君に對する太田長官の褒狀及び金一封は卅日降地において擧行の記念式席上にて交附された

褒狀　平櫛義政　大正五、三、五日生

資性温良勤勉にして孝心篤く幼にして養父母に仕へ孝養到らざるなし養父病臥數年に及ぶ乃ち寢食を忘れて看護に盡し多忙の中仍ほ學を廢せずして小學の課程を修ふ不幸養父の死に遇ふ幼沖の身を以て一家の重責に膺らんことを決意し自ら職を給仕に求め日夜の勤勞に依り得たる資を以て窮乏の家計を支へ克く老衰の養母を慰め幼弟を撫し孜々として倦む所なし又生母に對しては常に音信を絶たずして其の慰安に努む其の善行は洵に世の龜鑑とするに足る茲に教育勅語渙發四十年記念の佳辰に方り金一封を授與して之を表彰す

昭和五年十月卅日

關東長官　從三位勳二等　太田政弘

褒狀　松浦キヨノ　大正四、一、二六日生

資性温良勤勉にして孝心篤く父母に仕へて孝養到らざるなし母の病床に在るや一年有餘に亘り日夜看護を怠らず其の歿後は克く纖弱の身を以て家を齊へ父の勤務をして後顧の慮なからしめ幼妹を撫する慈母の如く或は伴ふて校に登り學業を勵み課終れは卽ち歸りて家事に勤む其の善行は洵に世の龜鑑とするに足る茲に教育勅語渙發四十年記念の佳辰に方り金一封を授與して之を表彰す

昭和五年十月卅日

關東長官　從三位勳二等　太田政弘

全滿有段者團體　柔道戰參加十五チーム

滿鐵運動會柔道部では既報の如く三日午前九時より大連道場に於て第八回全滿有段者團體優勝旗爭奪戰を擧行するが、參加團體は左記十五チームで武德會大連支所一組大連滿鐵團、大連實業團が優勝候補に擧げられて居る、なほ第一回戰の抽籤は當日朝行ふ筈

沙河口滿鐵支部、武德會大連支所一組、同上二組、武德會旅順支所、大連滿鐵團、奉天滿鐵支部、旅順滿鐵支部、撫順滿鐵支部、鐵嶺四公聯合軍、南滿醫大、大石橋滿鐵支部、旅順工大、大連實業團、遼鞍聯合軍、大連學友團、金營瓦聯合軍、長春滿鐵支部

遠く米國から　受信通知や　番組問合　漸く知られ出したJQAK　當局はニコ〳〵の態

軍縮記念放送の成功でラヂオはいよ〳〵國際化し日米掛合放送計畫さへも傳へられるに至つたが、當地遞信局でも放送開始當時のラヂオ受信通知は殆ど内地、北海道、朝鮮、臺灣等に限られ稀にシベリヤ邊から通知が來る位であつた、しかるに最近外國殊に米國からの受信通知やプログラムの問合せが著るしく増加し、その數毎月

警備充實に　兇蕃近づけず　殆んど沈默の狀態

【臺北三十日發電通】二十九日夜より三十日拂曉に至る霧社方面の情況は獰悍なる兇蕃の決死的逆襲に一時憂慮された霧社の危機も陸軍飛行機の活躍、臺中駐屯大隊二個中隊の救援したる外カンタクマン方面より進撃中の臺南部隊の到着により警戒手配完全し、加ふるに彈藥も充分補給され警備力いよ〳〵充實したると警備隊の勇敢なる戰鬪に流石の兇蕃も近づき得ず僅に霧社を起點としてハボンに通ずる道路、ロードフンヤに通ずる地點、ホーゴー社に通ずる道路その他に出沒して間斷的に射擊を行ふに過ぎずして殆ど沈默の狀態のまゝ拂曉に至つた、現在霧社における警備力は軍隊、警察隊四百十四名、機關銃四挺である、また臺南より應援の桑原小隊は二十九日午後六時頃カンタクマン方面より霧社に急行中兇蕃十餘名より射擊を受けたるを以て直に應戰猛射を加へた爲め兇蕃は四散せり我が隊に死傷なし

二十滿〔…〕

一層增加の傾向にある、愛好者中には婦人多く在留邦人に日本音樂を聞かせて喜ばして居る等と國際親善振りを見せるもの、或は朝早くラウドスピーカーを働かしたので隣人が三人も驚いて目を醒ました等と米國式のも〔…〕る

黑河船舶終航

【ハルビン特電卅日發】黑河附近は廿七日から流氷あり船舶は終航した

わが討伐隊　霧社を占領　廿九日正面攻擊して

【臺北二十九日發電通】今朝午前一時眉溪を占領せる高井部隊、工藤兩部隊は午前六時三十七分廬濤を離陸せる陸軍飛行機の霧社攻擊機と共同し午前六時半眉溪を出發霧社を正面より攻擊午前八時五分霧社を占領した

官隊の行動に威嚇されて退却し霧社占領に際しては約三十名の兇蕃ホゴ（霧社山奥の蕃社）に向け逃走せるを發見した

四、霧社占領後は萬大、ターラン霧社、タッタカ、トロック、タウサア、トンバラ、眉溪にそれ〴〵駐屯し山砲隊の來援を待つて敵蕃潛伏地を猛射のはず

五、二十八日午後八時半高井、工藤兩部隊は獅子頭より眉溪に向ふ途中荷物運搬中の本島人苦力一名後方より兇蕃に狙擊され大腿部に貫通銃創を負つたが、部隊には何等の異狀もなかつた

死者收容

【臺北廿九日發電通】霧社を占領せる高井、工藤兩部隊は直に死體發見收容に努め且つ生存者の搜査に從事中なるが判明せるところ左の如し

一、小笠原郡守は霧社北寄約八町の橋の上にて殺害され死體は橋下に隱とてあつた、附近に男二名、女一名倒れてゐるのを發見せるも氏名不詳

一、霧社にて生存者數名發見されたがなほ附近山中に生存者ある見込み

三、兇蕃約三十名は糧食を携帶し眉溪附近に逃走してゐたが、彈〔…〕

電話線を切斷　兇蕃連絡を妨害

【臺北二十九日發電通】霧社に峙起せる兇蕃は獅子頭、眉溪橋梁三ヶ所を破壞し電話線二ヶ所を切斷し連絡攻擊を妨害した

討伐困難　集團を解けば

【臺北廿九日發電通】兇蕃は廿八日第一の要害眉溪附近に防禦工事を施して橋梁破壞等をなしたるも飛行隊の爆彈投下に脅へ眉溪霧社を捨て七十名乃至百名位集團して能高方面に退却しつゝあり、背後を衝かんとする花蓮港部隊とは既に前哨戰を開始した、花蓮港部隊と霧社占領部隊とは二十九日中に聯絡を執りこれを挾擊全滅せしむる作戰であるが、萬一兇蕃が集團を解き彼等の住居たる山間溪谷に散逸すれば全部の討伐にはなほ日時を要する模樣である

拓務省管理局長　鈴木侍從長訪問

【東京廿九日發電通】臺灣霧社蕃人事件につき拓務省生駒管理局長は拓相代理として廿九日午後三時宮中に鈴木侍從長を訪問、今回の暴動事件の詳細を報告し且質問に答へ右狀況の執奏方を依賴する處があつた

討伐隊慰問　義捐金募集

【臺北三十日發電通】臺北市の有力者は二十九日午後長官々邸に參集し討伐隊慰問義捐金募集に決定した

大汽の新貨物船　四隻ともデーゼル船　來月上旬に二隻の起工式

大汽ではさきに三菱長崎造船所並に三井造船所に共に四千五百噸級の優秀貨物船二隻宛計四隻注文したが來る十一月一日三井に依賴した分の第一船の起工式があげられ同五日三菱の分の第一船の起工式が擧行される事となつた、三井、三菱共にデーゼル船であるが前者はバーマイスターエンヂン、後者はヅルツアーエンヂンであると

新流行の　ショール編み方

女學生向、令孃向、奧樣向等々の氣のきいたショールの編み方を婦人俱樂部十一月號に發表大好評…

十年後には日本チーム　世界野球戰に打つて出ん　シカゴ大學監督、わが球界を激賞

【東京特電卅日發】シカゴ廿八日發電報によれば、曩に渡日して數回の野球試合を試みて歸朝したシカゴ大學野球チーム監督グレン氏は日本の野球界の發達を激賞して左の如く語つた

日本における野球の急速な進歩は驚くべきものがある、この結果は必らずや日本にもプロフエツショナルのチームが組織され來るべき十年間には實力を以て堂々とアメリカのワールドシリーズの勝者と世界選手權を爭ふやうになるであらう、日本のピッチャーはスピードこそ乏しいが立派なコントロールを持つて居り、スピードもだん〳〵出るやうになつてきてゐる、フィールディングも優秀なものであつた

來月中旬頃から　入院料藥代値下　新陣容の關東廳醫院

曩に院長以下の更迭を斷行された關東廳旅順醫院では、爾來醫員、調劑員乃至は事務長、婦長から看護婦、食事賄者まで全院内の大掃除を行ひ十幾年來の同院内の空氣を一新して新陣容を整へ關東廳衞生當局の方針と相俟つて新院長以下當衡の人事更迭の主旨たる同院の醫術的聲價の發揚及入院料、藥價等の値下げ、醫院經營の合理化等を實現すべく折角考慮中で十一月中旬頃から今回の新經營方法に依る實際の結果を見たる上で、以上の各項を漸次實行する意向であるが果して如何なる改善が行はるゝか、人事の異動に多大の犧牲が拂はれただけに一般に注目を惹いてゐるが當局の話によれば病院經費など既に石炭代だけにても年額約千五百圓を節約して同樣の能力をあげ得るといひ其他藥品代等も公入札等仕入方法を改善すれば莫大なる出費の節減が出來るので之等を患者負擔の藥代その他に充當すれば相當の値下げは必ず出來るであらうと

年毎にふえて行く　生粋の大連ッ子　花嫁さんの半數、兒童の六割は大連で生れた人々

不景氣にも拘らず大連における邦人の數はどし〳〵增加して行くが二十五年の誕生を迎へた大連で大連生れの純粹の大連子の進出も亦素晴らしいものである、最近結婚する**花嫁さんの半數以上は滿洲生れの娘さん**だが又現在市内十五小學校の生徒總數約一萬二千五百人の内六割は大連子である、これに毎年一千人以上も新入兒童が增加するので毎年期一校宛新築せねばならず經費の當局を惱ましてゐるが四、五年前までは大連生れの兒童は未だ三割位に過ぎなかつたのに比ぶれば蓋し大連子の進出は素晴らしいものである、又内地は各都市大てい小學兒童の數は人口の一割見當とされてゐるが大連では邦人々口九萬人の内小學兒童一萬二千五百人即ち**一割四分弱で流石植民地獨特の若人天下**の青年大連の意氣を示してゐる

法政軍善戰して　覇權を握る　最終試合に帝大を屠つて　大學リーグ戰了る

【東京廿九日發電通】法帝野球第二回戰は午後二時半帝大先攻で開始、今秋の覇權に終點ある大事な試合の事とて兩軍必勝を期し法政は第一日の殊勳者若林を、帝大は高橋をプレートに送り兩軍善戰したが第四回法政一死後島内野選打〔…〕盜し藤井遊撃の高投に一擧生還決勝の一點を擧げたるに反し帝大は第九回二死で走者一、二壘に在る時竹内一、二間を拔く絶好の二壘打を放ち二壘に在つた田村當然生還と思はれたが本壘上に轉たる捕手倉の足にひつかかつて壘外にも〔…〕んどり打ち有賀よりの送球でタッチされ遂に一A對零で帝大惜敗す閉戰同四時廿一分、かくて今秋の覇權は法政の獲得する處となり直に場の中央に整列、東宮職武その他の授與式あり、こゝにさしも波瀾多かりしリーグ戰も全くその幕を閉ぢた

各大學勝率

【東京廿九日發電通】今秋リーグ戰の勝率左の如し

△法政　九勝、三敗（勝率七割五分）
△早大、慶應共に八勝、三敗（勝率七割二分七厘）
△帝大　四勝、七敗（勝率三割六分三厘）
△明大　三勝、八敗（勝率二割七分三厘）
△立教　二勝、十敗（勝率一割六分七厘）

ベストテン

【東京廿九日發電通】打擊ベストテン左の如し

選手	打率
佐藤（早大）	四割八分三厘
宮武（慶大）	三割八分九厘
多賀（早大）	三割六分
三原（早大）	三割五分三厘
伊達（早大）	三割四分三厘
松井（帝大）	三割三分三厘
藤井（法大）	三割二分四厘
今井（早大）	三割四厘
吉相（明大）	二割九分三厘
井川（慶大）	二割七分三厘

チップ事件　教唆の疑ひ　野村孫市取調べ

カフエーダイヤの女給たか子こと大内きぬをめぐるチップ五千圓問題につき大連署では廿九日ダイヤの女給瑠璃子外數名を呼び出し取調べを行つたが午後三時被害者高山淸太郎の友人でたか子を高山に取持つたといはれる野村孫市を召喚取調べた、右は野村が高山から金〔…〕

鮮鐵蹴球團　今夜着連する

來る十一月二、三兩日大連運動場に於て行はれる滿鐵と大連俱樂部を好敵として遠征し來る朝鮮鐵道局ラグビーチーム一行は三十一日二十時着列車で着連することになつた、同チームは半島に於ける一流チームで過般カナダに遠征した日本チームのメンバーとして活躍した明大出の知葉選手及びHBとして昨冬シーズン東都學生界に名をなした明大出の磯田選手、立教大學出身の早田、上野、同志社大學出の名古屋選手等のほか陸上競技選手として活躍して居る網干、久富等の駿足をそなへて居ることゝて兩日の戰ひは非常なる接戰となるであらうと期待されて居るなほメンバー左の如し

（主將）名古屋（FW）秋子、網干、井上、守田、久留、太田、知葉、齋藤、山本（HB）奈良田、生駒、磯田、（TB）熊代、上野、早田、藤縄、坂口（FB）名古屋、金居

早大政經部　俄に軟化　學校と交渉開始

【東京廿九日發電通】早大學生騷擾中政經部三年生は俄然軟化し卅日單獨にクラス會を開き學生委員總會と別個に學校と交渉を開始する事になつた

渡船取締の　規則改正

甘井子大連間渡船は今日まで數回種々な問題を提供してゐるが不景氣の深刻化と共に乘客爭ひ合ひ等に意地汚いところを見せてゐるが去る廿四日夜も佐々木洋行所有第三富久丸（船長森某）と甘井子草分會所有草分丸（船長金子某）とがこれは俺の客ぢやいや俺のだと些細の事より口論を始めはては石塊をもつて亂打し合ひ双方負傷するなど直接行動にまで惡化したが所轄水上署でも放任しておく譯にいかず近く渡船同業者一同を集め訓示を與ふる事となりその後熟慮の上取締規則の改正を行ふ事となる模樣である

天津貴州兩船　接觸破損

當地大汽本社並に大阪商船支店への情報によれば廿八日午前九時天津白河イバラスチンブリーチにおいて大汽所有天津丸（二三五二噸船長堀家順三郎氏）と商船所有天津内地定期船貴州丸（二五六八噸船長西脇重治郎氏）と接觸一時は大騷ぎを演じたが天津丸は船體左舷ベランダ後部を破損一先づ引返した、兩船ともに船客積荷に異狀なき旨を報じ天津丸も廿九日ロイド檢査員の航海差支へなしの保證を得て青島へ向つた、天津丸の損害は一萬圓といはれてゐるが確實な數字は入報ないなほ大汽では社員を三十日出帆大連丸で派遣し調査する事となつた原因並に損害高は不明

井上氏愛孃逝去

小崗子警察署高等係勤務井上良治氏三女マサ子さんは豫て赤十字病院において病氣靜養中のところ藥餌効なく廿九日午後四時半逝去した享年十八歳葬儀は途中行列を廢し三十日午後四時から攝津町常安寺において執行の由

大連少年團の　旗竿奉仕　きのふ甲斐々々しく

教育勅語渙發四十年を記念する大連少年團の旗竿奉仕は三十日から各分隊一齊に開始された、可愛い制服をつけた團員がそれ〴〵家庭を訪問して旗竿をかり集め汚れた落したり、黑いエナメルを塗つたり大童力をかけてゐる、大廣場分隊で集つた分だけでも三百本以上に達し各隊の分を併せると總數三千を超えるであらうといはれてゐる。

【寫眞は大廣場分隊にて】

海の唄 「九九」

仲木貞一作 林玲子畫

奇禍(六)

朝の八時頃、汽車は大阪の駅へ着いた。

それでも京子は降りなかつた。切符は神戸までであつたが、梅田駅へ汽車が辷り込んで行つた瞬間、さすがに京子の心は本能的に動揺を覚えずにはゐられなかつた。

「あッ、さうく来てしまつた……」

と、眼ひながら、そつと窓越しに駅の方を見た。

故郷の古都、山河が夢幻に通ふ人情美が、京子の場合は、現実に見せ付けられながら、而も、その故郷の地に一歩も足踏みの出来ない、また、どうしても下車しようとは思へない僅の時間が、疲れた憧れの視線を傾けさせるに過ぎないのであるから、懐旧の感は一層昂められないではゐなかつた。

「人間として生きて行く以上、どんなに解脱しても、この感情だけは断たれやしないんだわ」

こんなことを独りごちた時、列車はホームを漸く離れかけてゐた。

「やつぱり私は降りられなかつたわ……懐しいけど、足踏みも出来ない私を……」

かう小声で云つてゐるうちに、今までぢつと耐らえてゐた涙が一時に溢れ出して頬を洗つた。

京子にとつては、この故郷は懐み多き人間の魂の墓所であるだけに、去らんとして去りやらぬ気持ちが、さうく京子を窓から上半身をのり出させて——故郷よ、さらば——の悲戀の哀調を帯びた惜別の言葉を口號ませてゐた。

漸く懐の大阪が晩々とした列車の行路にまかれて見えなくなる頃……もう駄目だわ……と、京子は思つた。

自分でもその心のうきくしてゐるのに、愛想がつきさうであるが、併しまた自分の運命にもつくくと愛想がつきたのだ。

京子は、もう汽車が動き出すとその汽車は再び大阪へも、東京へも往復するものでは無いかのやうに考へたりした。

彼女は、或る決心をした。

汽車は一時間の後、神戸に着いた。此處で、沢山の人が降りた。京子も神戸で降りなければならなかつた。

「どなたも終点……」

と、云ふ車掌の声に反感を持ちたい気持だつた。

改札口を出ると、どこと云ふあてもなく呆然と歩いて、直ぐ近くの旅館に這入つた。

「お一人さんで?……」

と、年増らしい女中が出て来てちよつと不審さうに云つたが、それでも京子が頷いたので、三階の小さな座敷へ案内した。

廊下を通るとき、どの大きな座敷にも、みんな不愛想が集つてか空いてゐるやうであつたが、京子が案内された直隣の部屋には、二三人の客らしいのが、貴方を見てゐたのが、ちよつと憚られた。

「御食事はもうお済みになりました?……」

と、女中が、また縁側の方から訊いた。

京子は、その女中が、どうやら東京弁なのが嬉しかつた。

「いゝえ、もう済んで……」

と云ふと、京子は、さも疲れたと云ふ風に床柱に凭れかゝつた。

「では、お臥床でも敷きませうか? お疲れさまで……東京からお出でになりましたのでございますか?」

「……」

と、女中は日早に云ふと、そこの押入れから、夏蒲団を一枚出して来た。

京子は女中が妙に何か訊きたがるのが、瞬と起ち上ると縁側へ出てみた。

が、夏の強い光線が真向に照り込んできて、とても縁側には出てゐられない。

京子は女中が去つて了つたので座敷に這入らうと、障子を開けた時、隣りの座敷から、今まで笑い声てゐたらしい、でつぷりとした男の姿が目込んで、ヒシャリと其處の襖を締め切つた。嫌な男だと京子は、其の時思つた。

新刊紹介

婦女界十一月號 その子供服と編物手芸號、子供服が九十餘種、編物が百四種それが何れも新鮮な趣味と読入りで紹介し、色彩……

子供のむし歯が……

子供の歯が生え始まると同時に……